八月號

大衆

勞農黨の對他黨態度　大山郁夫

川崎問題と無産階級の態度　溝茂人

二つの選擧戰批判　岩城新二郎

これが批判者？（雜誌マルクス主義批判）　成瀬光雄

左翼勞働組合戰術の基調　中澤篤

各翼運動は展開するや　澤野俊雄

二重組合主義の弊　荒畑寒村

VOL. 2　1927　NO. 6

昭和二年八月十三日印刷　昭和二年八月十五日發行　（毎月一回一日發行）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

選擧戰の戰術を學べ

勞農黨京都府支部聯合會編

選擧戰における 勞働農民黨の初陣

定價七十錢
送料四錢

大山郁夫氏
山本宣治氏
序

我國最初の無産政黨選擧戰にのぞんで、花々しく戰ひ、意外の戰績を擧げて全國無産階級の視聽をあつめた勞農黨京都府支部聯合會が、如何に組織的に、如何に唯物辯證法的に戰つたか、本書は實に細密な戰術の記錄であつて、大いに學び大いに批判研究すべき必讀書である。ポスター、聲明書、ビラ等を參考資料として附錄となす。今や府縣會議員選擧の戰ひ始まらんとする秋、本書を是非味讀されんことを望んでやまぬ。

東京九段
中山ビル
南宋書院發行
振替東京七五三二八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第二巻　大衆　第六號

◇各無産黨の選擧對策……（一〇三）

◇川崎問題を吾々はいかに把握するか？……薄　茂人…（五九）

◇無産階級右翼運動の豫測……澤野俊雄…（七五）

◇府縣會議と勞農黨の他黨態度……大山郁夫…（二）

◇「刑法改正豫備草案」と無産階級運動……黑田壽男…（六）

◇これが批判者か？……成瀬光雄…（一〇）

◇二重組合主義の弊……荒畑寒村…（二八）

◇左翼勞働組合戰術の基調（三）……中澤　篤…（三六）

◇二つの選擧戰……岩城新二郎…（五〇）

◇立入禁止に關する一考察……豊島由香路…（五四）

◇議會主義について……カール・リープクネフト…（九一）

●國際カルテル日本の狀勢（調査）……（九五）

◇ブックレビュー……（一一八）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

府縣會選擧に於ける勞農黨の對他諸政黨態度

一

府縣會選擧が眼前に迫つて來た今日、我國の政界に活躍する諸政黨——有產と無產とを問はず——は、既にそれぞれに、大體それへの準備を整へて、只管その日の來るのを待ち構へてゐる。就中、今回始めて全國的に同種の選擧に打つて出ようとする無產諸政黨が、雄々しくも全力的にその陣容を擴充して、猛然とその渦中に飛び込まうとしてゐるのは、一種の壯烈な光景を描き出してさへゐる。殊に、それらの無產諸政黨の選擧對策の上に、各黨の本質及び指導原理——もしくは立黨の精神——ともいふべきものが、躍如として宛ながらに浮び出てゐるのは、最も我々の精細なる注意に値ひするものであらねばならぬ。

他黨のことは姑らく後廻はしとして、我々は玆に先づ第一に我々の勞働農民黨の選擧對策の一般方針について一言する自由を取る。現在の金融寡頭政治の支配下に於ける唯一眞正の反對黨として立つてゐる我々の勞働農民黨は、世界的永久恐慌の深化の下に、——しかも今春の金融恐慌によつて都市と農村とを問はず、全國全民衆の生活が極度に脅かされてゐる情況の下に——於て開始されようとしてゐる今次の府縣會選擧に向つては、無產階級の眞正の政治的指導勢力としてのその本質を耻かしめないやうに、最も積極的に、最も戰鬪的に、働き掛けようとしてゐるのだ。

更らにまた、我々の勞働農民黨は、今次の府縣會選擧を

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

單に如上の情況の下に行はれるがために意義があるものとして把握するのみならず、更らにそれが普選——よし如何に不完全なるものにもせよ——の下に行はれる最初の同種の選擧としても、その重大意義を認め、そして俊敏にその契機を捉へることによつて、同黨の階級的基礎の確立の方面に確實なる一歩を進めることを第一義として、それに臨まうとしてもゐるのだ。

かかる用意と決心とを以て來るべき府縣會の選擧戰に立ち向はうとしてゐる勞働農民黨は、單にその機會に於て地方自治體に於ける勞働者及び小農の階級的利益の伸張のために樣々の方策を講ずるだけに止まらず、現在益々惡辣化しつつある支配階級の全線的壓迫の下に、至るところに着々と醱酵しつつあるところの、全民衆の各層のあらゆる不平不滿を統一し、殊に從來同黨の指導下に猛烈に行はれつつあつた各種の運動若しくは各種の日常闘爭を括約して、それらのすべてを選擧戰に合係集中せしむる事によつて、全國的及び地方的政治に於ける全民衆の政治的自由の獲得の目標に到達すべく、堂々と猛進しようとしてゐるのだ。

二

七月十五、十六日に開催された勞働農民黨の、府縣會議員選擧對策全國協議會は、如上の態度によつて一貫されて極めて嚴肅に取り行はれたところの、非常に有意義のものであつた。そして、そこで決議された種々の重要事項に關しては、本文の筆者は、若し時間が許すならば、本誌の次號——それは『府縣選擧號』として計畫されてゐる——に於て、幾分論究するであらう。

だが、我々は、同協議會に於て全會一致で採用されたところの、勞働農民黨の他諸政黨に對する態度の表明に於て特に或る重要意義を認めるが故に、茲ではそれを、幾分長すぎるとは思ふが、次に採錄して、更らにそれについて短かき二三の評語を附け加へようと思ふ。

それは、『選擧協定方針』の項下に於て、次の通りに要約されてある。——

我が黨は九月の選擧に於て、次の如き態度を取る。

(イ)政友會、民政黨はブルヂョアジーの黨であり、今や絶對的勢力と抱合し遂げて、反動の支柱となつてゐる。ひとしくブルジョアジーの黨たる實業同志會は、現在に於ては絶對的勢力との若干の對立を示してはゐるが、近き將來に於て上記二黨と完全に同化するであらう。故に我が黨は以上の諸政黨に對しては、徹底的排撃を以て進むものである。

(ロ)革新黨、社會民衆黨、日本農民黨は、小ブルヂョアジーの諸黨である。革新黨(特にその左翼)は、尙ほいまだ意識化せざる民主主義黨であり、現段階に於ては無力且つ欺瞞的ではあるが、しかも尙ほ政治的自由のために興奮する。その限りに於て我が黨はこれを支持し、それと部分的に協力するこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とよつて、その本質を大衆に暴露せねばならぬ。

反之、社民、日農の二黨は、夫々小市民、農民の地盤の上に立ち、その極度の意識化の故に、小ブルの反動的本質を代表してゐる。彼等はその自由主義的粉飾の下に、少からざる勞働者及び小農民を抱へ、無產階級陣 內に於けるブルヂヨアヂーの手先となつてゐる。我が黨は彼等を徹底的に駁撃することによつて、その旗下の勞働者、農民、小市民を我が黨の旗の下に奪還せねばならぬ。但し彼等が生え抜きの勞働者貧農を立候補したときは、それをかかるものとして支持し、黨とその候補者とを對立せしめ、よつて以て彼等の本質を、より鋭く暴露し得る場合があるであらう。

以上の三黨は、その小ブル黨たる本質の故に、將來必然に合流すべきものであるが、我が黨は、反動的小ブルジヨアヂーの諸勢力を分散且つ無力ならしめるために、彼等の間に於ける當面の對立を利用し、兩者の結合を阻止すべきである。

(ハ)日本勞農黨は、プロレタリアートの自然成長性に追從する黨である。故に彼等は若干の小農をも包容してゐるが、到底政治的自由のために戰ふ能力はない。しかしながら、今や大衆の意識の急速なる成長は、彼等をしてそれを阻止し能はぬ程度にまで來てゐるから、我が黨は進んでそれを支持、若しくはそれと協力し、一方、社民、日農黨に當ると共に、彼等の旗下にある勞農大衆を我が黨の旗の下に迎へなければならない。(以下略)

三

何故に我々が、以上の勞働農民黨の對他諸政黨態度の表明の上に、特に或る非常に重要なる意義を認めるか?

それは、その表明そのものの上に明白に出てゐるから、我々に於て態々その說明を試みる必要がないやうにも見える。が、それにも拘らず、我々はその理由の或る部分を特に玆に强調しておくことが、必ずしも全然無用だとは考へないから、次の簡單な二三言を附け加へておくことにする

(一)我々から見れば、勞働農民黨の對他諸政黨態度の表明の上には、ブルジョア諸政黨及び所謂エセ無產政黨の諸派の本質が、極めて簡潔に、だが極めて適切に、極めて妥當的に、究明され記載されて居り、從つてそれから來るそれら諸政黨の府縣會選擧對策も類推されるから、それは、その選擧戰に關する一の重要な文献として見られ得る。

(二)勞働農民黨の對他諸政黨態度の表明は、殊に昨年末に於ける無產政黨分裂以來、同黨が辿つて來た道、並に同黨が現在に於て到着してゐる地點を、極めて明確に記號してゐる。多くの人々は、昨年末に於ける無產政黨の分裂を目して、無產階級の政治戰線の混亂だと言つてゐたが、しかし我々は、その混亂と見える狀態こそは、勞働農民黨の純化され浮化される道程の上に必然的に附隨して生ずる現象だと見て居た。その我々の豫想は、その後の事件の進行

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

5

によつて完全にジヤスティファイされた。勞働農民黨が、今や、押しも押されもせぬ唯一眞正の無產政黨として力强く大地に足を踏みしめつつ進むことが出來るやうになつたのも、實にその純化浮化の過程の煉獄を滑り拔けて來たからである。當時甚だしき混亂狀態のやうに見えた無產階級の政治戰線も、現在では全然きれいに整理されて、その上に分布されてゐるところの四つの政黨の位置は、蒼天に仰ぐ星座のやうに、その位置が分明になつて來た。そして、問題の勞働農民黨の聲明は、その星座の精確なる圖解のやうなものである。そして、眼ざめたる大衆は、それを參照することによつて、何處に『我々の眞の味方』である無產政黨があるかを、誤りなく見定めることが出來る。

(三)勞働農民黨、他の無產諸政黨に對する態度のうち、殊に日勞黨に對する態度の表明は、例の無條件合同論のやうな迷說に向つて、最後の留めを刺したものと見られ得る點に於て、特に注意すべきものである。勞働農民黨は、嘗つて對支非干涉の題目の下に日勞黨と共同戰線――それは當の日勞黨によつて破棄されたが――を張り、今やまた、社民黨及び日農黨への共同排擊のために、それを『支持』し、もしくはれそと『協力』しようとする態度を示してゐる。だが、單なる『共同戰線』は、『合同』とは譯が違ふ。しかも、その相違は、單なる程度の相違であると言へる以上に本質の相違である。黨と黨との共同戰線は、普通には或る特定の限られたる目的の下に於てなされるものであつて、そこでは、黨の指導原理の一致不一致が、根本的問題とされないのである。だが、黨と黨との合同は、これに反して、指導原理の上に於ける完全な一致がなければ、期待し得られないのだ。ところが、勞働農民黨と日勞黨との指導原理が根本的に相容れないものであることは、本文の筆者は、かつて本誌で、二度までも指摘したことがあり、また勞働農民黨の態度の表明の上にも、その點がよく闡明されてゐる。で、結局この場合に於ける『合同』は、勞働農民黨が日勞黨の陣營內の勞農大衆をその指導者たちから引離して、『我が黨の旗の下に迎へ』入れることに成功した曉に於てのみ、始めてその實現の可能性があるのだ。

かうした見地から、我々は勞働農民黨の對他諸政黨態度の表明の上に、その最も重要なる意義を認めるものである。

(大山郁夫)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

「刑法改正豫備草案」と無産階級運動

一

わが國無産階級運動が、過多の暴壓法令の重壓の下にあつて、不當にその發展を妨げられつゝある折柄、刑法改正草案の發表は、われ等無産階級にとつて重大な關心事に價する。

去る六月十二日、都下の各新聞紙に一齊に掲載せられた「刑法改正豫備草案」は、臨時法制審議會に於て決定せる要綱に基づき、司法省によつて條文の形を與へられたもので刑務法豫備草案と共に、兩法改正調査委員會に付議せられる。政府の意向は、新聞紙の傳ふる所によると、來議會に提出の豫定であるといふ――ブルジョア專制的議會としての最後の議會に！

右草案を一瞥して、われ等は、無産階級運動に對する暴壓の新たなる武器が、こゝにも又鑄出されんとしてゐることを、容易に看破し得る。草案は、第一編、總則。第二編罪。の二編に大別されてゐるが、本稿では、便宜上時評の範圍内のものとして、且つ、主として第二編の範圍内で、二、三の問題を摘出する。詳細なる論評は、他の機會をまつ外ない。

草案の第二編は、各種の犯罪に付て、その成立要件並びに刑罰を記したものであるが、今、本編に於て列擧せられたる犯罪の規定を通讀して、われ等無産階級の立場から、問題となすべきものを捉らへると、凡そ、左の如くである

第一、現行法に於てみざる新たなる犯罪が規定せられてゐること。しかも、それが無産階級運動と直接の關聯をもつて。

第二に、無産階級運動抑壓法として制定された單行刑罰法中、本法中に採り入れられたものゝあること。

第三に、現行法典に規定された罪にして無産階級運動抑壓のために惡用せられつゝあるものについて言へば、その刑罰が現行法のそれに比して重きを加へたものゝあること。

凡そ右の如くである。警察部長會議で、或は留置場の改善を唱へ、或は、民衆に對する警察官憲の不當壓迫を戒飾して、ブルジョア新聞の讃辭に價した原司法大臣の言を裏切ること頗る甚だしいものがある。然り、甚だ皮肉にも、改正法草案によれば、瀆職濫用罪（裁判、檢察、警察ノ職務ヲ行ヒ、又ハ之ヲ補助スル者、其ノ職權を濫用シ人ヲ逮捕又ハ監禁スルコト）は、その刑罰（二年以下の懲治若ノ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は禁錮）に於て、現行法のそれ（六月以上七年以下の懲役又は禁錮）よりも遙かに輕減されてゐる。

二

刑法改正豫備草案は、第一に、現行法に比し、如何なる新犯罪を規定してゐるか。

章の排列の順序を追ふて列擧すると、

第一、公務執行妨害罪の中に、新たに、裁判進行妨害、法廷威信汚損罪、（この名稱は、筆者が、右犯罪の成立要件に鑑みて便宜上付與したもの）なる犯罪が加へられたこと。

第二、不法團結及び煽動罪、等、

裁判進行妨害、法廷威信汚損罪とは、「裁判の開廷中、裁判の進行を妨げ若くは法廷の威信を損する目的をもつて、侮蔑又は喧騷の行狀をなす者を一年以下の禁錮又は三百圓以下の罰金に處する」規定である。過去の公判廷に於ける事例を顧みるに、無産階級運動に關して行はれた所謂犯罪が裁かれるに當つて、被告人が、ブルジョア獨裁の法律、ブルジョア專制の裁判に對する無産者の不信を表明する一の手段として、時々この「不らち」な行狀を敢てしたのである。しかも、今や、刑罰を以てするに非らずんば法廷の威信を保持するあたはざるに至つて、こゝに、法廷威信の眞生命は枯死し、徒らにその形骸のみ空しく殘存すと言ふべきであらう。而して、「侮べつ」とは、又、「喧騷」とは何ぞや。ブルジョア法廷を茶化して、侮蔑と解せられ、喧騷と認められるは別として、無産者としての權威に屈せざる眞理に即した大擔なる言論と行動とが、侮蔑とせられ喧騷と見做されて、語らんとする所、訴へんと欲する所のものが、法律の名によつて蹂躙されるおそれはないか。われ等は、改正草案のこの新犯罪の規定が、何事を企圖せるかを條文の辭句の外に、容易につきとめることが出來る。

次に、不法團結及び煽動罪である。

先づ、不法團結とは何か。

改正草案の條文は曰く、

1、犯罪を實行する事を目的とする結社を組織し、又は之に加入すること。

2、法律の效果を無視しこれに違反する行爲を目的とする結社を組織し又はこれに加入すること。

不法の目的を有する結社として、2、に記した結社が擧げられてゐることは、特にわれ等の見のがすことの出來ぬ點である。こゝに、小作人等の地主に對する小作米不納同盟の組織を想起せよ。不納同盟の組織は、過去に於て小作人側の屢々實行した爭議戰術として、その實例に乏しくない。地主は、小作人のこの戰術には少なからず惱まされて

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゐる。同盟組織の點は別とするも、不納の狀態を持續しつゝ小作爭議を戰ふことは、小作人にとつては甚だ有利であり、地主にとつてはそれだけ多大の苦痛が感ぜられる。如何にして小作人の手から小作米を强制的にも徵收し得べきか、或は、如何にして小作米を滯納せる小作人から、その耕作せる田を急速に取上げ得るか。地主のこの巧なる欲求を、法律の强制力を用ゐて滿足せしめる方法が、先づ民事上の手段としての、立入禁止假處分の猛襲となつてあらはれた。立禁反對！　それは今更こゝで繰返す必要もあるまい。而も、この小作人の不納による對抗戰を、更に團結的にして爭議の有利なる解決を目的とする、特定多數人の、繼續的團結組織として戰ふ時に、改正草案の、所謂「法律の效果を無視しこれに違反する行爲を目的とする結社の組織、それへの加入」なる不法團結罪の暴壓が臨まないであらうか。不納同盟の戰術を、民事的手段たる立入禁止假處分の暴襲によつて封鎖し、更に之に飽足らずして、身體の自由に對する直接の强制力をともなう刑法上の壓迫を以て臨む。小作人は、その生きんがための戰術を如何なる方面に求むべきか。

更に、不法煽動罪についてみるに、これをかの治安警察法の「集會に於ける犯罪煽動の禁止とその違反に對する罰則」と比較するとき、課刑に於て十數倍の重きを加へたることを知る。更に所謂法律違反行爲の奬勵、煽動を罰することになれば、前述の例について言へば、組合の幹部其他の指導者が强權の犧牲に捧げられざるを保し難いのである不法團結及び煽動罪と無產階級運動との關聯は、單に一例を擧げて說明するも右の如くである。その利害に對するわれ等の態度は自ら明かであらう。

第二に、單行の刑罰法規として、無產者運動の抑壓の役目をつとめてゐたものが、刑法々典の本條の中に加へられて、謂はゞ昇格したものに、「暴力行爲等處罰法第一條中の、脅迫に關する部分の條項」及び、同法第二條の面會强要强談威迫がある。

われ等無產階級が、暴力行爲等處罰法の廢止を主張しつゝある時に、ブルジョア支配階級は、その反對に、該法律を「昇格」せしめて、却つてこれに永久的存在を確保し暴壓の能を發揮せしめんとするのである。爆發物に關する罪も昇格組の一であることを附言する。次に、現行刑法典に規定された罪にして、無產者運動抑壓のために惡用せられつゝあるもので、改正刑法草案に於て、その刑の加重されたものを列記すると、

第一、公務執行妨害罪（公務員の職務を執行するに當りこれに對して暴行又は脅迫を加へること）――その適用による犧牲の經驗は、ひろく無產者運動の各方面にわたつて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

嘗めつくされてゐる。殊に、最近、農村に於ける立入禁止の暴襲に對する小作人側の、身をもつての低抗は、幾多の悲慘な犠牲者を生んでゐる。——その刑は、現行法に於ては、三年以下の懲役又は禁錮であるが、改正草案は之を五年以下の懲役又は禁錮に加重してゐる。

次に、脅迫罪、毀罪棄等も、夫々、現行法に比し重き刑を課せられることになつてゐる。爭議者に於ける交渉の際或は、示威運動の際に、脅迫罪を以て問はれ、或は、毀棄の行爲を以て陥害せられる場合が屢々あり得る。住居侵入罪に對する刑も亦加重せられてゐる。騷擾罪については、現行法と大差なし。

以上は、第二編に列擧されたる「罪」についての現行法との比較である。

第一編に溯つて、「刑」の種類及びその内容について之を管見するに、無産者運動に付きものである罰金、科料は、いづれもその額を増額されてゐる。更に注意すべきは、住居制限の新たな刑の創設である。

以上を通觀すると、刑法改正草案の内容が無産者運動に關する點において著しく抑壓の度を强めてゐることが知り得られる。

われ等は、金融獨裁時代の暴壓加重の企圖に對して、あくまで抗爭しなければならぬ。（黒田壽男）

勞働農民新聞を支持せよ

今、われ等の勞働黨は、われ等の初めての地方選擧戰にのぞまんとしてゐる。選擧戰に於ける「新聞」は、最も大きな武器の一つである。

勞農黨では、その武器を最も有効に利用せんが爲めに、基金を募つてゐる。黨員と黨外の人も、その額の大小を問はず、應分の基金を送つて勞農黨を支持せよ。

東京市芝區今入町和合倶樂部

勞働農民黨本部

振替東京五九二〇番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

これが批判者か？

——濱田徹造氏の漫評に應ず——

成瀨光雄

序

「マルクス主義」、「政治批判」等、かの一連の青表紙本の主盟といはれる濱田徹造氏が、「社會思想」の丸岡重堯氏の反駁に會ふて、その再度の批判を試みつゝあつたことは、諸君の熟知せられるところであらう。我々もまた盡きざる興味をもつて讀み來つた。註(一)しかるに、濱田氏は、いまや、「批判者の批判」を試みると稱して、余および我々の同人、薄茂人氏の高橋、丸岡兩氏に對する批評（薄茂人氏『所謂「國家資本主義トラスト」の批判』、「大衆」、第一卷四月號。成瀨光雄『理論なき「現段階論」』、「大衆」』五月號）に對して何事かを云ひつゝある。（濱田徹造氏『「大衆」は批判者たり得たか』——「マルクス主義」第三七卷六・七月號）

註(一)濱田氏は書いて云ふ、——もし、氏（成瀨を指す——筆者にして、本誌を毎號熟讀せられるならば、こんな中學生の作文のやうなものは到底恥づかしく書けない筈ではないですが、』と。「マルクス主義」、六・七月號、頁七七）「熟讀」とはどんな讀み方であるか知らないが、余は、少くとも濱田氏の論文は興味をもつて讀んでゐる。その、耳あたりばかしは景氣のいゝ、浪花節もどきの名

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（？）文章と、その、驚くほどに空疎、空虚な内容のゆえをもつて、余の丸岡、高橋氏に對する批判が果して「中學生の作文」のごときか否かは、余の以下に論じるところから明かである。たゞ次のことだけは云へる。もし假りにも、余が上に述べた以上に氏の論文を「熟讀」したとするならば、「中學生の作文のやうなもの」すら書きえなかつたであらう。もつとも、さういふものを平氣で書く圖々しさは、氏の論文を「熟讀」することによつて、獲たではあらうが。

この我々に對する「批判」なるものを見ると、その大部分は、——余が後に示すであらうやうに、實質において、決して我々に對する批評たりうるものではない。むしろ、文中にある我々の名、薄茂人、成瀬光雄に代へるに氏自身、濱田徹造氏、或は氏と形影相弔ふ淺野晃氏、または氏等の一群における唯一の經濟理論家たる林二郎氏の名をもつてすることによつて、始めて、些少の意義をもち來たるものである。實際、我々は、丸岡氏の極めて貧弱な反駁に會つてすら『我々の前には巨大なる敵の必死な彈壓と奸計とがあり』などゝいふ大見得を切つて見せねば收りのつかないほどに周章狼狽された濱田徹造氏が、これらの味方の名と氏にとつての論敵たる我々の名とを書誤られたのではないかと疑ふ。だが、我々の名前をともかく指してゐられる以上、一應、お應へ申しあげておくのが氏に對して禮を盡す道であらう。

一、一々答ふ

氏の我々に對する批評は、實に、堂々（一）三十頁を超えてゐるが、その内容に至つては、例によつて、まことに貧弱そのものである。我々はその一々に——虱つぶしに——答へようと思ふ。

まづ、氏は、余が高橋、丸岡兩氏の世界經濟論の誤りを、從つて、第一段として、積極的に我邦資本主義の現段階の一般的規定がいかに樹立されるべきかを、かの全體と部分との關係をもつて明にした點を、長々と單に再錄される。そして、次のことき承認を與へられた——『かゝる一般的基礎を、まづ、規定することは、確かに重要ではある。このこと

には、今日、何等の疑ひもあり得ない。』(「マルクス主義」六・七月號、頁七四)

『確かに重要ではある』? では、氏自身はこれを試みられたのか? 斷じてない。

嘗つて、濱田氏が始めて丸岡氏の現段階論退治に、生還を期しがたく、悲壯にも、出發せられた際には、氏は、丸岡氏のいはゆる『一聯』論、――それは、すなはち、誤れる世界經濟論、我邦資本主義の現段階に對する一般的規定の誤謬たるものであつた――に對して、なんら爲すところを知らなかつたのである。たゞ『氏(丸岡氏を指す――成瀬)が左翼の「一聯」論に對して、かくの如く叮嚀懇切なる辯護論をものせられたことは、我らの衷心感謝を惜まざる處であるが、かゝる見當違ひの支持は、殘念乍らそのまゝ返上するより他はない』(濱田氏「右翼夢遊病者の帝國主義論」、「マルクス主義」一月號、傍點――成瀬)と云ふにとゞまつた。丸岡氏の議論がいかなる點において「見當違ひ」であるか、左翼は、これを正確には、いかに規定するか、氏は決然として沈默の武器をとられた。そして、この丸岡氏の「一聯」論を「返上」して以來、氏には別に持合せがなく、今日にいたられた。それがいま、余のこの點に關する說明をきくや、始めからわかつてゐたかのごとく、勇氣凜然として『このことは今日、何等の疑ひもあり得ない。』と威張るんである。濱田氏よ! かういふのを世間では『人の尻馬に乘る』といふやうです!

かゝる態度は濱田氏にとつては決して珍とするには足らないのである。丸岡氏の現段論の「全誤謬の根底的な諸點」が『氏の「資本輸出」に焦點的に集中されて』ゐるとは、濱田氏その人の言である。しかも氏は、最初、これに對して堅く口を緘して批評の一語をすら吐かなかつた。しかるに、我が同人、薄茂人氏がこれを詳細に批評するや、それを取つて『……之亦、一應、正當であり、その限りに於て、われわれも、亦、一致するところである』(マルクス主義、六・七月號)と云ふ。そして、たかだか薄氏の議論を敷衍しただけで、みづから丸岡氏の「資本輸出」論を批評したつもりである。俗語に、「ひとの褌で相撲をとる」とは、おそらく、濱田氏を形容するために創られた言葉であらう。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

さて、濱田氏は、余の、この一般的規定に對して『われ〳〵がかゝる一般的前提の限界內に止まつて居る限り、われ〳〵のこゝに當面せる問題に對する解決は、遂に一歩たりとも前進せしめられることは出來ないであらう』と云はれてゐる。けだし、これは、余に對する批評ではなからう。なぜなら、余みづから、『われ〳〵の議論がこれに盡きるのならば』それは、『抽象論、一般論である。』と書いてゐるのであるから、そこに『我邦資本主義を特に、考察にのぼせよう』と歩武を進めてゐるのであるから。だから、濱田氏のこゝの、一とわたりの饒舌は、余の見解の「叮嚀、懇切」なる注解である。どうもありがたう！

余は、いま見たごとく、第二段に、問題を我邦資本主義それ自身に對つて、それが、高橋、丸岡兩氏の見るところとは異り、すでに帝國主義の段階にあることを明かにするために、我國における「集中及集積」をとつてきた。

これに對して、濱田氏は、『正當ではある』と、まづ贊意を表されたのち、『だが、かくの如き考察の範圍に止まつてゐる以上、依然氏等が常に得意とせられる我國の「特殊性」は、ついに普遍の中に解消されざるをえない。』(「マルクス主義」六・七月號、頁七五)といふ評語を下だされてゐる。

さらに、余は、第三段に、我國が帝國主義國家であるとする場合、帝國主義的諸國家の間における兩極的相違、特殊性、從つて我國資本主義をさらに具體的に規定することの必要を闡說した。たゞ、『丸岡氏と高橋氏とは、日本が帝國主義國家であることを否定されるのだから、』『このことは、こゝでは問題にならない、』とした。(「大衆」五月號、頁五一)しかるに、濱田氏は云ふ、『われ〳〵は敢て問ふ。何故に、「このこと」が、「こゝでは問題にならない」のか、と。』續いて、『……「このこと」を問題とすることなしに、如何にして』丸岡、高橋氏の所論を『批判、克服し得るのであるか』斷じて否である』と力んでをられる。

思ふに、この點は濱田氏のいはゆる批判の重點であらう。薄茂人氏に對する氏の批判もまた、これと同じ論理をふ、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つ。こゝで濱田氏の批評は次のごとくである、――『かくして、こゝに帝國主義――資本主義最後の段階としての――一般的普遍的特質と、之を構成するところの個々の帝國主義國家の具體的特殊性との問題が、今や問題とせられなければならない。

『上述に於てわれ〳〵の見來りたるところによつて知らるゝ如く、（薄氏が、なにゆゑに日本においては內地の金利が高いにもかゝはらず、なほ、資本輸出が行はれるかを、全的に、說明してをらないといふことを見たと云ふんである。――成瀨）薄氏は、此の點に關して、正當に問題を提起し得て居られない。氏は敢て批判の步を進めようとはされない。

『從つて、薄氏は、…………、ついに日本帝國主義の內的構成の特殊性の問題に觸れらるゝに至らないのである』（マルクス主義」六・七月號、頁六六――六七。傍點――成瀨）

かくて、濱田氏によれば、余（成瀨）にあつても、また薄氏にあつても、「丸岡氏の立場」は『單に機械的に否定せらるゝに止まり』る、しかも『彼等を理論的に克服する爲には、彼等の所論の單なる機械的否定によつては斷じて不可能である』んださうである。（「マルクス主義」、六・七月號。頁六八、七八）

いま、濱田氏のこの批判（？）を檢討して見る。

氏の批判は――上の引用よりして明かであるやうに――二つの點からなる――

第一に、我々が、日本が既に帝國主義の段階にあることを論證するするために、「集中及集積」をもつてくるのは、我國の「特殊性」をば普遍の中に解消せしめるものである。

第二に、我々の議論は單に日本が帝國主義の段階にあることをいふにとゞまつて、さらに深く、「日本帝國主義の內的構成の特殊性」を明かにしない。從つて、我々の批評は丸岡氏の立場を「機械的に否定するにすぎず、これを眞に克服しえない。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一の批評に至つては的はずれの甚しいものである。

こゝでの問題は、——高橋、丸岡氏の所論に對應して、日本がそもそも帝國主義の段階にあるか否かである。そして余は、この問題の解決のために、——氏みづから『氏（成瀨を指す——筆者）の曰はるゝ如く』といふ言葉によつて充分承認せられたごとく——帝國主義の根本的特質』たる「獨占經濟」がその主たる表現を見出すところの「集中及集積」、從つて帝國主義諸國家の、それゆゑ帝國主義一般の根本的特質たる「集中及集積」をとつてきたのである。話はまだそれまでゝ、さらに帝國主義日本の特質に至つてはゐないのだ！　しかるに濱田氏は、こゝで既に、日本の特殊性を說明せよと强要するんである。氏は余が第一段の、抽象的一般的規定から、第二段、第三段と——既に述べたごとく——進んで行つた論理を、抽象から次第に具體へ進む論理の過程をば——あまりに、せつこんだためであらう！——忘れてしまつて、余の第二段のところに、第三段の議論がないぢやないかと呶鳴るんである。いま、砂糖は、まづ、白い、と說明してやつてゐると、後を聞かずに、いや白いばかりぢやない、甘くもあるぢやないかとわめき立てるの類である。論理いな、常識を超越してゐる。かういふ手合と議論をせねばならない我々は禍なる哉だ！

第二の點もまた、同樣なる的はづれの批評である。既に明かにしたごとく、丸岡、高橋兩氏にあつては、我邦資本主義が帝國主義時代にのぼりきたつてゐることが、否定されてゐる。日本が帝國主義國家としていかなる特殊性をもつかなどは、てんで、問題にはなつてゐないんである。この高橋氏と丸岡氏とを、余は、また薄茂人氏も、批判の對象としてゐる。だからして、『日本帝國主義の内的構成の特殊性の問題に觸れ』ることは全然必要でないんである。濱田氏よ！　おわかりになりましたか！

かくて、濱田氏のこの批評がもしなんならの意味をもつべきであるとすれば、それは、人はいかなる批評を試みる場合にもAから始めてZまで論じろといふことである。そして、かゝることを我邦資本主義の現段階について敢てしよう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とするならば、尨然たる一書を爲してもなほ足りないであらう。實に、かゝる仕事を、濱田氏は我々に向つて求めるのである。そして、それの無いことをもつて、我々の丸岡、高橋氏に對する批評に難癖をつけようとするんである！　こゝまで見來たるならば、いかに濱田氏が馬鹿々々しさを通りこした、超人間的なたは言を口走りつゝあるかを、我々の讀者は十二分に理解されたであらう。

いはんや、我々は、問題の所在は——既に見たごとく——これを明かにし、あまつさへ、また別の機會においては、さうした我邦資本主義の「特殊性」に對して、濱田氏一派とは比較にならないほどに大なる寄與をなして來つてをるにおいてをや！　註(二)

註(二)淺野晃氏は嘗つて、わが蘭氏が我邦資本主義の「特殊性」を種々の方面について明かにしたことに對して、次のごとく述べられた。『氏が列擧せられたる之等の事實は、明かに國家資本主義、否、國家資本主義トラスト(傍點——淺野氏)への諸傾向を——しかもそれへの急速なる進行(傍點——淺野氏)を——從つて又、氏の所謂「特殊性」の加速度的な消滅(傍點——成瀬)を——示す。(淺野氏『所謂現段階の分析に就いて』、「マルクス主義」、十五年十二月、頁六〇)淺野氏にあつては我邦資本主義の「特殊性」は急速に消滅しつゝめる。しかるに、いま濱田氏によれば、かゝる、すでに帝國主義の段階にあるものとしての我邦資本主義の「特殊性」の說明を我々に向つて求められる。この濱田氏と氏と形影相弔ふ淺野氏との衝突に、讀者は注意さるべきである。

濱田氏は、この點について、余の批評の不充分さについて、もうひとつの別のことを云つてをられる、——それは余の批評が『實踐的克服の道を準備』しないといふことである。こゝで『實踐的克服の途を準備』するとは何の意味か極めて曖昧模糊としてゐる。

まづ、『蓋し、もし理論的克服が眞に實踐的克服を準備しうるのであるならば、…………批判の武器は對象の本質、從つて、亦、對象の歷史的社會的必然に擬せられ、これを論評し得るものでなければならない』(「マルクス主義」、六・七月

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

號、頁七七）と云はれてゐることから見れば、『實踐的克服の途を準備』するとは、『對象の歷史的社會的必然』に批判を向けることであり、しかして、余の批判は對象たる丸岡、高橋氏の所論がいかなる「歷史社會的必然」をもつかを說いてゐないといふ意味のやうに受取れる。

しかるに、余は次のごとく記してゐる……『高橋氏は、我國の無產階級が我國の資本家と仲善く手をつないで、日本の國を擁ることを、專念勸められるのである。この愛國者を見よ！（レーニンは既に早く、日和見主義が必然に社會愛國主義者になることを云つた。實に、高橋氏はレーニンのこの所說を、みづからの身を以て、親しく、證明しつゝある！）』（「大衆」五月號、頁四九）余は、レーニンによつて、いかに階級鬪爭の展開が必然に日和見主義者を社會愛國主義者たらしめるかを闡說したのである。しかも、このことたる、『それは今日までに、マルクス主義（レーニン主義——成瀨）の理論的一般的常識の範圍に屬するもの』（濱田氏の言葉——成瀨）である。

濱田氏は云ふであらう——それは抽象的一般的である。日本の今日の情勢において、いかなる必然性をもつて、高橋、丸岡氏の見解が生れきたつたかを、こゝで、具體的特殊的に明かにせよ、と。それならばまたしても、AからZまでの說明を求めることである！　事實、かくのごときは、濱田氏みづからも試みざるところである。

二　濱田氏の極度の混亂！

濱田氏のいはゆる『實踐的克服の途を準備』するといふことは、また、別な意味をもつものゝごとくである。

氏は、余の、我邦資本主義が世界資本主義の一成員としてもつところの、一般的規定を掲げ、これのみをもつては——既に述べたごとく——當面の問題の解決に對して一歩たりとも前進しえないことを云つて次のごとくに說かれる。——

『眞に似面非マルクス主義者、乃至似而非レーニン主義者を理論的に克服することによつて、彼等の實踐的克服の途を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

準備せんとするものにとつては、問題は、更らに、進展せしめられなければならぬ。』(「マルクス主義」六・七月號、頁七四、傍點――成瀬)

そして、我國の「特殊性」を明かにすべきことを主張され、(頁七五)さらに、余が、我邦資本主義が、既に帝國主義時代にあるものとして、その諸帝國主義國家のうちにあつていかなる特殊性をもつべきかを充分に吟味しなかつたことを責められた後、(頁七六)『……彼等の必然が論證され、われ〳〵の戰術の基準として役立ち得べき歴史的、社會狀勢――所謂客觀的狀勢(傍點――濱田氏)の規定に成功し得るであらう。蓋し、かくの如くにしてのみ、われ〳〵の戰術地圖――諸階級、層、集團、黨、等々の間の一切諸關係の推移、變動、それらの間に發現しつゝあるところの諸矛盾の方向その深さと廣さ――が作成され、我々がプロレタリアートの階級鬪爭を組織し、之をその鬪爭目標にまで戰かひ進ましめ得べき條件が戰かひ取られる』ためには『此の等閑視される「アメリカとイギリスといふやうな、今日に於ける「帝國主義諸國家」の「兩極的な相違」の、單なる平面的認識のみでは、全く不充分なのだ』(頁七八、七九)と云はれる。

これによつて見れば『實踐的克服の途を準備』するとは、――當面の對象についていへば――丸岡、高橋氏の「現段階論」に代へるに、みづからの「現段階論」しかも、「戰術地圖」を「作成」しうるほどに周匝、精密なるものをもつてせよ、しかして、これなくしては、丸岡、高橋兩氏に對する批評は、批評として、成立たないといふのである。註(三)

註(三)我々の讀者は、濱田氏が同じ「實踐的克服の途を準備する」といふことのもとに、二つのことを なんの區別もなく盛られゐる。
この氏の混亂の一例に注意すべきである!

そして、この、積極的に「現段階」の全圖を畫く『仕事の充分なる遂行の爲めには、』――繰返していへば――アメリカとイギリスといふやうな帝國主義國家の兩極的相違の單なる平面的認識のみでは全く不充分だといふのである。

ではどうすればいゝのか?

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

こゝで氏は、アメリカとイギリスとの對立を、例の浪花節的美辭麗句をもつて、一とくさり吟じられる。そして曰く――『かくして、われ／＼にとつては、かゝる發展の著しき不均衡が充分に分析されねばならず、それによつてのみ、われ／＼の鬪爭の槓杆として役立たしめ得べき諸對立の發見も、亦、はじめて可能となるであらう。』(「マルクス主義」六・七月號、頁七八――八〇)

實に滑稽極りなき論理である。

まづ第一に、アメリカとイギリスといふやうな對立の『單なる平面的認識』のみでは全く不充分だ』(傍點――筆者)と意氣込んで、さて、出てきたものは、アメリカとイギリスとの對立に見られるやうな、『かゝる發展の著しき不均衡が充分に分析されねばならず』(傍點――筆者)である。こゝで何か變つたかといへば、『單なる平面的認識』が『充分に分析され』になつたとこだけである。認識が『單なる平面的』のものであれば惡いのはわかりきつたことであり、分析が『充分に』なされゝばいゝのはわかりきつたことだ。總てがわかりきつた話である！　これで何かを云つたつもりなんだから、全くもつてやりきれないではないか！

しかも、氏の誤りはこんなことぐらゐではとゞまらない。氏はなんのためにこゝまで來られたか？　『戰術地圖』を「作成」しうるほどに具體的な、積極的な「現段階」な全圖を畫くといふ目的をもつてであつた。そして、世界經濟の一成員としての一般的規定から、漸次に日本の具體＝特殊性に來つた筈ではないか！　しかも、氏によつてこゝで結論されたものは何か？　帝國主義諸國家間の『發展の著しき不均衡』といふ世界情勢である。最初の一般的出發點に――いつのまにか――立戻つてしまつたのである！　氏等にとつては、具體性、特殊性を見るといふことは全く不可能であるらしい。

余の場合には、從つて余がこれにおいて依據したブハーリンにおいても、これを全く異る。我々に於ては次のごとく

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

である。我邦資本主義が、我々の見るごとく、帝國主義の段階にあるとして、帝國主義諸國家は、今日にあつては、これを一列に論じることが不可能であるほどに、互に相違してをる。上昇のカーブを畫きつゝあるアメリカ資本主義と、急激に沒落を辿りつゝある大英帝國主義といふやうに。そこで、我々が我邦資本主義を見るにあたつても、單にそれが帝國主義國であるといふにとゞまらないで、その特質を見ねばならない。無產階級運動の戰術の問題として、第一義的に重要であるところの資本主義の沒落の問題について、我が國がアメリカに近く、むしろ上昇のカーブを示しつゝあるか、或は大英帝國に近く急激に沒落しつゝあるかを、確立することが、少くとも、必要である。余は、こゝでブハーリンと共に、この問題を設問したのである。單に「不均衡」(もちろん、それは、それとして、「確かに重要ではある」)があるといふがごとき一般的規定を求めるのではない。濱田氏はこれらの意義を全く理解されない。これはひとり、氏が「普遍」のみを見て「特殊」を見ない、その極左小兒病的方法を曝露したのみではないであらう。かの誤解は、氏が、ブハーリン――の近業をすら一讀するの勞をとられないことを語るものである。

だが、氏のかゝる出發點への逆轉――丸岡、高橋の「現段階論」に對して、積極的に、具體なる「現段階論」を試みることの必要を、口には唱へながらの――、從つて氏における「具體」、「特殊」の把提の拋棄、不可能は、氏の所論をさらに追ふならば、いよいよ明かである。

氏は引續いて、(頁八〇)まづ、レーニンを引用される。――

「……かつては比較的「平和な」資本主義の時代があつた。……この時代は騎虎の勢を以て進み、その結果、それは急激な、變動常なき、葛藤絶えざる發展の時代――その時代に於ては最早「限りなき恐怖ではなくて、「恐怖を片附けること」が民衆にとつて典型的なものとなつてゐる――によつて取つて代はられた。

「この際特に重要なことは、かゝる變化も資本主義及び商品生產一般の最も深い傾向の直接の發展、擴大、繼續によつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て惹き起されたものに他ならぬといふことである。交換の增大、大工業發展、これは吾々が近代に於て例外なく全世界で目擊する根本的傾向である。而して交換の一定の發展段階而も略々二十世紀の初頭に於て達せられた發展段階に於て、交換は、經濟諸關係を著しく國際化せしめ、資本を著しく國際化せしめ、大工業は著しく發達し、自由競爭の代りに獨占が入り込んで來始めた。最早典型的なものは、一國の內部に於て、またそれらの國々の間の諸關係において、「自由に」競爭してゐる經營ではなくなり、獨占的な企業合同即ちトラストとなつた。世界の典型的な「命令者」は今では金融資本である。而してこの金融資本たるや特に動的な伸縮自由なものであり、一國の內部に於ても、また國際間に於ても特に著しく交錯し、特に非人格的な、直接の生產とは離れたものであり特に容易に集中され、そして既に世界の運命が文字通り二三百の億萬長者の掌中にあるまでに高度に集中されてゐる。』

こゝでレーニンは何を語つてをるか？　まづ資本主義の飛躍的轉回である。そして、それが、資本主義そのものゝ必然的展開であることを明かにする。進んで、この轉回の內容を明かにして、それが經濟の世界化、獨占であり、これが金融資本の成立に至つたことを說いてゐるのである。それは世界的規模における、帝國主義の說明にほかならない。

しかも、濱田氏は、この引用を受けて、直ちに、『然り。かくしてのみ、始めて、われ〳〵は、わが國に於ける狀勢の發展を、客觀的狀勢の具體的分析を、眞に正當に開始することが出來るのだ』（傍點――筆者）と云はれる。

すなはち、濱田氏によれば、帝國主義の世界的一般情勢が「現段階論」の出發點でなければならないのである。まことにそのとほりだ。だがしかし、これは、まがうかたなき逆轉である。見よ！　こゝで氏は『開始することが出來る』と云つてをられる。さうだ、たゞ開始することが出來るのだ。まだ「現段階」はなんら畫かれてはゐない！

しかも、このことたる、余が、既に、我邦資本主義の「現段階論」は世界資本主義の一般的情勢から、まづ始めねばならないと云つた場合に、充分に明かにしたところではないか！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

氏は或は云はれるでもあらうか？『かくの如きは、最早、單なる部分と部分、乃至は部分と全體との問題ではあり得ない。』『われ〱は、部分と全體、全體と部分との問題を、一たん、量から質への轉化、質から量への轉化の問題にまで還元せねばならぬ。』と(頁八〇)

これはまたなんと珍らしい論理であらう！　辯證法にいふ、部分と全體の關係は、量と質との轉換そのものではないか！　こゝでもまた、氏のいふところは一個のノンセンスである。しからずんば、それは辯證法に對する氏の無識の告白でなければならない。

氏の最後の論點は、經濟と政治とを分離するなかれ、といふことにある。

氏は云はれる、——『一般に、戰略の基準としてこの所謂現段階の分析、戰術の基礎としての所謂客觀的狀勢の分析は、政治と經濟との眞に正しき把握——政治の能動的要因としての作用の認識——を含むものであり、從つて、勿論、「政治」を除外しては、それは成立し得ず、また、政治は斷じて除外され得ない。』(頁八一、傍點——筆者)

『……もし然らずして、單なる經濟過程の分析に終始するとき、その分析は盲目であり、當てなき彷徨にをはるであらう。』(頁八二)

全くそのとほり！　しかし、これもまた「マルクス主義の理論的一般的常識の範圍に屬する」ものである。そして、かゝる政治と經濟との聯契が濱氏において試みられてあることは、濱田氏みづからの認められるところである！

だがしかし、濱田氏の主張は、いま少し異つたところにあるらしい。なぜなら、氏はこゝで、「『現在の政治的狀勢は何であるか』かくの如きが、われ〱の全分析の出發點であらねばならぬ。』(頁八二、傍點——成瀬)また、『……政治は、常に全分析の端緒であらねばならぬ。』(同、傍點——成瀬)と。なるほど、これはマルクス主義の一般常識には屬さない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いつたい、濱田氏は「政治的」といふことをもつて何を理解してをられるであらうか？　氏が『……わが夢遊病者丸岡氏が、近代資本主義に於ける資本輸出の有つところの政治的意義（注意！――成瀬）それの果しつゝあるところの政治的役割（注意！――成瀬）に關して遂に一個のあはれむべき盲目者たるの他なきは、極めて當然のことでなければならぬ』、（頁六一――六二）と云はれるによつて見れば、かつまた、我が濱氏の『わが對支借款の大部分を、政治的借款（注意！――成瀬）として理解し、かゝる「資本」が、いかに政治的（注意！――成瀬）に働らきつゝあるかによつて明白である』といふ言葉を引用しこれに對して『……濱氏に於ては、……經濟と政治との密接なる關聯が、部分的ではあるが顧慮されて居り……』頁六三、傍點――筆者）と云はれるによつて見れば、氏において政治とは經濟と對立した、常識的な意味の「政治」である。

しかも、この「政治」が全分析の出發點だといふのだ！

斷じて誤りである！『……政治的秩序は副次的要素であつて、市民社會、即ち經濟關係の王國が決定的要素である』こと、從つて我々の分析は經濟から始められねばならないこと、――これこそ『マルクス主義の理論的常識の範圍に屬する』！（濱田氏の言葉――成瀬）

事實、レーニンのコミンテルン第二回大會における世界情勢の報告を見よ、そこには、帝國主義の獨占經濟としての諸特徴が分析の出發點としてある。また、ブハーリンの同じく世界情勢の報告たる「資本主義の安定と無產階級運動」を見よ、こゝには「資本主義安定の特徴として、「生產」、「國際貿易」、「爲替」（濱田氏よ！　これは「政治」ではありません。――成瀬）の諸現象の解剖があるではないか！

だがしかし、我々は、濱田氏のために、特に一歩を讓らうではないか。そして、こゝで氏が「政治的」といふのは、單に經濟に對立した意味ではなく、階級鬪爭の直接の狀勢といふ意味だと解しよう。註（四）これでもやはり、お氣の毒な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

がら、駄目である。なるほど、我々はかゝる意味の階級闘爭の情勢によつて、我々の問題を與へられる。註(五)從つてまた、問題解決の歸趣を定められる。だがしかし、このことは、その問題の解決のためにする分析が現實にどこから始められるべきかとは、分析の出發點とは別ではある。かくして、濱田氏の『政治は、常に全分析の端緒であらねばならぬ、』といふことは、以前として、意味をなさない。濱田氏の經濟と政治との聯關論なるものは、わかりきつたことの反覆であるか、しからずんば『マルクス主義の理論的一般的常識』を超越した、救ひ難き誤謬である。

註(四)この「政治」の概念に對する淺野氏の不正確、むしろ無理解は、すでに我々の同人、中澤篤氏の指摘したところである。(中澤篤氏「左翼の勞働組合戰術の基調」「大衆」、七月號、頁二四)

註(五)なるほど氏は『問題は、常に、政治に於て與へられなければならぬ』と云はれる。しかし、この言葉は、前の「政治は常に全分析の端緒であらねばならぬ」に續く。しかも「換言すれば」といふ接續の辭をもつて。二つの全く異れるものを並列して平然たるものである。氏の混亂、支離滅裂ば、まことに收拾し難い。

ともあれ、經濟と政治との聯關の謬論をながながと述べた濱田氏は、これを總るや、突如として、まことに藪から棒に、『薄茂人氏と成瀬光雄氏は、ついに左翼夢遊病者ではないか』と叫ばれる。こゝのあたり一體の濱田氏の迷語にいたつては、けだし、珍中の珍たるものであるが、余は、これをもつて讀者を惱すことを、もはや、やめようと思ふ。

たゞ、かくのごとく、いゝ加減に、いゝ加減な言葉を投げつけることは、氏等の常套手段である。

先きに薄氏を評した場合に、『……現に、薄氏にあつては、丸岡氏の立場は止揚されては居らぬ』といつて、薄氏をちよつと引用した後、いきなり『如何に、氏が、方向轉換の意義を、組合主義闘爭より眞實に全無産階級的なる政治闘爭への轉換の意義を、理解せられ得ないでゐるかは、これで明かではないか』といふ評語(?)を叩きつけられる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

また、かの和田叡三氏が我々の同人、澤野俊雄氏の「極左的組織理論の一典型」(「大衆」、五月號)に對する批評 註(六)のごときも、「折衷主義」、ドンキホーテ、デマゴギーといつた言葉を、たゞむやみ矢鱈と、抛りつけたものにすぎない。

註(六)この和田氏の論文もまた、空虚なる點において、澤野氏に向つて『現實的解決を準備しない』(「マルクス主義」六・七月號、頁五二)ことを責めつゝ、みづからは、積極的、具體的意見を述べない點において、濱田氏と好一對をなす。我々は、別の機會に和田氏に對しても、その内容ある點については、決定的に答へるであらう。

かゝる、根據もなければ理由も示さない單なる言葉には、我々は答へることもできないし、また、なんらの意味においても、答へる必要がない。

こゝで讀者諸君はひとつの自働機械を想像せられるがいゝ。その自働機械は、いゝ加減なときに、パッパと、左翼夢遊病者! 方向轉換! 折衷主義! 等々といふ奇聲を發するのである。自働機械だから頭はない。もちろん、何時さうした奇聲を發するともわからない。

自働機械にものを云はねばならないとは、これこそほんとうに情けない世の中といふものであらう。

三 濱田氏をしてみづからを評せしめよ

上來、余は濱田氏の余等に對する批評(本人はそのつもり!)に、あますところなく答へてきた。いかにそれが見當違ひの、しかして、また支離滅裂のものであるかを、完全に曝露した。

しかし、余はこゝで、さらに一歩を進めて、これらの濱田氏の批評がいかに無責任なるものであるかを曝露しよう。濱田氏の批評は氏および氏等みづからに最もよく妥當するんである。

淺野氏の現段階に關する『積極的考察への若干の豫圖』(淺野晃氏『所謂「現段階の分析」に就いて、』(「マルクス主義」十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五年十二月號）の、ならびにこの見すぼらしき縮刷版の原版たるところの林二郎氏の「國家資本主義トラストの進出」（「政治批判」、二月號）のもつ種々なる誤謬については同人、海氏が幾回となく指摘し來つたところである。註（七）

註（七）この淺野、林兩氏の二論文における見解は、我々の充分なる批評に會へる今日、氏等といへども、そのまゝ抱懷しつゝあるものではないかと、我々は考へてゐた。しかも、濱田氏が、最近の、我々に對する批評において、以前として、なんのことはりもなく淺野氏の前記論文を引用しつゝあるを見れば、氏等はなほこの見地に立ちつゞけあると見える。（「マルクス主義」六・七月號、頁六八）

ところで、これらの論文における氏等の見解はいかにあつたか？

その內容について見れば、（一）金融資本主義の成熟とそれの國家權力との抱合――國家資本主義トラストの成立、こゝにまで發展せる支配權力の具體的政策――分裂政策と反動組織、（二）これによつて生みだされたる階級鬪爭の情勢――國家資本主義トラストと勞農黨との對立、かくのごとくである。

こゝで氏等のいふ「國家資本主義トラスト」はブハーリンが抽象的に論じたものを直譯したにほかならない。決定的に抽象的、一般的である。それは我々の讀者のすでに知られるところであらう。

いま、氏等の論構を見るならば、第一に、濱田氏の我々に加へた批評――『日本帝國主義の內的構成の特殊性の問題に觸れらるゝに至らない』とは、もつともよく氏等自身に妥當するではないか！ しかも、淺野、林氏にあつては我々の場合とは異り、直接に現段階の總圖を畫くことを意圖したものである。

濱田氏の余に對する批評――量と質との轉換による考察、これに基く現段階分析の開始がない、とは、氏等に最もよく妥當するではないか！

政治を「全分析の端緒」とせよ、と。氏等はこれを試みてはゐないではないか！

我邦資本主義が帝國主義諸國家の間にあつて、いかなる位置を占め、いかなる特殊性をもつかを決すること――『これは大いに必要である』（濱田氏の言葉――成瀬）といはれる。しかも氏等みづからはこれら氏等の論文において決して試みられてはゐない。

濱田氏はみづからを批評しつゝある！

結

かくて、すでに明かなるごとく、濱田氏の我々に對する批評は、たゞ批評せんがための批評にすぎない。我々はかゝる態度が那邊より來つたかを知ることができる。氏ならびに氏等は、かの北條一雄氏の、いまや極左的見解の古典的表現となつたところの、『「資本主義最後の段階としての帝國主義」はいま我國に於ても亦强烈に沒落の過程を辿りつゝある』の見解に追隨しつゝあつた。しかるに、その極左翼見解を、我々が曝露するや、氏等は、周章狼狽、ひたすらに我々を傷けることによつて、自己の非を蔽はんとするに至つた。かくのごときが、氏等の我々に對する態度の根據である。

我々に對する態度の問題はしばらく措く　濱田氏は、かゝるその極左的見解の非を無理にも通さんとするがごときを、一日も早く「止揚」すべきである。

『若し――氏の同志、西雅雄氏の言葉をこゝに藉らしめよ――このことが何時までも達成されないならば、勞働者と農民は、諸君を見棄てゝ進むであらう。』

（一九二七、七、二〇）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二重組合主義の弊

荒畑寒村

一　破産の狀態

北米合衆國の勞働運動は、歐羅巴の勞働階級が多少ともに××的な理想に傾むきつゝあるに比して、非常に遲れてゐると言ふことは何人も非認し難い所だ。マルクスは『勞働團體は近代産業の發達生長と共に終熄せずして、一國の勞働團體の發達程度は、その國が世界市場に於て占むる位地を明示する』と言ふ意味の事を云つてゐるが、米國が現に世界市場に於て占めてゐる最高位地を考ふれば、その勞働階級の保守退嬰の狀態は、益々不可解となつて來る。

第一はその政治的位地だ。

故ゴムパアスは一九〇九年の防歐旅行から歸つて後、

『米國は歐洲一般よりは二十年、英國からは十年、獨逸からは二十年おくれてゐる。』

と嗟嘆したが、實に米國に在ては、言論出版の自由は反シンヂカリスト法の爲に大部分廢せられ、集會の自由はク・クラックス・クランや地方官憲の爲に奪はれ、ストライキの權利はエスチミング法、産業裁判所、中止命令權の爲に有名無實に歸せられてゐる。シヤアマン反トラスト法は、そのクレイトン修正の爲に適用すべからざる勞働團體に適用せられ、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大審院は聯邦少年勞働法を憲法違反と宣告し、コロラドのストライキに際しては、組合に對して米國式タッフ、ヴェール判決を下した。また判事ウキルキンソンは、四十萬人の鐵道工場員のストライキに際してその權利を非認し、これを法律の保護外に置くことを宣言した。

之れ皆、米國の勞働者が獨立の階級的政黨を有せず、或は既に有してもその勢力が未だ甚だ弱く、大多數はブルジョア政黨に媚附し、その甘言に丸められゐるからである。

第二はその組合員の數だ。

米國の勞働組合員は約三百五十萬人で、人口一億一千萬に對し三十人毎に一人の割合であるが、米國と拮抗比肩するに足る歐洲の大產業國と比較するに、獨逸では組合員一千二百萬、人口五千五百萬に對し四人半毎に一人の割合であり英國は組合員六百萬人、人口四千四百萬に對し七人半毎に一人の割合である。

故に英、獨は米國に比して、獨逸が六倍、英國が四倍に當つてゐるが、然し若し勞働團體の發達程度が、產業の發達に正比例すべきものであるならば、米國の勞働組合員は獨逸に比例して二千百萬以上、英國に比例して一千四百萬以上とならなければならぬ筈だ。然るに、米國最大の勞働團體、A・F・L(アメリカンフェデレーションオブレエバア)の所屬會員數は約三百萬で、これが百十七の全國組合に分れて居り、一組合の平均會員數は二萬四千以下である。之に反して、獨逸の勞働總同盟(社會民主黨)は會員約八百萬、全勞働運動の人員の三分の二を占めてゐる。そして之は四十九の全國組合に分れてゐるから、一組合の平均會員數は約十六萬三千である。

第三はその組合組織だ。

米國の勞働運動はいま猶、十九世紀型の組合形式を踏襲してゐて、各產業には十乃至十五の獨立せる職業組合が存在してゐる。獨逸では一九二二年のライプチッヒ大會で、組合の合同及び全勞働運動を產業的基礎の上に組織するの決議

を通過した。然るに同年の米國シンシナチ大會では、A・F・Lは二十一年のスクラントン宣言、即ち近代の大資本家的合同の行はるゝ以前に作られた決議を裏書して、組合の合同主義に反對した。

第四はその組合運動の勢力だ。

八時間勞働制は勞働運動の勢力の、有効な秤の一であるが、今日歐羅巴の諸國が概むね八時間勞働制を施行してゐるのに、米國の產業は多くは九時間制で、製鋼トラストの諸工場では十二時勞働の、野蠻な制度が實施されてゐる。また米國の勞働運動が有力でない結果、大抵の產業には所謂『アガメリン・プラン』なる『オプン・ショップ』が行はれて、勞働組合の產業に對する干涉權、即ち工場委員等の如き制度が存在しない。英國や獨逸では、殆んど過去の物語りに屬したと云つても誤まりでない『スカブ』が、米國では今日も猶ほ跳梁跋扈してストライキ破りをやつてゐる。

第五はその政策の保守反動的なる事だ。

A・F・Lの政策が保守反動的な事は、黄色の第二インタナショナルさへも、尙且つ急進的だとして加盟しない一事でも知られるが、彼のロシアの大飢饉當時、彼等はその救濟に反對した。

檢事總長パルマアが所謂『過激派狩り』をやつた頃、ゴムパアスは資本家新聞に寄書して、赤禍を警告して此の暴政を後援した。

米國の歐洲大戰參加は、勞働者を侵略的位地に置いたもので、未組織勞働大衆を組織すべき絕好の機會であつた。然るにA・F・Lが實行しないものだから、遂にシカゴ勞働組合聯合會は獨力、罐詰業及び製鐵業の組織運動を開始したが、結局失敗に歸した。

かゝる保守的政策の結果、戰後、資本家側の大オプン・ショップ運動、即ち組合退治が猛烈となり、勞働運動は爲に大打擊を蒙むつたのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

之れ畢竟、勞働運動の指導者が腐敗し、官僚化し、無産階級の理想と感情とを欠き、單に俸給と位地とにのみ戀々としてゐるからである。

二　二つの說明

かゝる破產狀態は何に歸因するか。

之が原因の說明としては、概むね二つの理由が擧げられる。卽ち第一は數百萬の移民が流入してその人種、言語、習慣、性情、宗敎等の差違が、米國の勞働問題を複雜にし、その組織を困難にすることゝ、第二は勞働者が經濟的繁榮と生活狀態の良好なるが爲に組合運動の必要を感ぜず、革命的精神を有さないと云ふのである。

だが、事實は之と反對であつて、一九一二年のロオレンス大罷工は、二十ケ國の移民勞働者がその脊骨であつた。一九一七年及び二一年の罐詰業ストライキは、主としてスラヴ移民の戰つた所で、また最後まで奮鬪したのは實に彼等であつた。一九一八——一九年の大鋼鐵ストライキには、實に五十四ケ國の移民勞働者が加はつてゐた。米國合同坑夫組合會員の大多數は外國人であり、衣服製造業の勞働者は主として伊太利人、波蘭人、猶太人、リスアニア人で、純粹の米國人は極めて少數である。然るに坑夫組合と、衣服製造工組合とは、共に米國では最も進歩した勞働組合である。

更にまた、勞働者が、智識的にも、組織的にも發展を遂げるのは、生活の非常に苦しい時と、非常に好景氣の時との二つの場合がある。

前者の例はロシアと獨逸との××が之が證してゐる。後者の例は濠洲であつて、そこでは土地が安く、勞働者が乏しく、失業問題は存しなかつた。蓋し資本家はその有力な同盟者、卽ち失業者の大群を有しないので、勞働者は組織上に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も、要求の戰ひの爲にも、頗ぶる適當に發展する事が出來た。これは亦、戰前の獨逸でもそうであつた。

實に好景氣は勞働者を弱めないのみならず、組合は勢力の充實、組織の鞏固、新要素の註入等により、且つ資本家が勞働者不足のためにアガキの取れざるに乘じて、マルクス主義的××の組織ではないが、基礎的な××的知識に燃やされて、一層の希望と意識とを高めるのである。

それ故、一九一九年に米國の鐵道從業員組合がプラム案(プラン)を聲明して、現所有者の手から鐵道を取り戻さんとしたのは實にその勢力の絕頂に在る時であつた。

三　産破の眞因

既に以上の理由が、米國勞働運動の破産を説明し能はぬとすれば、その眞因は何處にあるか。その病源は實に二重組合主義の弊に存する。

二重組合主義とは勞働運動の急進派が、舊式な保守的な勞働組合から脱退して、別に××的、理想的な勞働運動を起さんとするもので、米國のI・W・Wや加奈陀のO・B・U（一大組合(ワンビツグユニオン)）の運動は、その典型とも稱すべきである。由來、××的な少數派は勞働運動に眞の血と精神とを與ふるもので、その脱退は勞働大衆の基礎的組織である勞働組合から、教師であり、指導者であり、進歩的精神であり、戰鬪力の根源である精鋭分子を無くして、無自覺な大衆を保守的な首領の手に委ね去るものである。

米國に於ける二重組合主義の先達は、デレオンである。彼は偉い人物だつたには違ひないが、然し舊式な勞働組合を以て靜止的な、絕對的に保守的な團體だとして、社會主義的勞働組合を新たに創り出さなければならぬと考へた所に、根本的な誤謬が存してゐた。彼は勞働運動が、知識的には保守主義から急進主義へ、組織的には職業的から產業的形態

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

への、發達であることを知らなかつた。要するに、デレオンが二重組合主義の産業的政綱は、舊式な、不完全な、進化する社會的有機體を拋却して、新しい、完全な制度を以て之に代へんとする、空想的な計畫だつたのである。

デレオンが米國の勞働運動に乘り出したのは、一八八八年頃であるが、當時の勞働運動は勢力が弱く、理論は愚劣で官僚主義者や反動主義者も充滿してゐた。故に此の原始的な團體を社會主義的に改變させるよりは、寧ろもう一度勞働運動を『科學的』な原則の上に建て直す方が、はるかに單純容易に考へられた。デレオンの計畫は今でこそ空想的であるが、一八九五年當時には論理的にも、實際的にも殆んど天來の靈感とさへも思はれたのである。

四　二重組合の弊

爾來、米國の勞働運動に在ては、分裂主義と急進的勞働組合主義とが、急進派の綱領の中に一つに融合されてゐた。そして保守的組合と急進的組合との對立抗爭は、劇烈な勢ひで行はれて來たのである。

然るに、その對立抗爭の結果は、一九一九年の罐詰業勞働者の大組織運動に際して、會員十萬を算する大組合が急進派の指導下に歸すべき好機を逸し、空しく保守的な組合官僚の支配に委ね去つた。これは數年後の埠頭人足組合と海員組合との大罷工に際してもそうだつたし、一九二〇年の鐵道轉轍手の大罷工でもそうであつた。

二重組合主義が惹起した大悲劇の一は、西部鑛夫同盟の破滅である。これは一八九三年に組織された金屬鑛夫の組合で、その産業的な形態なり、××的な綱領なりで、最も立派な團體であつた。然るに今では、數の上からでも、精神の上からでも、云ふに足らざるものとなり、舊い名稱さへも羞づるやうになつて、鑛山、工場、及び鎔鑛勞働者國際組合と改稱してゐる。西部鑛夫同盟は一九〇五年に、I・W・Wを組織した團體の一だつたが、二年後に脫退した。

其際、西部鑛夫同盟の親柱であつた精鋭分子、ヘイウッド、セント・チョーン、其他の連中は、同盟が保守的なモウヤ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ア一派に指導され、殊にピュットの大支部組合が、完全に彼等の支配下にあるから、とてもダメだと見切をつけて、同盟から脱退してしまつた。そして其後、同盟に對しては仇敵のやうに、憎悪の感情を抱くに至つた。一九一四年、モオャア派の機械と目されてゐたピュットの鑛夫は厥起して、保守的な組合官僚を町から追ひ出し、自ら大爭議を支配するに及んで、保守的な組合は進化の能力がないと云ふ幻想は消滅した。故にもし、精鋭分子が同盟の間に止まり、そして他の支部にも此の運動を行つたならば、同團體を昔日の光榮に戻し得たであらうが、彼等は同盟から脱退して新たに組合を組織した。これは同盟にとつて、全く最後の止めであつた。

二重組合主義によれる對立抗爭は、A・F・Lの如き米國最大の勞働團體を、依然として保守反動的なる勞働貴族、組合官僚の牙城たらしめてゐる。然るに勞働運動を××化せんとせる目的そのものは、結局失敗に歸してゐるのである。I・W・Wを見よ、その二十年間の眞摯なる努力、誠實なる意圖にも拘はらず、創立當時の會員四萬が最近では一萬五千に減じてゐる。が奈陀のO・B・U運動が、一九一八年に旋風の如き勢を以て起つた時は、約四萬の會員を有してゐたが數年後には四千に減じた。社會主義勞働黨が十四年間も精力を打ち込んだ勞働者國際產業勞働組合も、今では數百の會員を算するに過ぎない。若し米國の勞働運動が今日、愚劣にして腐敗せる官僚のために、殆んど進化發達の能力なき程に強く把握されてゐるとせば、之が責任の一半を負ふべきものは、實に二重組合主義なのである。

四　少數派運動の意義

此の如き悲しむべき狀態も、漸く最近に至つて正道に向ふに至つた。その反動に、最も大きな刺戟を與へたものはロシア××の經驗であつて、之は大衆が恐らくは決して明白な××的意議を有するには至らぬかも知らぬが、然し彼等は進路を辨まへてゐる組織的な、意識的な、少數派の指導に從ふものなる事を教えたでのある。それ故、精鋭分子は飽く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

まで大衆的組織の中に踏み止まり、そして大衆を獲得する事の必要が解せらるゝに至つた。

勿論、反動的な組合官僚が組合大衆の意志に從はぬやうな極端な場合には、分裂の止むを得ざることも起るであらうだが、かゝる場合には急進的少數派は既にその背後に、組合大衆を味方として有してゐるのであつて、其の例は米國の衣服製造工組合の示した所である。此の組合では、一九一〇年のシカゴ罷工が會長リツカアトの爲に裏切られ、一三年の紐育ストライキも幹部に裏切られた。然るに少數派は隱忍して努力奮闘せる結果、一四年のナシギル大會では遂に少數派の代表が多數を制し、リツカアトは自派代表者を卒ゐて脫退した。かくして新らしい衣服製造工組合が作られ、米國で最も進歩せる組織と、戰鬪的な精神とを有する勞働團體となつてゐる。ナシギルの分裂は、小さな出來事で、この起ると起らざるとに論なく、少數派は既に大衆を獲得してゐたのである。

之れが勞働運動を××化すべき、少數派運動の志意である。そして之れは亦、コミンタアン及びプロフインタアンの共に採用せる戰術なる事は改めて云ふ迄もない。

以上は僕が他の場所に書いた論文の中にも論及した點で、重複の嫌ひもあるが、最近、日本勞働運動の左右兩派の對立抗爭が、必然に二重組合主義の弊に陷ゐる危險を藏してゐるので、多少の參考にもと思ひ、フオスタアの著書の一部を紹介したのである。只だ時間がないので、蕪雜なものしか書けなかつた事はお詫びする。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

左翼の勞働組合戰術の基調（三）

――統一運動同盟の役割――

中澤篤

四　一時的安定と統一戰線

（一）

上來の所謂『スチユーデント・マルキスト』の思想傾向の簡單分析に於いて、注意深い讀者は、彼等が口には潛越にもマルキストたることを自稱し乍ら、全然マルクス主義とは相反する、小ブルジョア革命思想の秘密宣傳者であることを看取せられたことであらふ。尙ほ重ねて端的に言ふならば、彼等、學生マルキストの鬪爭意識が、マルクス主義者のそれとは全然、その形相を異にしたところの、形而上的な、實踐とは遊離した――そしてその思想的立場は、寧ろ、プルードン一派と最も接近せる――マルクス主義の膺造物たることが、單なる一例、資本主義の現段階の認識において眞とに遺憾なく曝露してゐるのである。これが彼等の觀念的形體の眞實體を、最も明白な『極左翼』たることの烙印であることを示してゐるのだ。

而してまた、その主觀的方面に於ける、彼等の小ブルジョア的特質は、この形而上的觀念に基礎を有つて、玆にも亦

最惡の意味に於けるデマゴーグとしての缺點を如實に示してゐる。デマゴーグ自體は常に、それ自身のデマゴーグたる本質を隱蔽せんがために、口を極めて眞實に無產階級運動の勝利を企圖する、マルクス主義者を誹謗するのである。それが彼等デマゴーグの、無產階級運動內に潛入する唯一無二の常套手段である。我が日本に於ける此等のデマゴーグは口には彼等のみがマルクス主義の正しき信奉者たることの宣傳の下に、マルクス主義の假面を被り、後期帝國主義時代にあはたゞしくも沒落し行ける彼等小ブルジョア分子の、絕望的な目的から、大資本に對する反叛と、封建的殘存勢力と金融資本的大ブルジョアとの妥協苟合せる、專制的政治壓力に對する小ブルジョア的反抗の一表現、無政府主義的な革命思想を達成せんがために、プロレタリアートと農民との大衆の層に侵入して行つてゐるのだ。

デマゴーグとしては、蓋し最も無能無智なる淺野晃君は、そのマルクス主義な口吻で、最も卓越せるドンキホーテ北條一雄君の他愛もなき、次の如き一句を引用して薄茂人君を戒しめてゐる。

『……彼等はすべてを「資本の攻勢」によつて說明するものである。それ故に、彼等の最大關心事は、「資本攻勢の白兵戰に臨んでの陣中無政府狀態」をさけることである。

『このことが二面の意義をもつ——それは第一に、從つて（從つてとは何んだ——筆者）理論鬪爭の回避となる。理論的鬪爭を回避する（理論的鬪爭をどうして回避すると云ふのだ、統一戰線の理論を資本の攻擊に對應して展開することにより、最も當面具體的な、勞働、農民大衆の最も痛感せる、此の問題を取扱ふことに依り、始めて生々とした實踐に基礎を堅固に置いた、マルクス主義的鬪爭を理論鬪爭上にも發展せしめ得る最良の然して眞實の方法ではないか——筆者）左翼はすなはち、發展を拒否するところの左翼でなければならぬ。そして發展を拒否するところの左翼は、鬪爭の發展と共に必然に、理論上並に歷史上、やがて右翼となる外ない運命にあるものである。

『それは第二、編に「戰線の統一の整理」とを要望することゝなる。では、いかにして、現實に、この「戰線の統一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と整理」とはなさるべきか？　それが彼等の中心問題である……」（北條一雄『左翼中間派結成計畫の批判』マルクス主義十月號）

右の引用論文の內容が、全部その理論的構成に於いても破產し、まるでマルクス主義のＡＢＣをも解し得ない、低腦兒の混亂しきつた頭腦から、捻り出された一つの浮言(うはごと)であり、斯る小六ケ敷しげな屁理屈、卽ち小ブルジョア的獨斷でもつて、統一戰線へのプロレタリアの志向を、個々ばら／＼の何等統一なき戰線へと切斷しやうとしてゐるものであることとは、極く僅かの注意で充分に感知し得られるのである。この俗惡極まる珍粉漢文の小ブルジョア的な理論の遊戲を、その儘ま後生大事に手放さず、而かも麗々しく掲げるに至つては、その頭腦の正常さ加減が疑はれるのだ。

（註）私は勿論、この北條一雄君の「左翼中間派結成計畫の批判」とは違つた意味の下に、既でに過去に屬した此の中間派左翼結成に對して、反對の立場を有してゐたものである。だがこれは當面の問題外に屬し、また既でに雜誌「大衆」は、本年四月號に於いて自已の批判を兼ねて中間派左翼結成計畫の誤謬たりしことを、頗る消極的ではあつたが行はれたことに依り、その問題は一段落を告げた形ちである。申すまでもなく今後、重ねて之れに對する明確な自己批判と、積極的意見が發表されるであらふ。これに對してマルクス主義五月號に「大衆は何をなさんとするか？」の銘題の下に若林亮君の批判が掲載された。これは無產階級運動のイリーガルな方面に就いて、初めて知り得たらしい論文である。かやうに一歩々々と、全運動の鬪爭形體を、たとへ理論的遊戲の結果にしろ、諒解し得つゝあると云ふことは、此の人自體の進歩を示すものとしてのみ、貴重な價値を有する。だが惜しいことには、無產階級運動の發展は如何にして、實踐的基礎の下に理論的に行動されるべきかに對して、極度の無智識を表明してゐる結果、その駁論は無價値に等しい駄辯となつてゐる。

（二）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の引用文が何故、滑稽きはまる矛盾の蓄積であるかと言ふに、「彼等の最大關心事は、「資本攻勢の白兵戰に臨んで陣中無政府狀態」をさけることである』と云ふこと自體が、極左翼病者に共通の特徴的病源であるところの、客觀的には資本の現段階を『あはたゞしき沒落過程にある』と勝手に誤認し、主觀的には、前にも引用せる如く「全モメント（折衷主義、經驗的現實主義小說論者、中間派）の、しかも、今や始めて自らを意識したる全モメントの抗爭が赤熱しつゝある、我が無產階級運動今日の發展段階――を正確に分析究明すること」が、我々にとつて直接緊要の任務なのである……」と、彼等の中空に浮動せる、觀念的な客觀的情勢――あはたゞしき沒落論――とも切り離された、主觀的要素のみを追隨することを要求せる結果、從つて無產階級陣營內部の對立的現勢を、それ自身として受納し、それを理論的に合理化するに至つてゐる。これは甚だしき、實踐的マルクス主義の冒瀆である、歪曲である。吾々が『資本攻勢の白兵戰に望んで陣中の無政府狀態を避けんとする』と云ふことは、斯る情勢に當面したプロレタリアの間には、個々に分散し對立せんとする陣營內の傾向と鬪つて一個の鞏固なる統一戰線を結成し、プロレタリアの利害を防衞し、延いては勝利への準備を行はんとする要望が、必然に激成しつゝあると云ふ、現段階に於ける階級對立の客觀的情勢の正しき認識から、かゝる統一戰線への强き主張が生れたのを正當に看取したからだ。これが資本の一時的安定の出現と同時に、新らたに發生したる、防衞的意義の下にプロレタリアート陣營の內部に發酵し來つた、「安定」破壞の戰術の基準となるものである。

かゝる、プロレタリアートの資本對立鬪爭の戰術の基準となれる、統一戰線確立の强力なる傾向が、吾々マルキストの現在に於ける階級鬪爭の指導の戰略を規定するものである。「資本攻勢」の今日の段階の特徴的な形體は、金融資本的な獨占支配が、經濟的に政治的にも濃厚となつて來つゝあることである。資本主義的帝國主義の後期、即ち沒落期と云ふ歷史的段階に到達せる現在の國家は、後期資本帝國主義を再建するために、國家權力の總動員を行ふことによる、後

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

期帝國主義といふ資本主義の沒落期を、安定と不安定との動搖絕間なき交互的崩壞作用をもつて、この最後の歷史的段階の白き頁の上に、複雜多樣なる曲線と直線との亂舞を刻み付けるであらふ。最後の資本主義沒落の歷史上に現はれたブルジョア政治の形體は、恐慌の浪にもまれ資本の有機的構成自體の不均衡と、階級鬪爭の激成とを、如何にして排除するかに向けられたものである。

從つて我が無產階級の鬪爭も、資本主義の政治的彈壓と、經濟的攻勢とに對抗した戰略を決定し、それに從つて鬪爭の戰術は決定されるべき必要に當面した。かゝる新しき鬪爭手段への轉換は、彼の大正十一年に山川均氏に依り逸早くも提唱されたのである。我が日本の無產階級運動はかような情勢に當面したと同時に、全運動の方向轉換は、より大衆的に、より擴大されたる戰線に、卽ち單一政治戰線と、全國的勞働組合總聯合、若しくは全國的勞農組合總聯合といふ經濟鬪爭の統一戰線へと、二つの形體の單一戰線へと進出したのである。（註一）

（註一）私は無產階級運動の方向轉換の問題に對し福本和夫君一派とは、其の根底から相違した意見をもつ、福本君は「方向轉換」を指して、單に政治鬪爭への轉換と見る。けれど私は此れを二つの方面への方向轉換、卽ち、政治鬪爭と經濟鬪爭への方向轉換と見る。斯樣に解釋することにより、初めて無產政黨と勞働組合との相互關係、及び其の他の無產階級運動の政治的、經濟的に關連あるマルクス主義的な理論的基礎に立ち得られ。かくして、大衆運動は各々の指導下に益々鞏固に組織し得るのだ。またかような大衆運動が二方面に發展してこそ、一切の鬪爭を政治鬪爭、卽ち××的鬪爭へと强力に前衛部隊の指導の下に發展せしめ得られるものである。極左の諸君よ、前衛部隊の政治鬪爭と、大衆的政治鬪爭との混亂から脫せよ。諸君の政治鬪爭論は小ブルジョア的煽動組織のそれだ、それは無產階級を小ブルジョア的政治思想の中に墮落せしめる危險を多分に有してゐるのだ。

かような階級鬪爭の擴大といふことの事實は、鬪爭力が少數前衛部隊の鬪爭から、一步發展進化して、大衆の鬪爭へと發展しつゝあることを物語る。大正七、八年頃より、大正十年、十一年に掛けては、當時勃發せる勞農大衆の自然發生

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

的な鬪爭を、鬪爭の最も初步的な形體であるところの、組合運動（經濟鬪爭）に組織することが、大衆を獲得する最も手近な有力な、そして唯一必然の方法であつた。無產階級の組織的鬪爭の歷史が短い日本の無產階級運動は、よしんば極く少數の前衞間に、政治鬪爭への發展擴大の理論があつたとしても、これと併行すべき無產階級運動の發達が、新らしきために、それを受け入れるまでには發達してゐなかつた。また無產階級の鬪爭の歷史が淺き時に、如何に立派な政治鬪爭の理論を述べても、それは直ちに受けいれられるものでない。また實踐的基礎が、それを受け入れる必要を、鬪爭の經驗に於いて認識するに至つた情勢に到達したときに、初めてそれは無產階級運動の實踐的問題として吸收せられる。またかやうな實踐的基礎が生じない場合に於ける、吾々の政治運動論は概念的であり、プロパガンダの範圍を出でないだが、それは運動の成り行を看視せるマルキストとしては、行はなければならぬものであり、また是非ともに運動の發展上に必要なものである。組合運動の鬪爭の經驗は、マルキストの提唱する政治運動の必要を大衆に知らしめる。かくて組合運動內のマルキスト及前衞は、發生し來れる組合內の、政治鬪爭への戰線の擴大の要求に連れて、鬪爭組織の問題、鬪爭目標の問題等を具體的に解決する理論を獲得するに至るのである。（この辯證法的發展の形相を極左翼の諸君は理解しなければならぬ。）

扨て、本論の表題が示す如くに、私の此處で取扱ふ問題は勞働組合運動である。從つて政治運動の問題は、本論の範圍外に屬するから、これは後日に讓つて、先きに揭げた淺野君の引用せる北條君の短い章句の批評に立ち返らう。

吾々が『すべてを「資本の攻勢」によつて說明する』（資本の攻勢を問題としないものは、改良主義者が、反動分子乃至はブルジョアジーのみである。マルキストは常に階級間の力の關係、ブルジョアジー陣營內の力の關係、勞働階級自身の陣營內の力の關係中間的社會群、即ち農民小ブルジョアジーの社會的地位等と其の變化とを正しく正當に評價するのは、この「資本の攻勢」を打破して勝利を得んがためである……筆者）とは何うしてゞあらうか？　と云ふならば、この言葉の中には次の如きことが含まれて

ゐることを考へなければならぬ。即ち、第一には、資本の合理化が凡ゆる困難とぶつかりながら進行しつつあること。第二には、資本の合理化を阻害する丈けの勢力を日本の無産階級は有してゐないこと、及び合理化進行の過程に伴うて、無産階級陣營の分裂が生じた。即ち右翼、中間派左翼其他の浮動團體が生じ右翼は反動的要素としての特色を强めて行きつゝあること。第三には、しかるにも拘らず「合理化」は、勞働階級及び農民大衆の自然成長的な鬪爭を激發しつゝあること。これが資本攻勢に連れて發現した階級對立の現段階の姿態である。

プロタリアに影響する資本の合理化は、勞働條件の劣惡化、生活資料が勞賃低下率より緩慢な狀態を示すことによる生活の貧窮化、鬪爭機關を破壞若しくは極度の壓迫を加へることから生ずる鬪爭の困難、等々は、政治鬪爭、經濟鬪爭の領域を問はず、統一戰線の運動が、大衆の熱烈なる要望として現はれるのであることは、屢々述べた通りである。プロレタリアは、戰線の分化對立の狀態が味方の不利を來し、ブルジョアジーに有利を齎らすものであることは、その鬪爭の過程に於いて痛感せる點である。マルクス的辯證法とは、かゝるプロレタリアート全體の强大な鬪爭戰線確立の要望を、直ちに捉へて、これを將來の勝利へと誘導することとである。このために理論鬪爭を開始してこそ、實踐的基礎に立ち得られるのだ。この統一戰線と云ふ戰略でもつて、右翼、中間派、浮動團體の大衆を統一戰線に獲得し、更らに詳密にして有力なる鬪爭組織たる、全國的産業別組織に編成することが、現段階に於いて最有効なる戰術の根本をなすものでである。これこそが無産階級的な鬪爭手段である。これこそが現狀に最も適應した、レーニン主義を適確に具體化した戰鬪的マルキストの採り從ふべき、唯一の武器であり進路である。見よ！　極左翼的姿態をもつて、『彼等小商品生産者はあらゆる方面から、小ブルジョア的雰圍氣を以てプロレタリアートを包圍し、これをプロレタリアートに浸潤させ、彼等を頹廢と墮落とに陷れ、絕へずプロレタリアートの內部に、小ブルジョア的無性格と分裂と個人主義とへの復歸並びに感激から臆病への移行を惹き起すものである』（レーニン「左翼小兒病」）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

『資本攻勢の白兵戦に臨んでの陣中無政府状態をさけることである。（彼等は、統一戦線が呼ばれてゐる現段階に於いて「結合の前の分離」を叫んでゐる。これは全く機械的に、時代瞬間場所等とは無頓着に言ふ、一個の低能者だ――筆者）……それは第一に、從つて理論的闘争の回避となる。（此の理論闘争とは筆と紙との遊戯を意味してゐる――筆者）理論的闘争を回避する左翼は、すなはち、發展を拒否するところの左翼でなければならぬ。そして發展を拒否するところ左翼は、闘争の發展と共に理論上並に歴史上、やがて右翼となる外はない運命にあるものである』（前掲、北條一雄）と、この悪漢共は、いまや其の小ブルジョア的毒計で血塗られた、毒槍を現段階におけるプロレタリア運動の心臓である、統一戦線の上に擬してゐるのだ。統一戦線の破壊論者であり、理論的闘争を實際運動と何等の關聯なしに、机上で送り上げて、實践的基礎に立脚する吾々の理論的闘争を目ざして、『理論的闘争の回避』だと云ふ彼等にありては、吾々の實践と理論との同時表現は、彼等の空想的、獨斷的理論闘争の土臺たる砂丘を押し流すものであり、觀念的理論闘争の『發展を拒否するところの左翼』であることは確かだ。單に極左翼的理論を拒否する丈けではない、これにマルクス主義の僞造犯人たる烙印を刻みこんで、神々の在します遙か彼方の月世界に昇天し參らせ奉るのだ。

（三）

淺野晃君にしろ、内田廣君（我國勞働組合運動の發展とその方向轉換方策に就て――勞働者、二月號）または、日下部千代一君（階級的勞働組合と統一運動同盟の任務――勞働者、三月號）にしろ、統一運動の結成に對しては頗る不充分の認識しか持ち合せない。そしてこれに觸れる論文の主點は何から爲されてゐるかと云ふならば、統一戦線結成の歴史、即ちその主觀的要素への固執である。その統一戦線結成努力の運動を一貫する、組織勞働者及び農民、未組織勞働者並びに農民對ブルジョアジーの、兩階級對立間の關係、並びにその變化等は考慮の範圍外に屬してゐる。かゝる結果はプロレタリ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ア運動發展の上に、如何なる弊害を及ぼすかと云ふならば、主觀的要素のみの追及は當然に、全般的認識を缺いだ經驗的現實主義に墮落するのである。それを如何にマルクス主義的な言辭で飾らうとも、遂にマルキシズムとは方向を異にした世界へ飛躍を續けるべき運動にある。

かような傾向へと轉落せんとするのは、要するに鬪爭の經驗が淺きためである。從つてその認識の方法においても、實踐的全體的に觀察することが出來ない缺陷を惹起してゐる。(勿論、全然あやまつてゐると云ふのではない、ところ〴〵の字句はマルクス、レーニンが用ひたものを不消化に、しかも誤解して用ひてゐると雖も、字句だけの範圍では正しい點もある) だから、『あはだゞしき沒落』を叫んだり、我國の階級鬪爭發展の現段階の主要問題は『左右兩翼對立鬪爭發展の現段階の分析の問題から出發』しなければならぬと云つたりして事實を誇張するのだ。マルキストにとつて唯一の危險は、誇張と××の偶像化である。『更に、如何なる時、如何なる狀態の下に、如何なる行動方面に於いて、××的に行動せねばならぬか、且つ如何なる時、如何なる狀態の下に、如何なる行動方面に於いて、改良主義的に行動せねばならぬかを、最も冷靜に、研究し、論議し、考量し、試金するの頭腦と能力とを失ひ始める時、かゝる時すでに、××家は、概して、その本領を失つてゐるのである。……』(レーニン、傍點――筆者)

吾々が「資本の攻擊」に當面せる現段階の戰略は、統一戰線であると云つた。これは資本の合理化に對する、組織未組織勞働者の反抗の階級的發現である。マルキストは、かような勞働階級全體の、資本主義反抗の大衆的な鬪爭の形體に、戰鬪的な階級意識を注ぎこむことが必要である。更らに換言せば、資本の新形勢に對應して新しく發生した、無產階級の自然成長的な統一戰線を、階級的な統一戰線に發展せしめることが必要である。そしてマルキストは、新しく發生した此の統一戰線の戰略を自らが卒先して、新戰術を利用の主體的組織とし、(一)反動的幹部の下にある右翼勞働大衆、(二)右翼改良主義と左翼の全無產階級的立場との中間に介在し、未だ右翼的な、寧ろ最も初步的な鬪爭の試練の淺

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

い結果、右翼的影響を多分有する分子と、左翼的影響を多分に有しながら未だ右翼的な傾向から脱し切らない分子との合成組織たる中間派勞働組合、(三)自然成長的に組合組織を有し、左翼または右翼的な影響を受けてゐない浮動的勞働組合、(四)勞働階級の自然發生的な鬪爭を——戰鬪的勞働組合に對しては勿論のこと——防止し破壞するために生れた、反動的御用勞働組合等の下に各々組織せられた大衆を、この全無產階級的一大統一戰線に結合統一することは、その中に當然、網羅されたる左翼勞働組合大衆と、他派の各勞働團體大衆とを接近せしむることが可能となる。そしてこのことは、それ等の各傾向の勞働組合大衆に對して、左翼的な、即ち無產階級的鬪爭意識を植付ける、最もよき舞臺となる。單にこれらの各組織團體の勞働者だけでなく、各傾向の勞働組合が有する、多かれ少なかれそれ〴〵の、未組織勞働大衆と云ふ廣汎な背景を、左翼的感化を及ぼしうる統一戰線に吸收することを意味する。

このように統一戰線は、プロレタリアートの鬪爭發展途上に於ける妨害物たる、右翼及び反動組合と云ふ障壁を除きそれらの勞働者及未組織勞働大衆を、戰鬪的意識に發展せしめ、眞の鬪爭形體を、これらの分子に知らしめることが可能となるところの、階級對立及び左右對立克服の、または鬪爭意識發展の實踐的基礎に立てる、媒介物とすることが出來るのである。(統一戰線を我國では何うして結成するかに就いて後日別に詳論する)

(四)

次に吾々は現在の左翼が、この統一戰線に對して如何なる戰術をとつてゐるかを檢討して見よう。

××の幻想に陶醉せる極左翼的病弊に惱まされながら、現在に於ける勞働組合運動は、大衆の自然成長性に押されて兎も角にも統一戰線の運動は、消極的規模において發展しつゝある。だが現段階に於ける統一戰線の眞の意義と、運動指導の限度を理解し得ない左翼内の極左翼分子は、統一戰線の範圍を、可能なる範圍、即ち左翼勞働組合及び左翼中間

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

派中の左翼分子との統一運動を起してゐる。左翼勞働者のみに依る統一運動とは、この統一運動同盟に參加することが出來ない『裏切幹部の傀儡、抑壓下にある大衆に（左翼に來れ！ 筆者）と呼びかける』（日下部君）ものであり、左翼統一運動の陣營より『理論鬪爭』で論破することであり、ちびり〳〵と右翼、中間派內の左翼分子が、左翼、中間派大衆をかすり取つて放逐せられることとであり、反動右翼としての本質や、組合主義的な日和見主義を捨てて來いと、右翼中間派幹部に、子供らしい無理な注文を要求することとであり、其他等々である。

これらは要する、左翼勞働組合中心主義であつて、左翼勞働組合が如何にして、右翼、中間派、浮動團體、反動的勞働組合等の大衆と結合する組織を結成するかと云ふ、大衆的組織內での左翼運動は、全然、考量の範圍外に放棄せられてゐることを證明するものである。尙ほ一層よき證據を示すならば、

「今日既でにブルジョア陣營に居を移し、意識的に反動化し、積極的に無產階級運動に對抗する右翼（幹部）、及、口に階級的正道を稱へながら、成長せんとする大衆を自己の狹溢なる組合主義の蔣內に止めんとし、その爲には分裂、攪亂等手段を選ばざる意識的右翼とその本質を同じくする中間派（幹部）との執拗なる鬪爭を敢行し、それを放逐、克服することとなしには（總聯合は――筆者）達成し得られないと同時に、階級的政黨（階級的政黨とは何かと云ふならば「それは――勞働組合員の前衞をそれに送るにとでなければならぬ（內田廣、勞働者二月號九頁）」と云へることで大衆黨ではなく、前衞黨たることが明瞭である。）を支持し、その鬪爭の交互關係に於て、夫が經濟戰線に於いて、勞農大衆の要求を忠實に、正しく代表して鬪爭することによつてのみ、よく右翼、中間派幹部の下に、その成長を抑壓されつゝある大衆を獲得し、眞の鞏固なる勞農戰線（註一）の統一を實現することが可能となる。

（註一） 勞農大衆が結合し得るのは政黨のみである、經濟戰線に於いては二個の統一戰線、卽ち勞働組合統一同盟、農民組合統一同盟である。これに對して從來左翼の間では、明確なる理論がない、つまり政治的、經濟的、社會的な兩者の結合點と分離點とに

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

關する意見がない。私は近く此れに關して、或る程度の理論的展開を加へて見たいと思つてゐる。）

かような統一戰線結成の方法が間違ひであることは、前述において既でに明瞭となつてゐる。

第一に、右翼及中間派、浮動派並びに反動的勞働團體に對つて、統一戰線もしくは共同戰線を持ちかけるのに、それ等の多かれ少かれ非階級的勞働團體の、主義綱領を廢棄せよと不可能なことを要求するのは、その當初より統一戰線を全然、理解してゐないか、又は單に形式的に大衆の要望に押されて義務的に提唱してゐるかである。吾々は最も統一戰線結成計畫が可能な範圍のものであり、それが全プロレタリア大衆の共通目標であるもの丶みを掲げることが必要なのだ。

第二に、統一戰線の直接の目的は、大衆獲得である。この爲めに一切の分派を結合して、夫等が有する組合大衆と、これと接近せる未組織大衆に吾々が接近する土臺とするにある。大衆組織たるこの統一戰線內で、左翼運動を活躍させるのだ。こうしてのみ左翼は大衆的基礎に立ち、大衆が現在、如何なる要求、如何なる目的等を有してゐるかを眞に理解し得られ、この內部に於ける實踐的鬪爭（左翼運動）の發展は、それ丈け內部に於ける具體的問題による、理論鬪爭の勝利を示すものである。理論鬪爭はかゝる形態で行ばれなければならない。

第三に、統一戰線を張らうとするときに、右翼、中間派に對して、所謂「曝露戰術」を用ひて、彼等は本質的に右翼だとか、彼等は統一戰線を蹴るに決つてゐるとか云ふのは、戰術とは如何なることかを知らない、愚劣漢の仕事であるがゝる時は統一戰線の階級的意義と効果、その必要性とをアジテーションすべきであつて、決して相手の非階級性を主點として力說すできではない。統一戰線はもつとも困難な仕事なのだ。短兵急には成立しない。吾々がそれに成功することは、それだけ階級的勝利を意味し、それだけ右翼に對する勝利を物語るのだ。

第四に、統一戰線は、ストライキ共同委員會、工場代表者會議共同委員會、立入禁止反對、失業反對、健康保險法改正

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

少年婦人勞働者夜間使用反對、共同委員會等々、如何なる闘爭題目でも捉へて、準備機關としなければならぬ。
第五に、統一戰線結成の運動には、上からの共同戰線と、下からの共同戰線運動の戰術を採用することが必要である
第六に、階級的立場を捨てゝの共同戰線か？ と云ふ中見出しで此の點を論じてゐる野村君（統一同盟當面の任務――勞働者五月號）は、提題者自身の頭腦の混亂を示してゐる。統一戰線結成の妥協とは、右翼、中間派其他の幹部が、現段階における大衆の要求を押へ切れない、最も具體的な共通的な日常闘爭のスローガンを、吾々が妥協條件として提出し、これに對する吾々の妥協なのだ。これは立派な階級的立場を守つた妥協であり、進んでなすべき妥協なのだ。
以上の如き缺點と認識の不充分から脱することが「統一運動同盟」が極左翼影響より離脱し、眞の無產階級的立場を進み得る最大の要點である。從つて、その結果は半身不髓の不活發な狀態から、解放されることを示す。
資本の現段階に對する戰略は、歷史的段階と云ふ將來性の展望の土臺の上に、定められねばならない。「安定」の相對的性質たることを、大衆の闘爭戰線への指導の內に證明しなければならない。大衆組織の內に、吾々マルキストは活動し、その活動を一層に有効にするのは、左右兩翼中間派並でに浮動團體、反動的勞働組合の中に、少數派運動を組織し常に戰線の統一と、反動幹部、改良主義的幹部の手から大衆を奪ひ、これを日常闘爭に依り一歩々々と戰闘的分子へ指導すること、これは我慢つよきマルキストの任務である。
左翼勞働組合は、合理化反對の一切のスローガンを高く揭げ、新しき戰術「統一戰線」の提唱者となれ。

結語

極左翼分子が認識上において、完全なる無能と僞瞞を暴露し、彼等の唯物的辯證法が、それとは似てもつかぬ形而上的辯證法である限りに於いて、ヘーゲル的辯證法であると云ふ、吾人の駁論の正當さは上來において說き示した諸點に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

おいて、最早や明確である。その粗雜きはまる過去の（一九二一年當時までの革命的高潮期の）階級對立の狀態を、そのまゝ現段階に通用せんとする破廉恥行爲を、飽までも執拗に固執する理由は、資本の一時的安定の現段階に於いて、その合理化進行の現段階に於いて、彼等がプロレタリアの水準に奔落する傾向が、もはや全般的傾向となつたに基因する。何故か？　大資本の集中的獨占の急速なる發展に、自己の社會的地位を奪はれたに對する、小生產者的憎惡は、小生產者的地位恢復のためには、彼等は觀念的革命家に變質することが必要であるから。吾々はこの小ブルヨア的革命家の水泡の如き淡き希望と努力が、彼等自身を解放するものではなく、彼等がプロレタリアートの鬪爭を支持する時にのみ、初めて解放される所以を、吾々の大衆的政治運動の中に彼等を抱擁して啓蒙し、訓練しなければならない。彼等を吾々の陣營內に抱擁し、鬪爭の支隊たらしめることは、彼等の社會的特質の反映を、それだけ深かめる危險に富めるものではある。だが彼等社會群の一大層を有する我が日本に於いては、これ等の支持なくしては吾々の鬪爭は勝利を得ることが出來ない、吾々は階級鬪爭の實踐において、彼等と絕へざる理論鬪爭を開始することにより、初めて彼等にプロレタリアート階級感化を深め、彼等を克服するであらう。（完）

正誤訂正

大衆七月號、左翼の勞働組合戰術の基調中の主要なと思はれる點だけの正誤訂正と、字句の修正を左の通りします。

	正	誤
二二頁七行	國際的極左翼病	國際的左翼病
二六頁七行	階級鬪爭の一時的壓縮に成功を得つゝある。	階級鬪爭を一時に緩和し得た
二六頁十四行	資本の沒落過程の下向線上に、一時的な上向的カーブを表した……… …云々と訂正	水平的な幾分かの上向的カーブを表した……
三一頁七行	左翼的勢力	右翼的勢力
三一頁九行	左翼の全線的展開	右翼の反動的全線的展開

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

——勞農運動——

二つの選擧戰

岩城新十郎

最近東京には二つの選擧があつた。一つは京橋の補缺であり、も一つは千駄ケ谷町の町會議員選擧である。前者は制限選擧の下に行はれ、後者は普通選擧の下に行はれた。そしてその何れにも勞働農民黨は公認候補者をたてて勇敢に戰つた。即ち京橋においては勞働農民黨中央執行委員たる自治會の秋和松五郎君が、千駄ケ谷町においては同じく自治會の福田銀之亟君が立候補した。その結果はどうであつたか。秋和君は八票、福田君は四十票で何れも落選した。

先づ京橋においてはどうであつたか。田川大吉郎(革)小森七兵衛(民政)井澤(政友)が三つ巴となつてゐるところへ秋和君が飛び込んだのであつた。演說會は十一會開催し執行委員長大山郁夫氏等出演し、可成の成功を收め、常に滿員の盛況でブルジョア諸黨を威壓したが結果は前述のとほり八票であつた。しかしながら勞働農民新聞、無產者新聞の報ずるところによれば、四百名の黨員を獲得し、京橋支部が新設されるにいたつたとのことである。しか

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

もその間に謂ゆる七大政黨の立會演説會が青山會館に催され勞働農民黨は秋和君を代表者として送り華々しい成功を博したことは、當時ブルジョア新聞も亦これを認めたところである。かくの如き經過を見るとき、そして京橋區の階級構成を考へるとき八票はむしろ當然であつて決して勞働農民黨の微力を示すものではない。由來われ〳〵が選擧戰にのぞむのは當選が目的ではなくて、一定の限られた時日の間に展開され、人民のあらゆる階級並にあらゆる層がその戰線に參加する（勿論普選の下でも可成に限られてゐるが）ところの謂ゆる選擧戰を利用して大衆を動員し、又吾々の陣營に獲得することが問題なのである。それ故にわれわれの立場からしてその結果の成否を批判する場合の基準となるのは單なる投票の數ではなくて、大衆がいかに動員され、獲得されたかにある、然らば京橋における補缺選擧において勞農黨は成功しだといふべきか失敗したといふべきであらうか。勞農黨がさきにやつた沼津及び京都における選擧戰においては多かれ少かれ謂ゆる選擧戰の域を脱しないかに見られる。即ち選擧戰は大衆動員であり更に大衆獲得といふことを知らずにか忘れてか、とにも角にも、選擧後の組織といふことは、更に、問題にされなかつたかに見ゆる。然るに今般の京橋補選においては堂々四百名を獲得し選擧戰後（選擧は六月二十日だつた）七月の三日に京橋に支部發會式をあげて組織の上に殘すことを得たのは前二者に比べてはるかに成功をとげたことは疑なきところである。しかしながら筆者は決して勞働黨のこれに對するの對策並びに活動が全然完全であつたことを云はふとするのではない。勿論幾多の缺陷を含んでゐた。例へば曝露戰野を展開するに際して同一同と進歩はしつゝもなほ政府の攻擊、ブルジョア諸政黨、エセ無産政黨の政擊より一歩も出ずに終つたが如きは大いに批判の對象となり得る、われわれはたゞそれだけではいけないのだ。それだけでは單なるアンチテーゼとなるだけであつてこれを批判し揚棄するにはいたつてゐないのである。重要なことは、これを揚棄し、その立場より、われ〳〵の要求を提出して吾々の味方たり得る大衆の要求を統一して戰ふことである。そしてこのことこそがわれ〳〵の選擧戰に望む立場であり、かくてこそ始めて勞働階級を先頭隊とするあらゆる被壓迫民階級を獲得し得るのである。勞働黨はかゝる態度をとつて來るべき

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

府縣會選擧に望まねばならない。

　次に千駄ケ谷町においてはどうであつたか、初めての普選であるために謂ゆる無産者を標榜し、勞働者を看板にして立候補したものが若干あつた。其中に勞働農民黨候補者福田銀之亟君があり、社會民衆黨を背景とせる同じ自治會の曉日定明氏があつた。勞農黨は始め何等の事情からか曉日氏を擁立し、次いでこれを取消して急遽福田君を公認したるが如き醜態を演じたために、曝露戰野も充分には展開し得ず、われ／＼の主張も大衆に透徹せず、豐榮亭に一回前衛座研究所及び私人宅に各一回催し得たに過ぎなかつた。たが、これより先京橋においては華々しく、しかも屢々演說會が催され幾多洗練された辯士を持つてゐたがため、豐榮亭に開かれた演說會は異常なる成功を收め、翌日同亭に開かれたブルジョア候補者の聯合演說會には、一町民として黨員にもあらざる魚屋のおやぢさんが演壇に飛び上つて勞農黨の支持演說をやる程にまでいたつた。これによつて見ればたゞ一回の演說會にしろ一般町民に感動を與えたことは明かなることである。しかも前述の四十票の中二十幾票は一般町民からの票數だとのことであつて見れば、この演說會は明かに勞農黨の現在の力としての最大限まで行つたといふも過言ではなかろう。然らば何故に普選下において福田君は落選したか、勞働黨は議員を送れなかつたか、自治會の票數は千駄ケ谷町に於て百票以上もあつたと聞く。しかも、自治會の新宿支部は、勞働農民黨の執行委員、秋和氏の選出區であり、且つては、自治會分裂反對同盟の有力なる支持者ではなかつたか。それで福田氏が自治會から得た得票が、十數票にすぎないとは！　曉日氏は總計二十票しかとつてゐない。二人合計するも六十票である。その內前述のやうに二十何票かは一般町民即ち小ブルジョアから得たものとすれば、實に勞働者自から（こゝでは大體自治會員だが）得た票數といふものは僅に三十何票かに過ぎないのである。百票以上もの票數の中三十票きり勞働者候補に投票せられたに過ぎないのだ。然らばその殘り六十票は果してどうなつたらうか？　敵階級への投票か棄權かである。これは何を暗示するものだらうか。

　勿論前述のやうにわれわれの選擧戰に望む態度はあくまでも大衆動員であり、大衆獲得であり、當選のみがわれわ

れの選擧戰の成功を決すべきものではない。その點において京橋も千駄ケ谷も可成りの成功とはいひ得よう。だが肝心の勞働階級の、しかも自治會と云ふ吾國有數の勞働組合に組織されたる勞働者の無自覺をどうしよう。自分等の階級から二人も候補者が立つてゐるのに、これに投票をせず或は敵階級の候補者に投票し、或はこの貴重なる票を行使せざるが如きは全く初歩的の階級意識すらも持つてゐないことを證明するものに外ならぬ。階級意識があつてもその水準未だ低くして勞農黨と民衆黨の區別を知らずに或は前者に或は後者にと投票が分散したがために兩者共落選したのなら現段階においては止むを得ぬといふこともできよう。だが實際は組合勞働者の投票が半分も動員されてゐないのだ！ こゝに我々は反省して見る必要がないであらうか？ 理論鬪爭政治的曝露にのみ沒頭し、大衆（意識水準の低い）の教育をおこたりはしなかつたか？ 誰かこれに對して斷乎として否と叫び得よう。鬪爭は繼續する。この選擧戰において勞働者の票數を獲得し得なかつた原因を單に選擧對策委員會の不活動にのみ求むるのは愚の骨頭である。無産階級の前衞の日常の活動、日常の教育運動の缺如こそはこの敗因を齎した重要なる一因なのである。大衆にして（しかも組合に組織されたる）階級意識を持ち合はせてゐたならば、よしいかに低い水準にありとはいへ、ブルジョア候補に投票し、棄權するといつた風なことはあり得ないではないか。勞働者階級を先頭隊として、ブルジョア民主主義獲得の鬪爭をする勞農黨にとつて、農民、小ブルジョアその他の中間層を獲得することは必要なことだ。だが、先頭隊たる勞働者階級自身の意識を高め且つ深めることを忘れてはならない。千駄ケ谷の戰跡は、勞働者階級自身がまだ確乎たる地盤たり得ないことを指示した。謂ゆる、實踐による教育を、意識の水準極めて低級なものにポスター張りやビラまきばかりをやらせて徒らに檢束の犧牲者たらしむるばかりが能ではない。階級意識を戰ひとつてゐないかれらには、不斷に、先づやさしい知識の注入によつて階級意識を換起せしむることが絶對に必要である。

今やわれ〳〵は府縣會の總選擧に直面してゐる。われわれはこれらの經驗にかんがみて妥當なる方策をとり、よつて以つてこの選擧戰を大いに意義あらしめねばならない。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

立入禁止に關する一考察

自作農創定案に注意せよ

豊島由香路

一

勞働農民新聞第十一號(六月十五日發行)は報ずる『立入禁止の執行を警官隊拔劍して應援』『斬るなら斬れと勇敢に抗爭した婦人以下五名檢束さる』

「奈良縣添上郡八條に於ては去月廿五日の早朝耕作權擁護の血みどろな亂鬪が演ぜられた。八條の農民はかねてから奈良市の大森中村等の地主と係爭中であつたが、立禁の危險を考へて晝は支部旗その他の信號を用ひ、夜は高張提灯を押立て、警戒に努めてゐたが、當日午前五時頃見張の農民が朝食に歸宅した僅かの隙に絕えず機會をうかがつてゐた執達吏と、多數の地主の手先共は瞬時に、立禁札を立て廻つたのである。これを見るや激昂した農民は、家族總出で一齊に現場に驅け付け、佐保川の邊りは耕作權擁護の血みどろな修羅場と化した。所轄奈良署では警官五十餘名をトラックで現場に急行させ拔劍して地主の手先共を擁護しようとしたが、死物狂ひの農民は「斬るなら斬れ」と怒號し突きかかつたので警官も手の下し樣なく地主の手先も命からがら逃げ去つた。だが上杉美一郎君同妻女しげの君その他五名の農民は犧牲者として奈良の刑務所へ護送された。餘りにも苛酷な大地主の暴狀を目の當り見た村民は怒りの焰を燃して、二十八日には大地主糺彈の村民大會が開らかれた。朝の九時だと言ふのに會場は滿員で入り切れない農民は庭前に溢れその數は六百を越えてゐた。而もその

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

三分の一は婦人で小學生も五六十名押しかけた。「大地主橫暴」の叫びは會場の此處彼處に起り、底氣味惡るい程凄慘の氣に滿ちてゐる、開會の辭に始まつて村民有志の演說が始まつた。農民組合の幹部は今回の立入禁止反對運動の經過を報告した。大地主の獸の樣な恥知らずの立入禁止そのお先棒に使はれるヤツラ、執達吏、大地主を擁護する奈良官憲の暴擧は完膚なきまでに痛罵暴露された。子供を背負つた婦人鬪士は立上つて「祖先傳來の土地を取り上げて我等を殺そうとするのか、警察はこの乳呑兒を餓え死させ樣とするのか」と臺所を守る主婦として當然な腹の底から湧き上る叫びを擧げた。大地主の暴狀に憤激し、小作人に同情して集つた自作農、小地主の農民諸君も代はり立つて大地主が何如に村政を橫斷してゐるか。大地主のために村全體がどれだけ苦しめられてゐるかを訴へ「この際一致して大地主を糺彈しなければならぬ」と氣焰をあげたこの村民大會の決議として、

(一)立入禁止絕對反對
(二)耕作權確立
(三)暴力行爲取締法撤廢
(四)家屋稅、荷車稅、自轉車稅の撤廢
(五)強制寄附絕對反對

等が可決されそれを大地主、奈良警察、裁判所、司法省、內務省に郵送する事に決定しその時會場の一隅から「決議を大地主の所へ持つて行け」と言ふ聲あり「異議なし」熱狂した大衆は庭前から大道に溢れ出で殺氣はみなぎつた。農民組合の幹部はそれを整理し婦人隊、小供隊、農民隊の三隊に分け支部旗を先に立て婦人隊を先頭に村內を一巡し大地主の家の前では喊聲をあげ、代表に決議を託して大地主に手交し終つて散會した。更に日を期して同郡の支部が中心となつて添上郡民大會を開らいて重稅、惡稅の策源地道路改修、神社改修等の強制寄附の泉源地である奈良縣會の糺彈をする豫定である。」

二

以上の報導は農民運動の現段階に於ける深刻化を示す實證である。勿論以上の如き事實は一奈良縣のみではない。昨年新潟の木崎村事件を始めとして今春は三重、大坂、鳥取、香川、岡山、新潟等々全國的に農村を襲ふた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の立入禁止並に耕作禁止の處分が如何に不當なものであるかは今更ながら言を俣たない蓋し一婦人をして「祖先傳來の土地を取り上げて我等を殺そうとするのか」と叫ばしめたる如く一度此處分を受けたる農民は完全に生活の自由を奪はれるのである。(之れに關しては本誌第六號布施辰治氏立入禁止の話參照）加之ず其の執行行爲も亦極めて過酷である。即ち、裁判所は一回の口頭辯論も開かず、地主の申請を許可し又警察は多數の警官をして一執達吏を護衛せしめ堂々たる威壓的態度を持つて之れに臨むのである——前掲奈良及木崎事件等——

三

斯如き立入禁止の不當と云ひ又其執行行爲の不當と言ひ共に言語道斷である。

しからば何故斯の如き暴擧を敢てするか？　此の原因これ吾々が究明の必要にせまられる。

第一に地主階級の鬪爭力の增大である。彼等は農民組合と言ふ農民の團結力の前に彼等も亦團結して對抗する樣になつた。即ち大正十四年來大坂地方を中心として創立された「大日本地主協會」之れである。而も此の地主協會が瞬時增大して今日では全國二萬七千百十一人と言ふ會員を有するに到つた。從て彼等も意識的積極的攻勢の態度を採る樣になつた。

第二に政府の積極的彈壓政策である。殊に反動田中內閣の出現に於て甚だしい。

見よ立入禁止の場合に地主、裁判所、官憲等の完全に三位一體としての行動を。今日の政治的權力が何如に地主階級の武器としてのみ利用せられてゐるか？

即ち農村は資本主義社會に於ける好都合なる經濟的搾取場である、亦一つの財政的資本源である。加之ず傳統的治者の横暴と被治者の臆病は農村に於てのみよく之れをなし遂げ得た。從て今日の支配階級が農村に於ける階級鬪爭を最も恐れてゐる。

故に彼等が總ゆる暴擧を敢てし農村に於ける無產階級運動の進展を彈壓せんとするは彼等にありて亦必然の道行きであろう。

第三に農民運動戰線上の不統一。

階級鬪爭の尖鋭化と共に農民運動の分野に於て、意識的

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

右翼幹部の發生と中間派並に極左翼小兒病の發生之れである。

我國農家總戸數六百萬戸の內農民組合として組織されたるは僅に約十萬戸である、而も此組識せられた團體も日本農民組合、全日本農民組合、日本農民總同盟、全日本農民組合同盟等々である。而して此等の對立は、立入禁止反對と言ふ農民に採りて最も重要且一般共通した利害の鬪爭目標に於てすら一回の共同戰線も張る事が不可能な程激しい。

斯如きは、支配階級をして益々彈壓を有利に導く間隙を與えるものである。

四

以上極めて簡單に表面的に其原因を述べ來たつたが吾々は更に進んで立入禁止の暴擧を敢てする政府の意圖を考察しなければならない。

即ち現政府は一面彈壓政策を採ると同時に他面積極的農民欺瞞政策を構じてゐる、曰く農村低利資金融通、曰く地租移讓、曰く公平なる肥料の分配、曰く自作農創定及維持、等々擧げれば無數にある。然し乍ら吾々の最も注意を要すべきは自作農維持及創定案である。

最近農林省の發表によれば、現行自作農維持創定の規模をもつてしては、所期の効果を擧ぐるを得ずとなし、積極的方針を確立すべく其の準備を進めてゐる。その大體の骨子は、

（一）小作地の賣買分讓をなすために官設の管理機關を設くること。

（二）管理機關は小作地購入のために債劵を發行することを得ること。

（三）管理機關の發行する債劵は小作地移讓後地主に直接交付すること。

（四）適用自作農にして年賦金の延納その他損失を及ぼしたる場合は國庫より管理機關に對して代理辨濟すること。

である。しかして、自作農地の創定範圍に付いては、地主の賣渡希望地域によるか、小作爭議解決困難地によるか、または創定理想地域によるか、諸說あり從つて交付債劵の利子もこれに伴ひ

（一）地主の賣急ぐ耕地であれば自然低利となり、國庫の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

補給を要せず。

（二）然らざる耕地であれば、自然利子も高まり國庫の補給を要す。

のいづれかになさざるを得ざるため豫算關係上目下考究中に屬するが自作農の償還金年限は大體三十年前後であろうと」

以上の如くドイツの地代銀行制度をとつて其基礎となすが如き制度を計畫してゐる。（此の批判は何れ稿を改ためてする必算である。筆者）然し乍ら此の制度がよし施行せらるゝとするも結局成功するものでない。又吾々は成功せしめてもならない。だが簡單に樂觀する事をも許るさない。何故か？　現在農民の大多數は土地所有慾を多分に持つてゐる。而も一度土地を所有せんか忽ち反動軍に投じ支階級級のお先き棒を務める。

故に支配階級は、此の自作農創定案と言ふ美名、而も農民をよく欺瞞し得らるゝ政策の下に農村に於ける階級闘爭を絶滅せしめんとしてゐる。

即ち彼等は表面極端なる彈壓政策として立入禁止を持つて臨み、農民をして土地所有慾を煽らしめ、他面自作農創定と言ふ美名を揭げ、以て反動豫備軍の編成に苦心してゐる。

五

斯るが故に此の立入禁止と言ふ彈壓政策に對する吾々の考察は、表面的原因のみであつてはならない。然し乍ら既往表面的考察のみ論じられ、從て此れが對策も亦表面的公式的たらざるを得ない。

勿論吾々と雖も表面的考察を輕視するものではないが、支配階級の政策たるや極めて巧妙に行はれ、吾々がまんまと欺瞞せらるゝ事がある。蓋し彼の暴力行爲取締法制定の如く、當時表面的には極端なる反動團體――暴力團――を取締るが如く裝ひ、「小作爭議には適用しない」と說明しつゝも現在最も多く小作爭議に適用せられてゐる等々の如く。故に吾々は此の立禁の問題に對しても表面的考察のみに依らず、裏面的考察をも必要とする。即ち吾々は立入禁止の裏面には恐るべき自作農創定と言ふ魔手の連闘してゐる事を見逃がしてはならない。

從つて立入禁止反對の戰線も亦此の意圖を見透して對策を樽ずる必要があると思ふ。（何れ此の問題に就いては稿を改めて詳述する。）

（七、二一）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

川崎問題を吾々はいかに把握するか？

薄茂人

政府は川崎救濟を打ち切つた

(1)坦々砥の如き見解——事實の進展は裏切る。

政府の川崎造船所救濟の目的は、職工の解雇防止に在るか。神戸市の救濟に在るか。

否、否！　斷じて否！

第一に、それは華族銀行十五救濟のためである。で、かくて、專制的殘存勢力と帝國主義ブルジョアとを合體させ、樞密院を懷柔して、今後益々勇敢にブルジョアのための專斷を逞しうさせ、貴族院を激勵して、ブルジョア政府の苛斂誅求法や彈壓法を素通りさせることは、ブルジョア政府の、現段階に於ける絕對不可缺な戰術である。(なるほど？)

第二に、預金部の過去に於ける不良貸付の尻拭ひである。(なるほど？)

だか、それは未だ、川崎救濟の當面緊急なる理由ではない。

第三に、川崎は尨大なる軍艦製造所である。若し破產すれば、政府の前渡金が損失となる。(政府の國民の金——前渡金——に對する忠實を賞賛しやう。なるほど？) 建造中の軍艦は、建造中止の軍艦となり、ジェネヴァの軍縮會議を不利な結果に導く。(海軍當局は、より賢明なるが如し。前渡金が損失とならぬだけの民法上の手續をちやんと、すまして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゐる）田中軍事内閣の目的は、軍器製造所を國民大衆の負擔で維持させ、三井か三菱に買收させるのだ。（政友會（三井）民政黨（三菱）もへちまもあるものか。吾れこそは、超ブルジョア的の存在、田中軍事内閣であるのである。なるほど?。）（括弧内は筆者）

資本主義のあはたゞしき自働的沒落論者、ブルジョア陣營内の、對立、抗爭の矛盾――整理過程、安定と不安定の深化過程――に對する色盲症患者、わが極左翼の、川崎造船救濟に於ける、以上が、かれらの全認識である。

だが、問題の進路は、左様にたん／＼砥の如くではない。問題の具體的進行は、かれらの視野を、遙かに飛び超へたから皮肉である。

（2）政府は救濟の打ち切りを聲明した。

政府の預金部融資による川崎救濟は打ち切られたのだ。しかも、超ブルジョア的絶對專制の田中内閣（と云はれる）の無力を暴露しつゝ。

政府の聲明

川崎造船所は目下經營難に陷つてをるが若しその事業が休止のやむなきに立至るとすれば國防上その諸方面に及ぼす影響の極めて重大なるに鑑み同造船所にして適當なる整理計畫を樹てその經營方法を改善し債權者等の協定等に依り、事業繼續の見込確定するにおいては政府は相當資金上の援助を與ふるの必要あるを認め、郷男爵の作製せる整理案に基きこがれ實行に關する調査を進め且、資金融通の方法に就ても愼重に考究したのである。然るにこの實行手續に困難を來たすべき事情あるを認めたるを以つて政府は暫くその推移を見て更に考慮することにした。（七月八日）

整理案作製者たる男爵郷誠之助の聲明

十五銀行整理案

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、現在の資本金及拂込金共之れを四分の一に減し別に資金貳千五百萬圓拂込六百貳拾五圓の新銀行を設立し兩者を合併して資本金五千萬圓拂込壹千八百六拾八萬七千五百圓の銀行となすこと(三井、三菱、安田、第一、川崎、住友の參加)

一、資本減少に依るもの、積立金及重役提供金等の合計金七千六百四拾六萬參千五百圓を以て缺損償却に充つること

一、第一項新設銀行の株式引受は宮内省、東西六大銀行及一般華族並緣故者に懇請すること

一、日本銀行に對し借入金の利子低減を乞ひ更に宮内省へ特別預金及從來の如く金庫事務の取扱方を懇願すること

一、開業後は年八朱に該當する利益配當をなし普通積立金の外年々金六拾萬圓の特別積立をなし更に不動産貸付金の整理を爲し之れを增殖し銀行の内容を强固ならしむること

一、預金は原則として無條件に拂戾すものとし之れに對し八千萬圓乃至壹億圓の準備をなすこと(之れは增擔保並に貸增による補償法の恩典である。補償の恩典に浴せざるボロ銀行だなどと、すましてゐる他愛もない見解を想起せよ)

川崎造船所整理案

一、資本金を半減し更に未拂込金を切捨て拂込濟となすこと

一、半減したる拂込金及積立金の全部を以て缺損償却に充つること(缺損は七千萬圓)

一、借入金(總額一億二千二百萬圓)中無擔保に屬する合計金四千貳百四拾四萬圓は其七割を優先株に振替へ其三割を拂戾すものとす但し十五銀行の分は壹千萬圓を擔保付貸金と爲し壹千六萬六拾九萬圓に對しては他の貸付金と同樣の條件にて優先株に振替ふるものとす(十五と川崎の資金關係は卽ち二千六百六十九萬である)

一、有擔保借入金九千壹百四拾萬圓は其擔保物の價格が借入金に對し遙かに餘裕あるを以て其の擔保物件を適當に處理し借入金の全部を償却するものとす

一、整理及擴張に對し所要金額(卽ち預金部融資)左の如し

一金　一二、四三二、〇〇〇・〇〇圓　優先株に對する拂戾金

一金　五、九一七、〇五一・二四　商業手形

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一金　五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇　社債五九〇〇〇、〇〇〇圓中、九月到來支拂の分
一金　一、五〇〇、〇〇〇・〇〇　葺合工場擴張費
一金　五〇〇、〇〇〇・〇〇　解雇手當
一金　二、八六二、〇〇〇・〇〇　未濟支拂金
一金　一、六〇〇、〇〇〇・〇〇　大倉組との係爭に對する供託金
合計金　二九、八一一、〇五一・二四
內金　一、九〇〇、〇〇〇・〇〇　上海土地賣渡代金
差引金　二七、九一一、〇五一・二四
外に金　五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇　運轉資金
再計金　三二、九一一、〇五一・二四

右の內金參千萬圓を限度とし持株銀行よりの貸下を請ひ其殘餘は十五銀行をして融通せしむるものとす

一、前項金參千萬圓に對しては工場財團を設定の上一番抵當と爲すものとす（右の拂戻金、商業手形、社債を十五銀行關係とせるものあるは、一知半解の曝露である）

現實の記錄に依り精査研究の結果有利なる薄板工場の擴張、諸材料の節約、工場管理の改善及職工の整理等により相當利益を收め得るの確信を得たる次第なり

最近大倉組の差押問題發生するや其計上なかりし所以を以て整理案の杜撰を云爲するものあれと未た訴訟中に屬する未確定の債務を計上すへき謂なきを信したる結果にして繫爭問題の存在を閑却せる次第にはあらす、只其解決は他日の問題として留保せるのみ

然るに政府は各般研究の結果實行上の手續に困難あるを發見し參千萬圓の融通を不可能とし一先つ従來の行懸を一擲することに態度を決し親しく其通告を受くるに至れり。既に斯くの如き決定を見たる以上余か川崎造船所に對する整理案は其根柢か破壞され

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

たるものにして同案と密接不可離の關係にある十五銀行の整理案も亦當然拋棄するの止むを得ざるに至りした遺憾とす。（圏點並に括弧内は筆者）

しからば何故に、川崎の政府救濟は打ち切られたか。資本主義經濟の整理過程——必然に安定と不安定の深化過程——に於ける、ブルジョアの陣營内の對立、抗爭の火華のうちに、政府救濟は何故打ち切られたかを、問題の眞の所在を把握しなければならぬ。それは本論の任務でもある。

造船産業の狀勢——世界的不況、財閥の抗爭

（1）松方財閥の位置——その倒壊

十五銀行を主體とする松方財閥は、一個の金融資本家だ。かれは舊勢力から全く脱殼しないまでも、いはゆる藩派との腐れ緣などは、かれにとつては惡夢に過ぎないであらう。左表を見よ。

十五銀行　公爵松方巖（總資本約三億圓）—（利子取得資本家としての舊大名、公卿華族等の存在）

- 傍系又は投資
  - 神戸ガス（松方幸次郎）資本金一千萬圓
  - ラサ燐鑛、資本金七百五十萬圓
  - 藤永田造船
  - 小汽船會社（野口、谷山、山地、東相、長瀬、神戸、津田、相澤等）
- 直系
  - 川崎造船（松方幸次郎）資本金九千萬圓、所有船、廿五隻十三萬トン
    - 川崎汽船（資本金二千萬圓）所有船、廿二隻廿萬トン
    - 國際汽船（資本金八千萬圓）所有船、五十五隻四十六萬トン
  - 國際信託（松方義輔）資本金五千萬圓
  - 瓦斯電氣（松方五郎）資本金六百萬圓
  - 常盤商會（松方五郎）資本金五百萬圓
  - 久慈砂鐵（松方五郎）投資額四百萬圓
  - 帝國製糖（松方正熊）資本金一千八百萬圓

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かれの破綻は、國家資本と產業資本の融合したる金融資本鈴木財閥の破綻と、同曲の破綻である。金融資本財閥としての彼等は、その形成過程の最後の段階で、もろくも倒れた。わが整理過程の、爆破的所產として。

(2)わが造船產業の國際的位置

造船事業の國際的情勢は如何。そは一般的下向を示す、そのなかに日米の趨勢と、英獨の顯著なる復活を見る。(米國は八年の四百七萬五千トンから一四年には十二萬九千トンに一直線に逐落した)

吾が造船事業の國際的位置

年次	世界造船高	日本造船高	%
六	二、九三八	三五〇	一一・九
七	五、四四七	四九〇	八・八
八	七、一四七	六一二	八・五
九	五、八六二	四五七	七・七
一〇	四、三四二	二二七	五・二
一一	二、四六七	八三	三・三
一二	二、六四三	七二	二・五
一三	二、二四八	七三	三・六
一四	二、一九三	五六	二・五
一五	—	六〇	—

備考　單位千トン、ロイド社報告

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(3)不況と不振のどん底に在る

然らば、わが造船事業の業績、業態はどうか。
主なる造船會社でさへが、業績は微々として振はない。
何んといふ心細い呼吸だらふ?

各社業績、毎年平均配當率

	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五
川崎造船	四〇・〇	一六・五	一五・〇	一五・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇
大阪鐵工	五〇・〇	一三・五	九・〇	八・〇	八・〇	八・〇	〇
横濱船渠	二〇・〇	一二・五	九・〇	四・〇	四・五	四・〇	三・〇
浦賀船渠	一七・五	一〇・〇	一〇・〇	五・〇	七・二	七・二	七・二
石川島	二一・五	一二・〇	八・〇	〇	〇	一・五	三・〇
函館造船	一四・〇	四・〇	四・五	五・〇	五・〇	二・五	三・〇

大正八年の全船臺百五十七、造船能力六十二萬六千トン、職工十萬人の全盛期に比べると、一三年春は、船臺八十三職工四萬人に減退してゐる。そのうち、三菱と川崎は造船界の双璧として巨大なる存在である。しかし、その他は、製鐵、機械、自動車等の副業へ主力を轉換してゐる。即ち過剰資本の整理、生産設備の再整理によつて、心細い乍らも呼吸をつゞけるの狀態に在る。

(4)造船會社の資本的背景。

主力造船會社業態

資本金	財閥系統	造船臺	造船年能力

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

〇川崎造船	（九〇〇〇萬圓）	松方	六	―
〇大阪鐵工	（一二〇〇萬圓）	久原、商船系	一四	二〇萬トン
橫濱船渠	（五〇〇萬圓）	郵船系	五	一〇萬トン
〇浦賀船渠	（七〇〇萬圓）	山下	六	一〇萬トン
〇石川島	（三〇〇萬圓	澁澤、鈴木系	四	三萬トン
函館船渠	（四〇〇萬圓）	三井系	二	七千トン
〇三菱造船	（五〇〇〇萬圓）	三菱	一〇	―
淺野造船	（五〇〇萬圓）	淺野	八	―
玉造船	（三井物產）	三井	三	―
藤永田	（五〇〇萬圓）	―	五	―
神戸製鋼	（　　）	舊鈴木	―	―

備考　1〇印は艦艇製造を行ふ　2此のほか一千トン級以上の造船會社に相澤、原田、小野、村尾、栃木、松尾鐵工所等がある　3船渠船臺並に副次的事業を除く。

（5）生きた事實は何を語るか。

これらの、生きた諸事實のなかに、川崎造船問題の理解を授けるであらふところの、若干の手懸りを引き出すことが出來る。

（A）不況と不振のどん底にあることである。整理の困難も、又財閥が、政府の切なる慫慂にかゝはらず、引き受けを尻込みしたことも釋然と理解される。三井のうち、此の見地のみに立つたところの、關係重役は、政府の交渉に對し、辭表をふところにして反對したものである。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(B)川崎造船は、艦艇建造に於ては、三菱に次ぎ、また之れをしのぐものさへある。潜水艇などは、海軍の呉、佐世保の造艦工廠と雖も、追隨をゆるさない。

だから平時はともあれ、戰時のために、いつでも之れを動員し得るやうに保持せしめるは、絶對の必要である。と軍閥海軍もブルジョアも一致的見解に到達するところではある。

ではあるが、いかにして保持せしめるかの一點になると、ブルジョアの對立が頭をもたげる。

(C)殊に財閥系統に於て、三井財閥は採るにもたらぬ函館造船を傍系とし、デイゼルエンヂン船の玉造船を直營とするといふ無力なる位置にある。此のことは右のやうな對立を、一層複雜ならしめてゐる。

海上に飜るKライン船の旗風

諸君！　造船事業の數字に、疲れたであらふ諸君の眼を、蒼茫たる海上にそそぎ給へ。

太平洋、北歐の逆卷く怒濤にもまれるKラインの社旗、翩々と飜るを見るであらふ。

問題は海上に進展する。

川崎の興廢は、また國際汽船の興廢であり、川崎汽船の興廢である。Kライン系(三社の頭文字K)の社旗の興廢である。

トランパーの主體的勢力としての彼女等は、また世界――また日本のライナー系の對立物としての興廢である。問題は、かゝるところに新裝を整へて隆起する。

日本の社船及社外船二大勢力の分布

隻	%	千噸	%

社外船	八五一	八七	三、七四三	八二
社船	一一八	一二	八〇七	一七
内訳　郵船	五四		四七五	
近郵	二九		九七	
商船	三五		二五二	

社外船と社船の對立は、不定期航路船と定期航路船對立の投影である。

不定期側は、Kライン系を主體に、三井船舶部（また最近三菱船舶部の旗上げ）岸本、山下等々がある。

社船側は郵船系と商航系財閥の聯盟である。（田中内閣のもとに、その支柱三井財閥と、商船系財閥の巨頭商相中橋徳五郎の對立的存在を見よ）

かゝる對立は、社船系の社外船併呑と社外船の定期航路線上の跋扈跳梁を顯著ならしめつゝある。

だから、百二隻、七十九萬トンの巨大勢力としてのKライン系の興廢、歸趨――遠海でさらにあばれるか、近海に旗を捲ひて歸屬するか、繋船か――どつちに轉つても、社船系ライナーの興亡にかゝはる重大事でなければならぬ。

なるほど世界の海上運賃は、今やどん底から浮み上らふとしてゐる。

每年六月現在の標準運賃

	一九二七	一九二六	一九二五
プレート英歐（穀物）	二四志	一八志	一六志
カーヂケ坡西土（石炭）	一二	―	一一
スタチスト誌指數	×二八・四	二三・七	二三・七

備考　×印は四月分、安田保善の「經濟資料」に據る。

だが、それ故にこそ、一層、彼女等が、剃髪するか、嫁入りするか。何處へ？は、彼等に於ては重大なる關心事でなければならぬ。そして、それは同時に、以下に示すが如く、國際的海上運賃カルテルへの脅威でもある。

海上運賃の國際的カルテル

(一)太平洋運賃同盟(貨物旅客)—加盟—郵船、商船(日)ダラー(米)カナダ太平洋(英)(但しシヤトル航路は日本の客船は未加入)
　—航路—日本—桑港、シヤトル、上海。

(二)紐育復航貨物同盟—加盟—郵船、商船
　—航路—東海岸線(ギヤリペストンその他)西海岸線の二線より日本

(三)歐州航路貨物同盟—加盟—エラマン、ピーオー(英)エムエム(佛)北獨ロイド(獨)エヌワイケイ(郵船)オーエスケイ(商船)(日)
　—航路—日本—歐羅巴(運賃一割五分割戻制)

(四)濠州航路貨物同盟—加盟—郵船、商船、國際汽船(但し郵船の名にて加盟)エラマン(英)その他
　—航路—日本—濠州

(五)印度運賃同盟—加盟—前同
　—航路—カルカツタ線、ボンベイ線—日本

(六)長江運賃同盟—加盟—恰和、太古(英)
　—航路—支那長江流域(但し英船は漢口下流へ撤退)

ブルジョア各派の政治的對立——三井、特銀、封建勢力

鋸の齒を、噛み合はせたやうな、かゝる複雜なるブルジョア間の諸對立の眞只中に、十五銀行とKライン船、造船所を主體とする松方財閥は、地響きを打たせて倒れた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

松方財閥救濟案は、かくて、かれら各個の意圖、足取りのもとに、胴上げされて、政治上の舞臺面に擔ぎあげられたのだから、ワッショ〳〵の揚句、もろくも投げ出されたはあまりにも當然過ぎる。

「政府の救濟打ち切り」がそれだ。

（1）「三井」中心に閣議の三派分立

預金部融資による松方財閥救濟案を中心に、閣議は三つのグループに割れた。

原案派‥三土藏相（産業資本家代表）、岡田海相（軍閥）小川鐵相（産業資本家代表）

中立派‥水野文相（國家官僚）、望月遞相、白川陸相（軍閥）

反對派 ─┬ 鈴木内相（國家官僚）、原法相（大倉財閥代表）、中橋商相（商船系財閥代表）、山本農相（三井財閥代表）
　　　　└ 山本政友會幹事長、産業資本家、準三井財閥

三井財閥が、山本幹事長の救濟提議を、言下にしりぞけ――彼を三井財閥の大番頭となすは當らぬ。彼は一個の産業資本家であり、第百銀行系を資本的背景とする――原法相即ち大倉財閥をして一閃、横槍を突込ませて、政治的手腕の鮮やかさを見せたが、三井財閥の意圖は、第一に造船所は三菱系の手に讓渡さない、第二にKライン船を社船系に必要以上渡さない。第三に松方財閥を叩き潰すことであり、第四に、安くたゝひて松方系の優秀産業を三井の支配下に强奪することである。

三井財閥の位置、造船、海運産業の狀勢は、三井財閥のかゝる意圖を決定的ならしめたのである。

（2）「特銀」中心に、大藏省との對立

無産政黨の預金部融資反對、實業同志會、革新黨の反對、ブルジョア諸新聞の反對、預金部運用委員會一部の反對、あらゆる層の反對のなかに、興業銀行重役會の强硬なる反對態度――政府より一札をせしめたる――それは何んに原因

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

するか。融資前途の安危を、心から憂ふるがためであるか。

違ふ。興銀の小野總裁は、梶原勸銀總裁（しかして預金部運用委員）と共に、民政黨の男爵山本達雄の政治的統制下に隷屬するからである。

そして彼等の強硬態度は、救濟打ち切りの誘導的任務を結果するにいたつた。

(3)「封建勢力」はいかに魔手を揮つたか。

しからば此の間、いはゆる封建的政治諸勢力は、いかに魔手をふるつたか？

若槻内閣の緊急勅令案を叩き潰して、十五銀行の取付けを誘導したるものは樞密院である。

臨時議會で、國民の負擔に於ける日銀補償法案、臺銀救濟法案を、十五銀行の救濟を暗默の條件として、僅かに四時間で通過せしめたるは貴族院である。

しかるに又、松方財閥救濟案――十五銀行（華族等の）預金無條件支拂ひ――を毒殺すべく、ひそかに一服を盛つたものも、國家官僚の現役（會計檢査院）と樞密院だつたのだ。

内閣の鬼門（七月六日、東京朝日）

水町會計檢査院長は早くも預金部資金を興銀を通じて川崎造船に融資し政府が興銀に保障を與へることは違憲であるから若し政府がかゝることを斷行したらば私はその職責上上奏するの外ないと田中首相にその意を傳ふる所あつた……もし預金部案を斷行すれば水町會計檢査院長は上奏するであらうしさうなれば政府も又違憲にあらざる旨の對立上奏をなし結局は聖斷を仰ぐことゝなつて樞密院に御諮詢にならう、その時伊東伯が違憲説を固持してゐる以上は丁度若槻内閣の二の舞をすることになるのは火をみるよりも明かだ

かれらの行動、端倪すべからずではないか。

だが、それは、かれら、いはゆる封建的殘存勢力――分裂體としての國家官僚へ變質しつゝある――の、一個の生存鬪爭運動としてのみ、かれらの行動を看破し得るであらふ。

政府の救濟などへん〱と待たれぬ

川崎救濟は、かくして打ち切られた。軍隊と警察の保護のもとに、三千の職工は街路に投げ出された。松方財閥の崩壞――十五と川崎の分離――に據る、それ〲個立體が、金融資本閥のいづれに結局歸屬するであらふかは、こゝに問はぬ。

こゝにとはんとするは、爆破的整理過程に於ける十五をはじめ休業銀行（三十五銀行中七銀行は開業するにいたつた）の小口預金者の救濟、その影響――依存產業の休止的狀態による中產下層民、勞働者、農民の窮乏――しかして失業者を、いかに解決するかに在る。

休業未開業銀行狀態（銀行通信錄による）

	資本家	預金	公稱資本	未拂込高	支店數
十五銀行（東京）	松方財閥	三六八四三	一〇〇〇〇	五〇二五	三六
東京渡邊（同）	渡邊財閥	三八五一	五〇〇	二〇〇	九
あかぢ（同）	同	五三四	五〇〇	二〇〇	―
中井銀行（同）	中井新衛門	二三二五	五〇〇	〇	一二
村井銀行（同）	村井貞之助	二三四六	一〇二五	五一二	二〇
八十四（同）		九七六	五〇〇	二七〇	六
中澤銀行（同）		七四二	五〇〇	三七五	七
武田割引（同）		―	五〇	一一	―

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

左右田(横濱)	左右田一門	一四三八	五〇〇	二五〇	一五
近江銀行(大阪)	江州財閥	一三七一三	一五〇〇	五六二	三四
久喜銀行(埼玉)		—	二〇	—	一
深谷商業(埼玉)		—	—	—	—
東葛銀行(千葉)	渡邊忠次郎	一九二	一〇〇	六〇	九
桑船銀行(京都)		—	五〇	—	—
淺沼銀行(大垣)	淺沼定之助	四三六	一〇〇	七三	一三
徳島銀行(徳島)	志摩源次郎	七五〇	一三〇	—	—
鞍手銀行(直方)		六五六	一五〇	五〇	八
栗太銀行(　賀)		五七〇	一〇〇	二〇	—
蘆品銀行(廣島)		一二三	五〇	一六	—
西江原(岡山)		二六九	一〇〇	六〇	—
廣島商業(廣島)		四三六	一〇〇	〇	—
門司銀行(門司)		—	五〇	二一	—
鹿兒島商(鹿兒)		—	八〇	四四	一一
河泉銀行(大阪)		—	五〇	二五	—

備考　預金高は休業前取付けられてゐるから、實際額は之れより少い。單位萬圓

さらに、次ぎの報知新聞(七月五日)の「汲めども盡きぬ貯金地獄」の訴へを聞け。

殘るは村井、中井、中澤、第十四、東京渡邊の五行が東京での問題銀行となつてゐる、この五行預金總額は一億二千八百六十八萬圓、口數二十二萬口である。そのうち百圓以下の口數は實に十五萬口にのぼり七割一分までの多數を占めてゐる、しかも金額にす

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ればわづかに百六十五萬圓に過ぎず、預金總額に對してほんの一分三厘にしか當らない。如何に零細な金が多數にかきあつめられてゐるかゞわかる、同時に貯金地獄の深刻さがみせつけられることにおいて理論を超越して、實際の社會問題として考へる時は、わづか百六十五萬圓の資金が調達され、百圓以下の預金拂ひ戻しを實行すれば被害者の七割までが救はれる譯である、不始末をしでかした破綻銀行の重役連が、ほんとうに誠意を披れきし社會問題としてのこの點を考へたらば、よもや工面のつかな金高ではなからう。

小口預金者は、右の如く、(東京五行)預金口數七割一分といふ多數、預金總高の一分三厘といふ少數である。銀行重役の私財投げ出しによるも「よもや工面」の出來ないものではない。しかもなほ、財閥又は銀行重役に、ボロ産業との結托、蓄妾、藝者買ひを慫慂しつゝタコ配を捻じ込んでゐた株主の未拂込株金の第二線的準備金が巨額にある。

小口預金者の數は、おびたゞしく多數なばかりではない。休銀の支店分布狀態より見るも、その地域は全國的にひろがつてゐる。

かれらの窮乏は――依存小産業と共に――今や「貯金地獄」の底にある。しかも、その及ぼすところは小ブルジョアが勞働者、農民のあらゆる層、又あらゆる地域にまたがつてゐる。

政府と大ブルジョアが、十五、川崎の救濟に、何を爲したかは、大衆の面前に曝露された。

かれらの救濟など、べん／＼と待たれぬ。失業者に飯を喰はせろ。政府は即時職業を與へよ。

重役をして私財の全部を投げ出させよ、株主をして未拂込金を支拂はしめよ。小口預金を即時支拂はしめよ。

勞働農民黨は、かゝる預金者、失業者の要求を果敢、敏速にとらへて起つであらふ。又、起たねばならぬ。

(七月十九日)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產階級右翼運動の豫測

——薄氏の右翼展開論の批判——

澤野俊雄

一　はしがき

「資本主義の安定を伴ふ、帝國主義の現段階におけるブルジョアジーの無產階級に對する一般的戰術は、第一に無產階級運動の彈壓——反動的政策——第二には分裂政策、勞働貴族の養成、政治的、經濟的僞瞞等の、右翼助長政策である」（大衆第二卷四號五六頁）

今吾國の無產階級運動が、無產階級の歷史的使命を完成し得んが爲には、日々の摯拗果敢なる闘爭によつて、支配階級に對する彈壓政策——政治的並びに經濟的の——と闘ふと共に、勞働階級内にあつて無產階級の歷史的使命の遂行をを放棄し、否それればかりか、支配階級の分裂政策の一道具となりおほせた右翼を克服することなしには、不可能である。

而して、かゝる闘爭がマルクス＝レーニン主義的に遂行さるゝ場合、闘爭の一般的條件としての資本主義發展の現段階を分析し、又かゝる條件——現在では資本主義の相對的、一時的安定——に適應する敵の陣營の狀態、並びに變化を全體的に、又は一々の點に於て分析究明し、それに對應する吾等の戰略、戰術を規定せねばならぬ。闘爭の一般的戰略を規定するところの現段階の分析に就いては、すでに可成詳細なる研究が爲され、又敵の戰略、戰術に就いても然り。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

だが吾々は、この敵の戰略、戰術に基く陣形の個々の點に就いては、未だ充分に研究せられざる點が幾多殘されてゐることを認めねばならぬ。

たしかに現在、吾が無產階級運動に課せられたる右翼の克服てふ任務の基礎となるべき右翼の存績性に關する分析に就いては充分なる硏究が未だ無かつたと云ひ得るであらう。

筆者は、今かゝる重要問題の解決として提出された薄茂人氏の論文（大衆第一卷九號所載、戰術の一基準としての我國資本主義沒落期の現段階に述べられ、更にこれを詳細に展開した大衆第二號四號所載、右翼展開と資本主義の安定）を出發點として以下私見を述べんとするものである。

二　薄氏の所論

『我々は我邦資本主義の安定を契機とする右翼の展開を、今もなほ主張せねばならない』と信ずる薄氏は、しからばその社會的根據を何に求めて居られるか。

氏は云ふ。

『支配階級の一般的戰略の一つ、右翼助長政策――その重要なる政治的經濟的僞瞞政策とは何か？選擧權擴張、稅制政策、國際勞働會議に組合代表の參加、健康保險法實施、海事協同會、共濟組合事業等々々、或ひは田中義一の反動的三井內閣の政綱、――地租移讓、地方官公選、地方分權の確立、社會立法調査會等々は、具體的のあらはれである。（勿論それればかりが目的でないものもある。）

『かゝる諸政策は、資本主義の安定が固まれば固るだけ、さらに深化し、擴大されることは確かである、何故ならば、支配階級に取つては、その經濟的負擔はさまで大きなものでなくてすみ、現實に其基礎をもつてゐるから。』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

この『右翼の助長政策……の經濟的基礎は、また、資本主義の安定によつて、保證づけられたところである。』

而してかゝる政策を薄氏は（新自由主義政策（註）と名づけ（どこに自由がある！　かゝる政策を新自由主義政策と名づけるとは、資本主義の僞瞞政策にひつかゝつて、見事に眩惑されてゐるかに見える！）この政策の主張する新自由主義の『企圖、運動そのものは、現段階に於ては、さほどの重要性を持たないにしても、（何故に――筆者）、一定の限度必ずや達成されるのであらう』と云ひ、その理由として、

（註）　私見によれば新自由主義とは、名稱と袋と効能書を新にして賣出された社會政策に外ならぬ。袋をあけて中の藥丸を見れば皆十九世紀のかびが生えてゐるのだ。

一、先進ブルジョア諸國に於て、かゝる政策が行はれてゐる事、この影響から獨りいつまでも獨立でゐるのは困難なこと。

二、資本主義の安定は經濟的負擔を可能ならしめる。

三、選擧權擴張による大衆の政治的參加、ブルジョア自由主義黨の活動。

四、小ブルジョアジーの要望。

五、ブルジョア諸相間の對立抗爭。

六、支配階級の右翼助成政策。

をあげられる。

即ち氏の言ふ新自由主義（見よファッシストの本場イタリーでも同じ樣な企てがムッソリュによつて爲されてゐるではないか！）とは、

目的は、資本主義の存續を圖らんが爲に小ブルジョアジーを味方に引きつけ、又同時に無產階級の陣營を攪亂し、そ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の一部を資本主義の協力者たらしめんが爲であり。

手段としては政治的には選擧權其他、經濟的には、諸種の部分的施設、(その基礎は資本主義の一時的安定から求められる)を用ひる。

こうして無產階級の右翼大衆は、ブルジョアジーの一部につながる必然の連帶的諸關係におかれ、無產階級の右翼と小ブルジョアジーとは同一の利害に立ち、共に資本主義の擁護者として、その存亡の時にはこれが防衞の爲、ファッシズムへ轉向するのである。

而してこの際右翼首領の遂行する役割は、『支配階級と合意協力して、右翼大衆を擴大し、結合し、ブルジョアの陣營へかち取ることであり、次に右翼大衆をファッシヅムへ導くことである。』

しかし乍ら、中間調節としてこの使命を遂行する爲に、又『彼等は、自己の地位を右翼大衆のなかにいつまでも喪失し得ないが爲には、助長政策に於て支配階級を出來得るだけ讓歩せしめねばならぬ。また支配階級を威嚇することによつて、支配階級のなかに於ける、彼等の地位を防備しなければならぬ。或ひは右翼大衆を僞瞞し、支配階級との合意を隱蔽するためにも、かれ等は所謂ブルジョアジーの一部——新自由主義黨——との、相つながる戰線の造營を、かれら自らが必要とする。』

以上が大體氏の右翼展開の理論であり、又右翼首領の役割の規定である。次に氏の所論の批判に移らう。

三　帝國主義的剩餘利潤と勞働運動の右翼化

先づ氏の說を個々の點に於て反駁する以前に、右翼の發展の歷史的意義に就いての氏の無理解を克服せねばならぬ。氏のこの點に關する無理解は、帝國主義的剩餘利潤と右翼の發展、日和見主義の發展との關聯に關する高田氏の論文の批

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

判に表はれてゐる。

だが今直接に氏の論文の各行を引き拔いて批評する代りに、(何となれば氏のこの問題に關する所說は斷片的にして、且つ無內容のものであるから) 先づ積極的に、帝國主義的剩餘利潤と右翼の發展との關聯を歷史的に示し、それと氏の說とを對比することによつて、氏の說の維持し難きことを論證するであらう。

十九世紀の終りより二十世紀の初期にかけて、先進資本主義國――イギリス、フランス、ドイツ、アメリカ等――に於て、工業資本に代つて金融資本が、支配的地位を確保するに至つたが、これは必然的に資本主義そのものに變質を生ぜしめたことは、ヒルフワーディングの金融資本論、或ひは、更に明確にはレーニンの帝國主義論によつて分析究明された所である。

資本主義的企業の集中、カルテル、トラスト化、及び急激なる商品生產の增加に基く海外市場の開拓、更には巨額な資本の輸出は、異常なる勢ひを以つて進展した。世界の隅々への商品の侵入は、非資本主義國に於て、掠奪、詐欺を伴ひかくて、こゝにはマルクスの所謂資本の原始的蓄積による利潤の源泉が生じた。又更に巨額の資本の輸出は、いかなる形態にもせよ、資本を輸入した國々の民衆を搾取し、掠奪して、――殊にその國が非資本主義國である場合には、マルクスの所謂原始的蓄積の形ちに於て――高度に資本主義的に發展し、すでに利潤率の低下しつゝある國に資本を投下するよりも、遙かに高率の利潤をあげ得る。即ち自國における勞働者の搾取にのみ基くより遙かに多額の利潤率があげられるであらう。こゝで所謂餘剩利潤、若しくは超過利潤が帝國主義諸國の資本家の懷へ轉り込むのである。

この剩餘利潤は如何なる社會的作用を營むであらうか。

帝國主義國への剩餘利潤の流入、資本の急激なる蓄積は、當該諸國の生產を更に急速に發展せしめた。そして商品の輸出は益々侵略的に行はれ、益々多額の利潤をあげて行く。(資本の輸出も亦輸出國の商品輸出を增加せしめるものである)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かゝる過程が、平穏に圓滑に行はれない限りは、帝國主義國家の競爭力は低減し、直ちに彼等は、世界商品市場、資本市場より追ひのけられるであらう。ブルジョアジーに取つては勞働者階級の階級鬪爭は、かゝる過程が圓滑に行はれることに對する最大の脅威であつた。こゝに於て支配階級は彼等に利を喰はして、彼等の歴史的使命を捨てさせやうとした。實に彼等には毎年巨額の剰餘利潤が植民地、半植民國から流入して來る。恐らくこの一部を勞働者に與へても、彼等は決して、資本の蓄積を、又彼等の生活を脅かされることはないであらう。而も支出は更に毎年餘剰利潤の流入を益々大ならしめるのだ。

帝國主義的政策によつて輸出產業を始めとして、全產業が好況におかれ、勞働者の賃銀は增加する。勿論、その國の重要產業の勞働者のある層に就いてゞあつて、全勞働者には及びはしないのであるが、かくてこゝに勞働者階級中に收入の良い層が生じた。この層はブルジョアジーの繁榮政策に協力し、ブルジョアジーの運命に一喜一憂し、その收入の高さが故にブルジョアジーの生活態度を模倣する。エンゲルスが「ブルジョア的勞働者」と呼んだのは實にこの層を指して云ふのである。これが勞働貴族と呼ばれる層だ。(海氏は、勞働貴族と勞働官僚とを混同して居られる。名稱はどうでもよいが、吾々は、帝國主義の結果變質した勞働者階級中のかゝる層と、勞働官僚——右翼的組合役員や黨の役員等——とを嚴密に區別して考察する必要があるだらう。)

彼等に取つては勞働組合は、階級鬪爭の機關ではなくて、出來るだけ有利に雇傭契約を結ばうと云ふ單なる取引の關係となつてしまひ、現存制度との鬪爭の代りにこの制度の土臺の上に氣樂に順應せんとする努力、一言にして云へば社會主義的階級鬪爭の代りに、ブルジョア的存在の爲めブルジョア的鬪爭が現れたのである。

支配階級も亦これを認識して、巨額の剰餘利潤の一部を投げ出して彼等を買收したのは當然の成行であつた。

だがかゝる現象は經濟的方面ばかりではなかつた。政治的方面にも反映したのである。支配階級の例に就いて見れば、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

帝國主義以前の段階、自由主義時代の產物である自由放任は止んで、所謂社會政策が行はれるに至つた。この社會政策とは勿論、勞働者階級をごまかして、階級闘爭を緩和し、國內全體としての產業的平和を、即ち帝國主義的資本蓄積の圓滑なる進行の條件を作り出すことを目的としてゐるのである。ブルジョアジーは、資本主義の害惡を除くと稱し乍ら、實は帝國主義政策——强盜政策であり、最後は不可避的に世界戰爭を惹起した——の遂行を、圓滑に運ばうとして居たのだ。而してその經濟的根據は勿論、植民地、半植民地を猛烈に搾取して得た餘剩利潤に外ならない。かくて社會政策は必然的に帝國主義國家における支配階級の政策の一重要なる一部となつたのである。支配階級が自ら進んで與へんとする社會政策とはかゝるものであつた。

しからば勞働者階級の側に及ぼした政治的變化は？

勞働者階級內に所謂勞働貴族の層が發生して、彼等は階級闘爭を經濟的方面に於て放棄してしまつたことはすでに述べたが、勿論、かゝる態度は政治闘爭の方面でも反映したのである。彼等は資本主義そのものと闘爭し、終極に於て資本主義を顚覆し、そして新なる社會を建設することの任務を放棄してしまつた。かくして、こゝに日和見主義が發生し始めたのである。イギリスの如き、一八五〇年頃すでに、その革命的階級的政黨——チャーチズム——を失つた所では獨立の無產階級政治運動は起らなかつた。彼等は急進ブルジョア黨——自由黨——を代表者として、社會改良を要求してゐたのである。

ドイツやフランスの如き、革命的政黨が既に成立し、存續しゐた所では、勞働貴族の勢力が强まると共に、その黨にも反映して黨內に日和見主義的傾向が强くなつた。そして帝國主義時代に地位の低下しつゝあつた小ブルジョアジーが黨內に流入するに及んで、この層の持つ小ブルジョア的思想と結びついて、つひには傳來の革命派が少數派となる樣にさへなつた。帝國主義國の社會黨は、日和見主義化し、更に小ブルジョアや勞働貴族のイデオロギーを反映して、イン

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ターナショナリズムを放棄し、遂ひには排外主義にさへなり下つた。かくして第二インターナショナルの崩壞が準備されつゝあつたのである。

又一方勞働者階級の組織が急速に發展し、他方運動が比較的安定して來て、無產階級の政治運動、或ひは組合運動が日常の死活の鬪爭から、一のきまり仕事になると共に、政黨にも組合にも、高給役員の層が生じた。彼等は高級事務家として、黨費や組合費から多額の給料を取つて、その生活は小ブルジョア化し、勞働者階級出身のものでさへもが、その身元を忘れてしまふ位であつた。彼等は一方强固な組織によつて大衆を指揮しつゝ、他方常にあらゆる機會に於てブルジョアと接觸してゐる。そこでブルジョアジーが小數の彼等を買收して、彼等の指導力を利用し、彼等の傘下にある勞働者大衆を資本主義に獲得せんと試み、この政策は見事成功したのである。右翼幹部の役割は、こんなもので、彼等は實に勞働者階級の獅子身中の虫とも云ふべき奴である。

かくの如くにして終ひに帝國主義戰爭の勃發せる場合に、彼等は社會主義を捨てゝ、祖國擁護者となり、社會愛國主義者となつてこの戰爭の爲に、彼等の傘下にある組織勞働者を指揮して、ブルジョアジーに後顧の患ひを無からしめたのである。

だが世界戰爭は世界の樣相をことごとくに變化せしめた。

長期に渡る大戰爭はヨーロッパの資本主義を根底から搖り動かし、資本主義の最も弱き一環であつたロシヤには、社會主義革命さへ勃發したのである。戰敗國は植民地を奪はれ、更に巨額の賠償金をとられた。これは皆その國の無產階級の搾取の增大となつて現はれた。勿論植民地民衆の搾取による剩餘利潤なんかこの國々には一文もなくなつてしまつたのである。

戰勝國と云へども亦同じだ。イギリスでも、フランスでも皆、アメリカに債務を負ふてゐる。その上戰時中急速に發

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

展したアメリカや東洋諸國等の競爭の爲に、充分な商品輸出さへ出來なくなつた。しかも自國の植民地は獨立運動を開始しつゝあるのだ。成程イギリスは未だ世界第一の植民國家であり、現在でも尚アメリカに次ぐ資本輸出國だ。だがその資本輸出から生ずる利益や何かは、最近では既に英國の貿易の輸入超額の支拂ひにも不足してゐるのだ。かゝる事情の下にあつては、剩餘利潤が、戰前迄の勞働者の生活水準を保たしめる爲に、勞働者階級へ少しでも分たれないことは明かである。ドイツに於ても、フランスに於ても、當該國の資本家は、勞働者階級を更に猛烈に搾取し、彼等の地位を最低にまでに下げねば資本の蓄積が行へなくなつたのだ。資本家階級と同一に考へてゐた勞働貴族と云ふ層は急速に消滅の道を踏み出した。

しかも資本主義の安定政策は、資本主義的合理化と勞働者階級の彈壓を基礎としてゐる。勞働者大衆はすでに昔日の勞働者大衆ではない。彼等は自然發生的に鬪爭へと突進する。しからされば彼等は干し殺されてしまふ。

一方ロシヤ革命の成功とその存續とは、勞働者階級に××的意識を復活させずにはおかなつた。第三インターナショナル、プロフインタンの成立發展。かくて勞働者大衆の左翼化が現實當面の問題となつてゐる。

だが勿論、戰前十數年間に築き上げられた日和見主義指導者の組織と勢力とは一朝一夕にして崩れるものではないし、又一方支配階級は更に積極的に右翼指導者を利用して、勞働者の陣營を分裂せしめ鬪爭を鈍らせやうとする。だが傾向は明かに幹部と勞働者との背離、大衆の左翼化に進んでゐる。

現在、戰前の樣な强力な右翼の存在してゐる國はアメリカ合衆國位なものであらう。

(註) 帝國主義時代における勞働運動の左翼化に就いては、レーニン帝國主義と社會主義の分裂(邦譯レーニン著作集第二卷)ローザルクセンブルグ改良主義論、マルクス主義大正十五年、一、二、三月所載のジノビイエフの日和見主義論の紹介參照。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四　我國における右翼運動の發生

しからば、日本は？

日本に於ては戰前までは、歐洲におけるが如き右翼の大衆組織は——勿論左翼の大衆團體も——存在してゐなかつた。資本主義の東漸によつて開國を餘儀なくされて、列强の競爭の渦中へ引き込まれた日本は、列强との競爭に克たねば存續することが出來なかつた。原料にとぼしき我國に於て、安價なる勞働力は日本資本主義の强力な武器であつた。日本の帝國主義は、武力と安價なる勞働力とがその基礎であつた。

戰時中の商品輸出の急激なる增加、急速なる資本蓄積、資本の輸出は、日本の帝國主義に取つては未曾有の事であつた。戰爭の利用や植民地、半植民地の搾取による剩餘利潤の流入は、巨額に達したが、だがこれもあはれ槿花一朝の夢。大戰の終了と大恐慌、そして全體としての世界資本主義が沒落の時代に突入したことは、戰時中日本の資本主義の急激なる發達と共に、發展した吾國大衆的勞働運動に、それが未だ全勞働者層に充分喰ひ込まない內に、早くも一大打擊を與へるに至つた。この時代には未だ政黨の如きは勿論この少數の組織勞働者の間にさへ要望されてゐなかつた。

しかし乍ら、大恐慌に續く不況時代に於て、資本家階級に對する鬪爭が深酷となり、困難となると共に、改良主義的傾向を有する部分が表はれ、又一方金融資本主義化しつゝある支配階級が、早くも勞働運動の發展、深化が、支配權への重大なる一脅威となることを看取して、一方猛裂なる彈壓を下すと共に、この改良主義的傾向を助長し、この一群を勞働者階級內における手先にせんと企てた。即ち支配階級の意識的分裂政策、右翼幹部の買收が始まつたのである。かくて早くもごく組織率の低い吾國の組織勞働者——勞働者階級の先頭隊——の間に分裂が生じた。

勞働運動は全體として、かゝる時代には、量的の發展を阻止されるもの故、支配階級の助長政策にも拘はらず、右翼

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と云へども、何等量的の擴大の見るべきものがなかつた。しかも、後述の如き理由からして右翼自身の内部に矛盾が擴大しつゝあるのである。

かくの如く我國の右翼は現在に至るまでも强力なる發展活動を爲し得なかつた。そして事々に左翼に壓迫され勝ちだつたのである。

要約するならば、我國に於ては、歐洲大戰前におけるが如き或ひは現在の北米合衆國におけるが如き右翼的大勢力の形成は存しなかつた。我國の右翼は戰後の資本主義の沒落期に於て發生したものであつて、全勞働者階級に對するその勢力影響も弱く、又左翼に對する力の均衡に於ても決して强力ではない。しかも内部にすでに矛盾を持つてゐるのだ。恐らく以上の事は、薄氏も亦、認めざらんとしても、認めざるを得ない所であらう。吾々は先づ以上の事を前提として、今後右翼が一大展開を爲すと云ふ薄氏の豫測が正しき前提を有するや否やを檢討するであらう。

五　右翼の内部の矛盾

さて薄氏の所論に立戻るならば、恐らく何人とも云へども、支配階級が、その支配を永續せしめることを企圖して、彼等の委員會たる國家をして、一方に猛烈なる彈壓政策を行ひつゝ、他方に僞瞞政策、右翼の助長政策を行はしめることは疑ひ得ない所であるだらう。

勿論ブルジョア階級もその政策の經濟的基礎を持たずにはこの政策を行ひ得ない。而してこれとても天から降つて來たものでもなく、地から沸いたものでもなくて、無產階級から搾つた剩餘價値がめぐり廻つてブルジョア共の委員會の手中に歸した部分（租稅）か、さもなければ無產階級や小ブルジョアが汗水たらして働いて、やうやく得た生活費の一部を、ひき上げた部分（郵便貯金や簡易保險の掛金）かであつて、大部分は自分等の直接の利益の爲に用ひ、彼等の使

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

用額にくらべれば、ほんの一部を、しかも出し惜みをしながら、支出してゐるのではあるが。

だが筆者は、薄氏の如くに、これだけの事實を以つて、直ちに右翼の展開が事實として現れる、即ち右翼が存續展開すると云ふ斷定を下し得ないことを遺憾とする。

僅かな金による僞瞞政策であつても、大衆自らがこれを僞瞞政策と感ぜしめない様な、或ひはこんな丸薬では病氣は直らないのだと云ふことを氣がつかない様な狀態にあるならば、効驗があるかも知れない。しかし彼等の頭上に下されるブルジョアジーの搾血器の重味が強くなる場合には——而も僞瞞政策を行ふものと搾取するものとが同じ手によつて行はれる場合に——大衆はいつまでも瞞されてゐるだらうか。彼等は多分これに感づくであらう。勿論彼等がこれをはつきりと認識して、決定的な態度を取ることを得ないにしても。そして彼等の間には自然發生的に動搖を生ずるであらう。而して今次の恐慌はこの傾向を更に々々に強めるであらう。

すでに薄氏自身が述べて居られる様に、所謂永久的恐慌期に入つた後期帝國主義の時代に於て、よし歐洲における資本主義程その根底を破壊されて居ないとしても、吾國資本主義は、その安定政策を遂行するに當つて、矢張り世界並に合理化政策と勞働者階級彈壓政策を行はざるを得ないのである。

今こゝに一々内容を擧げることを控へるが、資本主義の合理化が各方面よりして勞働者階級の地位を低下せしめ、生活を脅威することは、直接の彈壓政策と何等異らないであらう。そして資本の合理化政策に當面しては、從來まで所謂支配階級の僞瞞政策として行はれた有効なる（勿論資本家階級に取つて！）社會政策さへもが彼等の大きな負擔になるのだ。見よ！　工業クラブは健康保險法の廢止さへを要求してゐるではないか。

勿論、それだからと云つて、ブルジョア階級は僞瞞政策を捨てはしないであらう。しかし乍ら最も金のかゝらない方法を、資本の蓄積を阻止しない方法を撰ぶことは明白である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

これは、右翼指導者を買收し、又大衆を一時僞瞞することは出來るだらう。しかし乍ら實際に勞働條件の惡化、失業によつて日々の生活を益々脅されつゝある大衆は、日常生活の體驗から、支配階級の僞瞞政策が、彼等の生活を改善せしめるものでない事を知る時に、彼等は自然發生的に鬪爭を要求した、そして又するであらう。

我々は右翼幹部と云へども、薄氏の云ふが如く、彼等の地位を右翼大衆のなかにいつまでも喪失しないが爲、又支配階級との合意を隱弊する爲に、場合によつては、鬪爭を行ふ事を餘儀なくされるであらうことを見る。

而かも右翼幹部には鬪爭を勇敢に遂行する勇氣も又理由も見ることは出來ない。こゝに彼等の限界があり、更に鬪爭を要求しつゝある大衆が動搖して、右翼幹部から分離せんとする傾向が生ずるのだ。

吾々はこゝに、我國における右翼が、支配階級の助長政策——經濟的、政治的、或ひは警察的——にも拘はらず、即ち彼等に取つて有利なる條件が存在するにも拘はらず、急速なる發展を見ず、それのみか、分裂さへ行はれた事の重要なる一原因を見るのである。

薄氏がかゝる右翼内における矛盾の發展に目をそゝがれなかつた結果、氏は所謂右翼の展開を恰も必然かの如くに考察せられてゐるのである。若しも吾々がマルキシストであるならば、事物の本質を認識する場合に、事物を全體の關聯に於て、且つ矛盾の發展を見なくてはかゝる認識に到達し得ないであらう。

六　小ブルジョア層と右翼政黨の變質

以上は大體右翼の傘下にある勞働者の經濟的組織に就いての所論である。しかし乍ら右翼の政黨に就いては、これとは稍異つた樣相を呈してゐることを以下に見るであらう。

右翼政黨の要求する政黨は、單に勞働者大衆のみならず、現在の狀勢の下に於て益々その地位の低下しつゝある小ブ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ルジョアジーをも包含する。そして支配階級の僞瞞政策の限度を出ない右翼政策も小ブルジョアジーの大衆を傘下に集めるには甚だ好都合であるだらう。かくて右翼の政黨へは小ブルジョアジーの層の流入が盛んとなるであらう。こゝに右翼の政黨の量的增大の基礎が見られる。

（註）だが實際に於ては未だこの傾向が實際に表はれてゐるわけではない既成政黨の政友會や民政黨も小ブルヂョアを獲得することに腐心し、又小ブルジョアジー自身だけよりなる政權、プロレタリアートが指導權を持つた無產階級黨も、この層の獲得の爲に鬪ひつゝあるから。

しかるにこの右翼の政黨は、無產階級の歷史的使命の遂行への一步として組織されたものではないが故に、黨の構成上、並びに政策上、鬪爭上に於て、プロレタリアートのヘゲモニーは全然反映されてゐない。それ故に黨内を流入する小ブルジョアは多數であり、且つ又、流入した彼等は黨の組織上、政策上、鬪爭上に反映して、この黨は、右翼幹部に率ゐられた勞働大衆を包含しつゝも、漸次小ブルジョア黨としての性質を濃厚にして來てゐる。

更にこの黨の性質はその傘下にある勞働組合——右翼大衆——へも反映するが、プロレタリアートの日常生活の經濟は勿論自然發生的にではあるが一二の小ブルジョア政策との背離を示すであらう、この點に、この政黨内にも勞働者がこの政黨の小ブルジョア的性質に自然發生的に反抗する根據がある。こゝに、分裂、これに續いて、總同盟から分離した勞働大衆による日勞黨組織の重要なる根據があり、又現に社會民衆黨の内部に於て、黨の指導部があまりに小ブルジョア的だと云つて、勞働者側に不平の聲さへ上つてゐるのも又かゝる理由からである。

故に現在に於ては、右翼の政黨が量的に發展するものとすれば、小ブルジョア層の獲得の如何によつてゞあり、これは黨を全然小ブルジョア化すに至るであらう。

筆者はこの點に、社會民衆黨の無產階級的政黨としての矛盾を見、且つその發展方向を見る。更に社會民衆黨一派の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小ブルジョア的政黨、殊に社會的排外主義(ソシアルショーヴィニズム)、ファッシズムへの轉向の根據を看取し得るのである。(例へば高橋龜吉氏や赤松克麿氏の所論)

筆者の意見の方が主になつたが、薄氏の右翼展開論は、かゝる點に何等觸るゝことなく、そのファッシズムへの轉向も根本的に理解されてゐない。

七　左翼の勢力集合と右翼の克服

次に、右翼の展開、若しくは勢力の增大は、單に以上の如き理由からしても、無產階級に對して深く根を下し得ないのみならず、左翼の質的、並びに量的發展によつても、卽ち左翼との力の均衡の關係に於て、左翼の勢力が有利に展開した場合には、彼等の勢力は、相對的に減少するであらう。こゝに左翼自體の實踐による右翼の克服の道がある。

先に述べた自然發生的な右翼內における大衆と右翼幹部との背離、勞働者大衆(大部分は未組織勞働者たることに留意せよ)の一般的地位の低下は、實に左翼の展開――從つて右翼の相對的勢力の減少――の基礎となるものだ。勿論この場合左翼が、かゝる社會的狀勢そのものを充分に、且つ具體的に認識して、空理空論を弄ぶことなく、これに適應した正しい左翼戰術を立て、これを勇敢に且つ執拗に遂行する場合にのみ實踐的に右翼を克服し得るのである。

左翼による、右翼指導者の非無產階級的生質、彼等の裏切行爲の曝露並びに、共同戰線戰術の正しき適用と、未組織大衆の獲得卽ち左翼の勢力集合は(今はこれ等の問題には深く觸れない。)右翼內の動搖、分離、若しくはその相對的勢力減少を引きおこすであらう。(中間派に就いては何も述べなかつたが、中間派の獲得の必要は、この點に關しても絕對に忘れることの出來ない重大なる戰術であらう。)

薄氏は、左翼による、右翼內の動搖の利用と、中間派及び未組織大衆の獲得とが、右翼の展開の障害或ひは限界とな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ることを全然理解されてゐない。氏にあつては、『右翼との大衆的闘爭への進撃』は結論としてほんの申譯に附加されてゐるだけでに過ぎぬ。

要約するならば、薄氏は、資本主義の現段階における僞瞞政策の限界、右翼幹部と右翼下にある勞働大衆との矛盾、右翼政黨の變質、左翼の鬪爭による右翼展開の限界を全體的に、辯證法的に理解して居られないのである。

現在吾々は氏の云ふごとく、『右翼の勢力を觀念的、概念的にのみ減殺することや、××の暗示によつて自らを慰める快樂を止めて』或ひは薄氏の如く、事物の一面的觀察に終つて、全面的に觀察することを忘れることなく、事物の本質の正しき認識を根據とし、鬪爭によつて右翼を克服せねばならぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

議會主義に就いて

（ロシア社會主義者に對する答）

カール・リープクネヒト

(一)如何なる議會も、立法や行政を「統制」してゐる最も强力な議會も亦、組織上の因子としての意義(第三項參照)を別とすれば、それ自身は、何等重要なる力ではない。少數の代議士は、彼等が代表する眞實の議會外の力によつて、一個の力となる。かゝる眞實の力とは、就中、(イ)人間、(ロ)物質的力の因子、例へば、勞働手段、蓄財、交易手段(經濟的な力の因子)、並びにあらゆる種類の武器(暴力因子或ひは蓄的な力の因子)例へば、他の力の因子の合目的使用の爲の方法として形成された國家的、敎會的、及び私的組織。物的及び組織上の力の因子の利用は又、必ず人間の手中にある。如何なる議會も、議會を信頼して、揃つてゐるところの人民の部分以上の力を表はすものではない。即ちいかなる議會も、それの本質的な力は議會外に存在してゐるのである。

(二)議會的鬪爭は、それがくだらぬ事以外に關して行はれる限り、たゞ見かけ上議會內で鬪はれるのである。政治は利益の代表である。政治には、說得も說服もない、たゞ力の鬪爭があるばかりだ。××とストライキが最もよい政治的の結論だ。信頼を得る爲の鬪爭、議會外の力の所有者の「心」を得る爲の鬪爭――これがあらゆる重要な議會的鬪爭の核心であり、この鬪爭に於てある政黨は、しばしば現狀維持の爲に努力し、しかるに他の政黨は、地底の力を動かさうと努力するのである。窓を越えて出て行く演說が、議會の本質に屬する。議會內の政黨は、議會外の力へ影響を與へる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と云ふ廻り道か、或ひはかゝる影響の維持と云ふ廻り道によつてのみ、引きつゞいて力を振ふことが出來るのである。

（三）亦議會そのものが、直接に、組織上の力の因子である場合には、それは議會外の勢力を統制（コントロール）されたる代表者である。それが、組織上の力の因要でなく、直接に決定し、行動し、その意志を執行し得ない場合にも、議會は、議會によつて代表されてゐる眞實の力が持つてゐる勢力を振ひ得る。たゞこの勢力を、廻り道によつて、間接に、國家的に組織された方法によつてゞはなく――それは常に非常に不利であるが――ふるふだけである。

だがいかなる意味に於て、いつも、見かけの議會（Scheinparlament）と云ふ言葉が用ひられるのかは知らないが、外部へ向ふ道、人民及び大衆への啓蒙的、刺激的、煽動的働きかけが阻止されてゐる様な「議會」に於てのみ、プロレタアートの代議士の活動は、無價値であり、滑稽であり、愚の極みであつた。

（四）ドイツの議會は直接の力を少ししか持つてゐないが、それは外部への働きかけを許してゐる。プロシアの選擧權は甚だ憐れなものであり、代議院は人民代表の奇怪な、面白い戯畫であるが、そそは、半ダースの社會民主黨の代議士に、大衆――それの强力な、目的の明白な諸組織は、有害なる敵の眞只中にあるこの六人に、罪重きプロシア制度に對する驚くべき敵對力を與へてゐるのだ――話しかける爲には、世界の最も適當した演壇である。又第三回デューマ（帝政ロシアの議會――譯者）における我等の友は、しばしば充分に、彼等にも同じ様な機會が與へられてゐること、彼等はそれを適宜に利用し得ることを立證した。ドイツ、殊にプロシアの「見かけだけの議會主義」における我等の戰術は、デューマに對して勧める價値のある戰術と、對比され得るのである。

（五）ドイツの社會民主黨は、一九〇二年の關稅增徵の提案に對して請願の波を立たすことを躊まなかつた。協同組合はこの人殺し稅の提議に反對して請願を行つた。そして選擧權問題をプロシア議會に對する大衆請願運動によつて、再び動かさうと云ふ動議は、如何なる原則的の疑ひもこれを駄目にすることは出來なかつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

例は澤山ある。

(六)請願書は、たしかに願ひを請ふ書面をも云ふが、それは同時に要求である。請願權は決して、單なる願ひを請ふ權利ではない。請願に與へられた形式が問題となる。請願權が憲法的に行使され得るか否かは、何等區別とはならぬ。君等の欲する方法によつてデューマにたゝきつけられる請願は、更に更に恩惠を請ふことではないのだ。提出された請願の形式は卑屈なものの反對である。かの團體の歎願は、いやしむべきものであり、賞があるであらう。だが君等は要求せんと欲し、威嚇せんと欲してゐる。それが音樂を行ひ得る調子だ。

(七)團結權に對する提出或ひは質問は、ロシアの黨に對ては激しい反對にか或ひは疑視にぶつかるであらう。我等はドイツ及びプロシアに於てこの手段を常に遠慮なく、そして最大の効果――勿論先づ第一に、すぐにすべての他の効果の槓杵となる煽動的効果――をあげて、行つてゐる。我等はこの戰術をいつも適當な時に繰返すことを避けぬであらういかなる門を通じて、かゝる煽動的な討論がデューマに持ち込まれるかは、たしかに何の差異にもならない。大衆への煽動的効果が問題なのだ。さて如何にしてその爲のかゝる行動が拒絶され得るかは――何となればこの行動は大衆自身によつて、議會外の諸力によつて、又「請願」によつて起され、且つ押し通されるべきものであるから――いかなる理由も私を納得させせないであらう。

(八)たしかに、ロシア政府、或ひはロシアのデューマは改革を行ひ得る力やその好意を持つてゐると云ふ幻影をおこしてはならぬ。しかし改革を力で奪取する爲の要求や鬪爭は、かゝる幻影の反對を卽ち階級鬪爭を目ざますことを意味する反動的な惡黨共から要求物をもぎ取る力が未だ充分でないとしても、この惡黨どもも全民衆の前に曝露し、かくて大衆運動を刺激するには充分である。

(九)大衆運動を展開さすには、個々の特に目前に差し迫つた點を取り上げることより適當なものはない。常に攻擊を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全力をあげてかゝる點に集中すること――これがラッサールの戰術的原則であつた。個々の目前に差し迫つた問題は全く具體的に感受され、理解される。たしかに、實際に、大運動を起し得る程よく大衆が强く感受し、明白に理解する問題のみが撰ばれねばならぬ。だが議會的行動に於ては、勿論、何ものによつても、さほど大きくない。又さほど大衆的意義を持つてゐない個々の問題――それが請願によつて起されたものであらうがさうでなからうが――を、常に前面に押し進めることは妨げられないのである。

プロレタリア的階級鬪爭に於ては、常に生ずる日常政治の各問題は、全體の綱領を顧慮して、全體の內の部分として觀察され、取り扱はれねばならぬ。日常政治のあらゆる大問題は、階級鬪爭の全政策の基礎の上に展開し、そして我々をして全政策の方向に向はしめる。綱領の一つ一つの重要なる要求は、全階級鬪爭綱領を要約して含んでゐるのである若しも各個の鬪爭、日常鬪爭が、この精神で導かれるならば、鬪爭は行き詰らないで、最も生き〴〵とした見解の敎示によつて明かになる。選擧權、軍國主義、警察、裁判、社會政策、租税政策をめぐる鬪爭と並んで、私には團結權の爲の鬪爭が特にこれに適してゐる樣に見える。

ベルリ、一九一二年十二月十一日　（澤野譯）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

調査資料

國際カルテル日本の狀勢

資本主義安定の諸問題（五）

國際カルテルの意義

生産の集積─資本の集中、そこに獨占（プール、カルテル、シンヂケート、トラスト）が生ずる。原料の獨占、生産の獨占、市場の獨占。

競爭による無政府的混亂の征服は、かくて相對的には達成される。

「獨占」そこに、金融資本─產業に於ける銀行資本の優位─の支配を生ずる。

「獨占」の內輪、「獨占」と「獨占」、「獨占」と非資本主義的產業群、產業資本との、新たなる對立、抗爭、征服、の混亂は、かくて、より大きな規模により强烈な鬪爭意識の上に、捲き上る。

レーニンは、かゝる「獨占」の歷史的段階を三つに分けた。

一、自由競爭の發展における最後の段階、獨占の發生期、一八六〇年より一八七〇年、

二、獨占は廣く發展したが、なほ普遍化しない時代、一八七三年の恐慌後

三、獨占が全經濟生活の基礎となり、資本主義は帝國主義に轉換したる時代、十九世紀末の好景氣と一九〇〇年─一九〇三年の恐慌期。

アメリカ（プールよりトラストへ）

△全產業に對するトラストの勢力

トラストの數	企業數	勞働者數	生產高
一八五個（一九〇〇年）	二三・六（一九〇七年）	七〇・六（一九〇四年）	七三・七（一九〇四年）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二五〇個（一九〇七年）　二三•九（一九〇九年）　七五•六（一九〇九年）　七九•〇（一九〇九年）

ドイツ（カルテル）

△カルテルの數

一八七三年	八	一八七九年	一四
一八八五年	九〇	一八九〇年	二一〇
一九〇五年	三八五	一九二四年	三、一〇〇

備考　（「經濟研究」カルテル政策の史的發展、小島精一氏參照）

世界經濟の一環としての國々、そこに派生した「獨占」は、生産關係、しかし交換關係の世界的體系のうちに、國際的「獨占」を生ずる。いはゆる國際カルテルがそれである。

國際カルテルは、個々の「獨占」の世界的規模における結合である。しかし個々の「獨占」の利害が絕對的の條件である（「大衆」第一卷八號講話「國際カルテルと資本主義」大森義太郎氏參照）國際規模に於て、國際カルテルの內外に、新たなる對立、抗爭、征服の混亂は、かくてさらに捲上る。「恐慌」と「戰爭へ」。（ブハーリン「世界經濟と帝國主義」參照）

かくて、個々の「獨占」、國際カルテル、の發展、對立、矛盾、それらの、あらゆるすべての關聯は、交互作用に於て、展開される。

資本主義國の合理化

世界の革命の波が、退潮してから一九二五年を轉期とする、世界資本主義の相對的安定の特徵は、いはゆる合理化過程である。（ブハーリン「資本主義の安定と無産階級運動」インタナショナルビブリオテーク第三册參照）

合理化とは、一、勞働日延長、賃金切り下げ、過剩生産整理、勞働者馘首、（相對的不安定の增大の條件をこゝにはらむ。國際聯盟も國際勞働カルテルである）二、「獨占」企業結合の急速なる形成、三、生産行程のフォード化規格統一技術的革新、等いはゆる生産の單純化の特徵的傾向をいふ。

一企業結合の急進なる發展、

英國は一九二六年に、化學染料カルテル、南ウェールス地方の炭坑合同を、急展開させたので、ランカシャ綿業地では、企業合同が實際化する形勢にある。

染料カルテルは、英國染料、ユナイテッドアルカリ、ノーベル•インダストリー、ブラモンド（總資本五六〇〇萬ポンド）が、結合したものである。

獨逸は

（1）染料會社、一九二五年末成立、資本金十一億マークでフラ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ンクフルト地方の八大染料會社合同、

(2)製鋼合同、一九二六年、四月成立、鋼鐵部をデユツセルドルフに、石炭部をエツセンに置く。ゲルセンキルヘン、アウグスト・チツセン、フエニツクス、ドイチエルクセンブルグ等資本八億マルクをもつて合同、クルツプと二大對立をなすものである。

(3)海運合同、北獨ロイドーハンブルグブレーメン、アフリカ、ホルン三社合同、その所有船舶噸數六十萬五千噸。三社合同ー獨墺ライン、コスモスライン、スチンネス汽船も合同

(4)其他一九二六年に、南ドイツ製糖、釀造、寫眞機械製造、特殊鋼、造船、車輛、自働車、亞麻布、石油産業のカルテル化、トラスト化が行はれたが、垂直的合同より水平的合同へを、特徴とする。

二、産業行程のフォード化

若干の範例を提示するにとゞめる。獨逸において、鋼鐵産業は、いかに合理化の成果を擧げ得たる?

衝風爐

	一九二五年九月	二六年八月	增減%
爐數(基)	九六、	八四、	減一二・五
生産高(千トン)	七三五、	八五〇	增一六・〇
一基當り生産高(トン)	七・六〇〇	一〇・〇〇〇	增三一・〇
勞働者數(千人)	二一	一七、	減一九・〇
一人當り生産高	一・一七	一・六〇	增三七・〇

鋼鐵爐

生産總高(トン)	九〇〇	一・一四〇	增二六・〇
勞働者數(千人)	二八	二五	減一一・〇
一人當り生産高	一・二三	一・七七	增四四・〇

備考 マンチエスターガーヂヤン・コンマースに據る。

米國はすでに巨大なるトラストが全産業を從横に支配してゐる。昨年は鋼鐵コーポレーションを成立させたが、今や主力は、フーバーの、いはゆる「産業の單純化」にそゝがれてゐる。

(1)商品の規格統一の基礎的調査範例(米國)

	一九二二年	一九二三年
調査の産業種類	二八〇	三〇〇
單一化の見込みなきもの	一三二	五六
同見込みあるもの	八八	一二五
既に單一化したるもの	四〇	九二

備考 「實業之日本」産業合理化號に據る。

(2)機械利用の増大—工場の電動機使用増加數(米國)

	自家發電	購入電力
一九一四年	四、九三八千馬力	三、八八四
一九一九	六、九六九	九、二八四

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二三	八、八二二	一三、三六五

備考　藤本銀行週報、「米國恐慌原因の根本的研究」に據る。

國際カルテルの發展

各國の個々の「獨占」の發展は、交互關係に於て、必然に國際カルテルの急速なる發展をもたらしたのである。

一九二六年だけでも、歐洲エナメル、レールカルテル、白熱燈シンヂケート、獨佛白ルクセンブルグ、チエツクスロヴアキア、オーストラリアといふ大がかりな鋼鐵カルテル、獨佛のポターシユ輸出同盟、歐洲電信カルテル、加里工業同盟、トーマス肥料共販、A・B・C國際投資トラスト、くはしく調べたなら、なほ限りなくあらふ。

「エコノミスト」の國際カルテルの自己曝露

國際經濟會議最大の失敗は、産業的國際カルテルの是認である。英獨佛の諸國の猛烈な運動はこゝに奏功した譯であるが、國際經濟界の平和は彼等の横車のため終に絶望に歸してしまつた。經濟會議の擁護派はいふであらう。『カルテルは事業の冗費を節し、機械を有効に運轉し、以て能率を高めるであらう』と。たとへこの辯解に一分の道理ありとするも、誰か、カルテルは共同の商敵に敵對する共同戰線でないといへようか。獨占の弊、物價吊上げの弊生産者による消費者の搾取も亦これに隨起するに相違ない。國際經濟會議はカルテルを承認することによつて、終にその理想とする『國際經濟上の軍縮』を自ら踩み躙つてしまつた。會議は將來の國際經濟戰に對する準備行爲であつたといつても過言であるまい。（「エロノミスト」第五年十一號「財界大觀」）

日本資本主義の國際カルテル參加

日本が國際カルテルに參加したのは明治四十五年六月成立した對支六國借欵團が始めであらふ。

成立後いくばくもなく、米國限行團が脱退したが、大正七年米國の提議で、ラモントと梶原正金頭取（日本側銀行團代表）の調印となり九年日英米佛（露獨を除外す）四國借欵團が再組織された。

外務省の聲明——借欵團の規模

成立の經過

去る大正七年六月米國政府の提議に基き日英米佛四國銀行團を以て新に對支借欵團を組織し支那政府を相手とし若しくは其募集する借欵にして公募せらるゝものは政治借欵と實業借欵とを區別することなく之が新借欵團共同の事業と爲さんとするの議起り其後右提案は關係各國政府の賛同を得次で客年五月巴里に於て右四國借欵團代表者會合討議の上大體米國政府の提議を基礎とする新

借款團組織に對する綱要を決議し夫々各國政府及び銀行團本部の確認を求めたるを以て日本に於ても新に銀行團を組織し之に參加する事に決し他の三國に於て亦前記巴里に於ける決議を確認し茲に新借款團組織の根本義を確認するに至れり

元來新借款團の組織に依り支那の借款に關する列國間の競爭を阻止し以て支那の福祉を增進し關係國間の友好協調を鞏固緊密ならしめん事は固より帝國政府の切望する處にして現に往年米國銀行團の現存四國銀行團復歸方を勸說したるが如きも實に對支投資に關し關係列強と協調の實を擧げんことを庶幾したるに外ならず從つて前記の通り更に關係列强協調の範圍を擴大し且つ之を益々緊密ならしめんとする米國這回の提案に關しては進んで之に贊同の意を表し次で巴里會議の決議をも確認するに至れる次第なりとす

日本特殊地位

然れども新借款團問題は他の關係國に取りては主として單純なる業務上の利害問題たるに止まるも日本に取りては往々國家の緊切なる利害問題を包含し其の領土に接續せる關係上國防並に國民の經濟的生存に重要緊密なる關係を有せり然り而して以上日本の特殊地位に關しては從來關係國政府においても諒認するに躊躇せざる所なりと雖も帝國政府は前記巴里會議の決議を確認するに當つて日本の立場につき關係國との間に更に明確なる諒解を遂げんことを圖り爾來數次意見の交換を遂げたる結果英米佛三國側においても接壤關係に基く國防並に國民の經濟的生存の安全を保障せんとする日本提議の主眼とする處に就ては十分之を諒解し右三國政府は日本の緊密なる利益に背反する何等の措置に出づるの意圖を有するものに非ざるのみならず進んで日本の利益を擁護するに足るべき一般的保障を與ふるに躊躇せざる旨を聲明し來り帝國政府においても其提議の本旨は十分關係國の諒解を得たるものと認め上記關係銀行團代表者の協定を承認することに決定したる結果遂に上述の通り本月十一日差當り日米兩國銀行團代表者の間に了解の成立を見るに至れるものにして追て更に日英佛三國銀行團の間にも同樣了解の成立を見るに至るべし

借款團の根本義

若し夫れ新借款團の活動の範圍に至りては支那政府を相手として其直接に又は其保障の下に公募せらるべき借款に止り對支借款新募に就ては新借款團が獨占の地位を獲得せんとするものにあらず從つて支那の企業家又は私的團體の起さんとする借款は素より自由にして新借款團の關知する所にあらず今や新借款團茲に成立を告げんとするに當り日本國民並に隣邦國民に於て新借款團組織の根本義を十分了解し其發展を援助するに吝ならざるべきは信じて疑はざる所なり

對支關係に於ては、日支合辦事業、その他八幡製鐵所と漢冶萍鐵山の原鑛供給協定の如き、國際カルテルの端初的形態をとるものが、少くないがこれらは此の調査外に置く。

海上運賃同盟

國際カルテルの代表的なもの、その形態、その質的方面

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、海上運賃同盟である。

一、郵船商船の參加する國際運賃カルテルについては、別項「川崎問題を、吾々はいかに把握する？」を參照せられたい。

二、印度棉花運賃同盟

(1)加盟者、紡績側、日本紡績聯合會、輸入商、日本棉花、(商船系)東洋棉花、(三井系)汽船會社、郵船、商船、ピー・オー汽船(歐洲大戰前にはオーストヤン・ロイド、伊太利汽船、メサゼリー・メリチムの外國汽船會社も參加す)

(2)上海の日本側紡績會社も同樣の同盟を組織してゐる。

(3)「郵船、商船、ピー・オー三社と運賃を締結したる以前に於ける印度間運賃は二十七留比半で、其内五留比の割戻金を差引き正味二十二留比半なりしを、契約により(即ちカルテル組織により)正味十五留比まで引下げた。即ち更に七留比半を割戻す事としたものである」(「日本紡績事業に對する印度の誤解に關する陳述書」紡績聯合會、一九二六年二月)

日電國際カルテル

露領水產組合(組合員漁業經營者約二百十人)と、社會主義聯邦ロシアを單位とする國際協定も一個の國際カルテルである。漁場の組合員一括競落、漁區借區料協定を、カルテルとしての事業の主體とする。組合漁區數の約三割、製品の約五割を、日魯漁業(堤清六)が獨占してゐる。

	大正九年	一〇	一一	一二	一五
組合漁區數(區)	二六〇	二二三	二六四	二二九	二七五
勞働者數(千人)	一五	一四	一八	一八	一九

備考　大正一二年迄は、「露領漁業關係統計」農林省水產局編に據る

北樺太石油、スエーデンとのマッチ產業も、また一個の國際カルテルとも見られる。

電力投資團

日本電氣證券(資本金千萬圓)は一九二六年一二月設立されたもので、地域を日本、產業を電力事業と限られた投資カルテルである。

加盟者、米國側、ジー・イー、米國電氣證券、ギヤランチイ・トラスト、ギヤランテイ・コムパニー、東京電氣(ジー・イー系) 英國側ラザート・ブラザース・セール商會、日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本側三菱信託、三井信託、安田信託、住友信託、東京電燈、東邦電力、

英米の金融資本閥(いはゆるフヰナンシヤー)としては、英國には、ロスチヤイルド、ベーリング、シロイダーの三大財閥のほか、ラザート・ブラザー、サミユル・サミユル、ゴツシエン・エンド・カンリフ、フレデリツク・ヒユーズ・シー・ハンブロー、クライン・ウオールド・アンド・サンスがある。アメリカはその十大フヰナンシヤーのうち、シカゴのハリス・フオルブス、ハリス・ステエアートを除くものは、モルガンと、モルチメル・シフ(老シフの子)の支配下にある。モルガン財閥はモルガン商會、フアースト・ナショナル銀行、ガランテイ・トラスト、バンカース・トラスト、シフ財閥はクーン・ロエブ商會、ナショナルシテイー・コンパニー、デイロン・リード商會、ブレイア商會を直屬とする。五十億ドルの募債高のうち、廿五億ドルを兩財閥で引き受けるだけの勢力がある。

これらは、わが國家資本、興銀、正金、三井、三菱、住友、安田等と、個々の提携連絡を把つてゐるが、電力産業に對して、米國のモルガン、シフ、英國のラザートがわが巨大財閥とカルテルを組織した譯である。

保險國際カルテル

保險産業はわが資本主義經濟機構のなかに、重要なる位置を占めつゝある。

生命保險四四社の産業に對する諸貸付二億一千萬圓、有價證券投資四億一千五百萬圓、

損害保險五一社の諸貸付五千萬圓、有價證券投資一億四千八百萬圓に達する(保險年鑑十四年度版)そして巨大資本財閥、産業資本財閥の統制のもとにある。

生命保險は保險協會、損害保險は海上保險協會、内外火災保險聯合會を形成してゐる。海上保險は地域的料率協定を行ふこともあるが、火保聯合會は日本に於ける保險料率協定を主要任務とする國際カルテルである。

火保國際カルテルの國籍、資本閥背景

外國保險側(二八社)

英國　アライアンス・アッシュランス、カレドニアン・インシュランス、コムマーシャル・ユニオン、コンチネンタル・インシュランス、ホンコン・ファイア、ロー・ユニオン・アンド・ロック、ロンドン・アッシュランス、ロンドン・アンド・ランカシャー、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ニユーヅーランド●インシユランス、ノース●ブリテイシユ●マーカンタイル、ノース●チヤイナー、ノーザン●アッシユランス、ノルヰッチ●ユニオン、フヰニックス、ローヤル・エキスチエンヂ、ローヤル●インシユランス、ユニオン●アッシユランス
ユニオン●オブ●カントン、ヤンシー、ヨークシア●コムパニー

米国 パラタイン●コンパニー、ホーム●インシユランス

佛國 ユニオン●ド●パリー

和蘭 ネザーランド

日本保險側(四六社)

	總資產	財閥
千歳火海再保	五、七二五	原財閥(横濱)三田學派
千代田火災	一三、五七六	三田學派(東京)
朝鮮火災		
中外海火再保	二、三一七	尼ヶ崎系(大阪)
中央火災傷害	五、八二四	藤田(大阪)貝島(九州)
第一火海	五、三九七	—
大日火海	二、七四五	—
大東海火	四、三五七	—
富國火海	二、三一九	片倉系
福壽火海	三、九九五	九日會、名古屋財閥)
扶桑海火	一四、七三八	山下系、東京海上
平和海火	—	久米民雄
豊國火災	六、七四五	片岡財閥島系
神戸海上運火	二五、八〇五	岡崎藤吉(神戸)
共同火災	一六、〇一〇	山口財閥(大阪)
京都火災	五、三五〇	岡崎藤吉
明治火災	二九、一一九	東京海上
三菱海火	一一、八〇一	三菱財閥
日本火災	二六、三三三	川崎財閥
日本海上	一六、六一一	右近一族系(大阪)
日清火海	三、五九四	岸本財閥(神戸)
日東海火	二、四九〇	菊地一族(神戸)
日章火海再保	三、四五七	前島、西尾早稻田學派
大阪海火	一八、四一二	商船系
攝津海上	二、四五二	商船系
新日本火海	五、六三九	鈴木財閥
神國海火	三、七三九	岸本財閥
大福海火	五、七一二	松方財閥、東京海上
太平火海	五、四一〇	安田財閥
太平洋海火	三、三八二	山十(長野)
大北火海運送	四、四七六	内國通運系
大正海火	八、二九三	三井財閥、東京海上
太洋火災	五、一四七	原財閥(横濱財閥)
大連火海	—	滿鐵、三井、東京海上
辰馬海火	三、四〇六	辰馬汽船系
帝國火災	一四、六〇七	小原達明(東京)
帝國海火	一八、一九五	安田財閥
東邦火災	六、九五六	小原達明
常盤火海	四、一六〇	三田學派、甲州系
東京火災	一九、〇七三	安田財閥
東京海上火災	一一七、八四五	各務鎌吉、三菱系
東明火海	七、七〇二	ユニオン、東京海上
東神火災	五、四八九	反町根岸(東京)
東洋火災	六、〇七一	安田財閥
東洋海火	五、九八四	鈴木財閥、東京海上
横濱火海	二二、四五八	原財閥(横濱)

備考 總資產額の單位千圓、資產高には未拂込株金を含む、東京海上は三菱系の各務財閥とも見られる、三井、三菱の兩資本の結合は、各務財閥の專一關係のみである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國內戰線

各無産政黨の地方議會選擧對策成る

わが國政治史上に於ける劃時代的一轉機をもたらすべき、所謂『普選法』が明春の衆議院議員總改選の前哨戰として、今秋九月二十一日の鳥取縣を皮きりとし、十月十四日の靜岡縣を殿とする大阪府以下三十八縣に亘つて行はれる地方議會の總選擧が、既成政黨の分野を如何に變更するかは、吾々に取つて興味ふかき問題であると共に、兎に角九百五十萬人の新有權者——殆ど全部が無産階級に屬するか少なくともそれに近い新有權者を、各無産政黨が、如何に闘ひ取るかは、各無産政黨の將來の發展をトすべき試金石であるが故に、各無産政黨に於て各々この對策を決定發表した。以下各黨別にこれを掲載する。

勞働農民黨
——立候補一四〇名——

わが勞働農民黨は、今秋の地方議會議員選擧對策全國協議會を、七月十四日から三日間芝協調會館に於て開催した。これに集まる精鋭九十三名、わが國眞の無産者政黨をもつて任ずる勞農黨は、單に得票の多きに拘泥せず、その戰術は所謂曝露を中心として、如何に大衆を動員せんかゞ問題であるとし、甲論乙駁盛にその意を戰はし、左の事項を決定した。

一 府縣會議員選擧の意義及び一般方針

1、意義——現下の政局は如何

イ、世界恐慌の深化、しかも春の金融恐怖によつて全民衆の生活は都市、農村を問はず極度に脅やかされてゐる。到る處にあらゆる人民の層の間から、大衆的な運動が力強く展開されつゝある。全民衆の政治的關心は急速に增加した。

ロ、これに對して各黨の態度は如何

a、政友、民政、實同等のブルジョ諸黨は絶對的勢力と抱合をとげ之と一體となつて反動的支配の根原となるに至つた。

b、革新黨左翼は民主主義的要求をかゝげてはゐるが到底民

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

衆の要求を戰ひぬく力はない。

c、社會民衆黨、日本農民黨は無産階級内に於ける絶對的――金融資本的勢力の手先であつて民衆に對して欺瞞的な味方を標榜しつゝ實は彼等の政策を支持してゐる。

d、日本勞農黨は組合主義を脱却することが出來ず到底全民衆の政治的自由の獲得のために戰ふ能力はない。

e、そこで今日の絶對專政支配に對し全民衆の政治的自由の爲めに戰ひ得るもの而して現に勇敢に戰ひつゝあるものはわが黨のみである。

f、しかも他の一切の黨はあらゆる欺瞞と奸計とを以て民衆の味方を裝ひ民衆の自由を彼等に賣らうとしてゐる。

2 一般方針

イ、府縣自治體を中央の專制的支配から解放してその徹底的民主化と自治化とを計ること、之が今回の鬪爭の中心目標である――之によつて府縣會選擧を契機として絶對專政支配對全被抑壓民衆の政治的自由の要求を力強く對立させることが出來る。

ロ、あらゆる層に對して投げ與へてゐた黨のスローガンを黨の全綱領、政策に結合し統一すること、黨の綱領と政策とを全民衆の要求と結合することと之によつて大衆運動を黨の指導下に一段と展開し且つ之を當面の選擧戰に集中することが出來る。

ハ、都市に於ては勞働者が農村に於ては小農が全民衆の先頭に立つて戰ふこと、之によつて黨の階級的基礎を確立することが出來る。

3、以上の意義及び方針が、今回の選擧戰の鬪爭目標及び樣式決定の基準とならねばならぬ。

宣言

都市に農村に民衆は窮迫のどん底に呻吟し、塗炭の苦を嘗めてゐる。如何にしてこの窮境から脱出することが出來るか。我々民衆は自分の手で自分の力で之を解決せねばならぬ。然るに我々の窮狀を訴ふ可き言論の自由、我々自身で解決の途を進める可き行動の自由、我々の眞實の代表を代議機關に送る自由すら極度に制限されてゐるのだ。制限議會は我々と無關係にひたすら資本家と大地主との利益を計つてゐる。そして我々の口と手との自由を彈壓してゐる

我々民衆は、先づ政治上の完全な自由、口と手との自由をかちとらねばならぬ。さうでなければ、我々の狀態は惡くなる一方であらう。其の爲めに我々は先づ、我々の眞實の代表を議會に選出する爲めに戰はなければならぬ。

今や我國最初の普選が秋の府縣會選擧に於て行はれようとしてゐる、我々全民衆の眞實の代表者を之に送り、先づ地方自治體に於て我々の政治的自由を伸張し、我々の生活

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を我々自身の手で解決するための第一歩を踏み出すべき秋だ。

我が黨が地方自治體を中央の專制的支配の手から取り返し、民衆の完全なる政治的自由を獲得する爲めに、今秋の選擧戰を戰はんとする、黨の綱領と政策とを高く掲げ、黨の代表を立て、全民衆の爲に飽くまで戰はんとするものである。

政策

一般的政策

一、地方自治體を中央政府の專制的支配より解放し、民衆の自治權を伸長すること。
二、地方自治體に於ける民衆の政治的自由の獲得。
三、地方自治體に於ける勞働者及小農の利益の伸張。

一 選擧權

一、選擧自由の原則の獲得
二、十八歳以上の男女にして當該府縣に住居するものは總て選擧權を有す可きことを要求す。
三、十八歳以上の男女は他府縣に住居するものと雖も總て被選擧權を有す可きことを要求す
四、大選擧區制の採用
五、投票日の休業と賃銀、日當俸給の公費負擔
六、供託金全廢
七、候補者一人當の選擧費用の一定と道府縣による全格負擔
八、道府縣會議員は一年毎に改選すること
九、一切の選擧干渉絶對反對
一〇、公選による選擧監督委員會の設置
一一、府縣會議員の名譽職制の廢止
一二、一般投票による知事公選

二 行政

一、內務大臣の道府縣會解散權豫算削減權の廢止
二、內務大臣、大藏大臣の道府縣債許可權の廢止
三、道長官、府縣知事の出兵請求權の廢止
四、道府縣知事の原案執行權の廢止
五、道府縣會發案權、議決權、議決の執行强制權の道府縣會による獲得
六、道府縣會議事の絶對公開
七、道府縣會計監督權の道府縣會による獲得
八、道府縣令制度の廢止
九、現行惡道府縣令の廢止
一〇、道府縣參事會の廢止
一一、高等課、特高課の廢止、並に高等警察政策絶體反對
一二、官吏收賄、贈賄、瀆職、職權濫用の撲滅

○衛生、消防、交通、建築、營業警察權限は町村に委讓さるべきである

三　財　政

一、左の諸税の撤廢を要求す

イ、戸數割

ロ、自轉車税、リヤカー税、荷車税、荷馬車税、牛馬税、舟税觀覧税、其の他一切の無産階級負擔の雜種税

ハ、家屋税

ニ、特別地税

ホ、營業税、營業人力車税

二、左の諸税の創設を要求す

イ、不在地主税、間空地税、庭園税、土地增價税、土地未改良價格税

ロ、財産税、銀行會社税、邸宅税高層建築税、別莊税、門税、

ハ、遊興税、畜妾税、自家用自動車税

ニ、以上の如き貴族、軍閥、官僚大地主、ブルジョア等に對する租税は極度の高率累進賦課を要求す。

三、土地及財産の評價委員の創設と之への一般民衆の參加

四、所得税調査委員の一般的公選

五、警察費を國家負擔とし、機密費を全廢すること

六、戰略的土木事業の根絶

○以上の諸要求の貫徹のみによつて負擔が徹底的に輕減されるのではない。民衆の肩には夫れ以外に尚關税として尨大なる間接税の負擔がある、吾々は一切の間接税の徹廢を要求する、直接税は極度の高率累進賦課でなければならぬ

○收税行爲は嚴密に民衆の利益に基いてなさる可きである

○土地に對する一切の課税權は原則として市町村に委讓すべきである、だから道府縣の土地課税は市町村税の附加税である

○右の原則に基き地租は卽時市町村に委讓さる可きである

四　公益事業

左の事業の公營並に其の增設、新設、改善、無料解放を要求す

一、病院、精神病院、癩病院、診療所、細菌檢査所、結核療養所巡回病院、助産院等の衛生的醫學的設備

二、養老院、孤兒院

三、職業紹介所

○左の如き事業は原則として國營とすべきである

イ、肥料、器具、種子、畜種、種畜の生産（その分配方面は自主的産業組合によるべきである）

○左の事業は原則として市町村營とすべきである

イ、無料托兒所、無料宿泊所

ロ、火葬場

ハ、浴場

ニ、市場、公衆食堂、公益質屋

ホ、乘合自動車

五　住　宅

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、完全なる居住權の獲得

イ、公營住宅の增設、改善及その分配の公正

ロ、火災、地震等天災變による住宅問題は民衆の完全なる居住權の原則により處理さる可きこと

ハ、區劃整理、公有地、鉄道等による住宅問題も亦同樣の原則による可きこと

ニ、通風、採光、上下水道等設備不完全なる不良住宅の公費による改善

不良住宅改善を口實とする立退强制、居住權侵害絕對反對

ホ、借家法の改正、借地法の改正家賃の公定敷金權利の撤廢、立退强制權の廢止等を含むように借家法を改正すること

借家法借地法施行區に關する制限を撤廢すること

二、廣大なる邸宅、別莊、庭園その他社會的に不必要なる一切の場所並に學校寺院敎會公會堂その他一切の公共施設は廣く一般民衆の利用に解放さるべきこと

三、完全なる居住權の獲得は住居の管理へ一般居住者代表を參加せしむることによつてのみ可能である

イ、公營住宅、居住者代表によるその管理への參加

ロ、借家人代表の參與による家賃決定委員會の設置

ハ、都市計畫、區畫整理に對する關係地方居住民代表の參加

六　敎　育

一、一切の敎育機關から中央の專制的支配を排除することによつてその完全なる自治權を獲得すること、一切の敎育機關の管理への學生生徒代表の參加

二、敎育機關の徹底的門戶解放と一般民衆に對する敎育の完全なる機會均等の要求

三、イ師範學校、中學校、女學校、商業學校、農業學校等の管理(敎科目、授業時間、休日等の決定)への生徒代表の參加

ロ、强制寄宿舍制度の廢止、寄宿舍設備の改善ソノ公費負擔及びその舍生による自治權の獲得

ハ、公營圖書館、博物館の充實並にその管理への一般民衆の參加

ニ、青年團、在鄉軍人團、青年訓練所、處女會、婦人會、補習學校等の完全なる自主化

ホ、敎員生徒に對する政治的自由(政黨加入の自由等)の制限の撤廢

○一切の敎育機關は公營たる可きである

○義務敎育期間中に於ける學用品、暖い辨當その他を含む一切の義務敎育費は全額國庫負擔たるべきである

○義務敎育年限は八ケ年に延長さるべきである

○全額國庫負擔による敎員の待遇改善を要求す

○敎員の義務年限は撤廢されなければならぬ

○視學官の廢止、學校長の敎員生徒代表による公選を要求する

○水平社同人の子弟に對する差別待遇の如きは徹底的に糾彈さる可きである

○軍事敎練費の如き莫大なる冗費を敎育機關の增設完備に充て試驗制度を撤廢すべきである

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

七　勞働者並に小農

一、公營事業に於ける勞働者下級吏員及び雇員はその自治體に對し左の條件を獲得せねばならぬ、(凡ての公營事業に就ては勞働者下級雇員の政治的自由並に勞働條件は模範的なものでなければならぬ)

イ、團結權、罷業權、團體協約權の確認（特に勞働者を彈壓する道府縣令の撤廢）

ロ、八時間勞働(鑛山勞働六時間)

ハ、標準生活費を支給する最低賃銀、失業手當制度及び賃銀一週間拂の獲得

ニ、男女勞働差別待遇撤廢、幼年勞働禁止、少年婦人勞働の制限、婦人坑内勞働禁止

ホ、産前産後八週間産婦休養とその給料の全額給付

ヘ、時間外勞働、夜間勞働の禁止（技術的に必要にして勞働組合、工場委員會工場代表者會議等の勞働者組合が承認せるものは例外）

ト、一年一ヶ月の休暇中の給料全額支拂

チ、自主的工場委員會制度の確認

リ、五月一日祭の確認

〇以上の項目は勿論全勞働者の當面の要求でもある

〇老年廢兵寡婦保險制度の制定全額公費負擔、並に被保險者による完全なる管理

以上の原則に基いて健康保險法を改正すること

〇吾が國に於ては特に官公營事業に於て從業員の政治的自由が抑壓されて居り、また特に公營事業に於て從業員罷業の自由が著しく抑壓されて居るかくの如き抑壓は徹底的に一掃さる可きである

二、失業救濟施設改善及びその勞働者による管理

三、勞働者保護及び勞働立法實施監督を目的とする勞働者の代表よりなる監督委員會の設置現行工場監督官の廢止

四、勞働學校の確認、公費負擔並に生徒による自主的管理

五、府縣有林野池沼及び一切の荒無地並に不使用地を市町村の管理にうつし之を小農の共同使用に開放すること

六、禁獵區の廢止

七、煙害鑛毒並に土地陷沒等に一切の損害の資本家全額負擔

八、飢饉、霖害、霜害その他の災害の救濟（減收に應じての農民生活の國庫補償）

九、地主負擔による水利施設の完備並に耕地改良

一〇、信用組合利用の公正

一一、土地買收利用決定に農民代表者の參加

一二、米麥檢査廢止

一三、産業組合、農會の完全なる自主化

一四、農民學校の確認、公費負擔並に生徒による自主的管理

一五、農民運動を彈壓する道府縣令の撤廢、團體協約權の確認

〇耕作權確立、立入禁止反對

〇立毛繭毛その他農家財産差押へ反對

〇五月一日農民祭の確認

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○最高小作料(收穫の三割)公定、農民代參加にかゝる收穫小作料決定委員會の設置
○現行小作官制度の廢止
○森林池沼、原野等の共有財產の農民代表による管理
○高利反對

四　中心スローガン

一、官僚知事を排せ！
二、府の事は府會で決めろ！
　縣の事は縣會で決めろ！
三、稅金は資本家に出させろ！
　稅金は地主が拂ふべし！
四、勞働無產市民は勞働農民黨へ！
　勞働者は勞働農民黨へ！
　百姓は勞働農民黨へ！
　小作も自作も勞働農民黨へ！
　無產市民は勞働農民黨へ！
　民衆擧つて勞働農民黨へ！
五、勞働農民黨の旗の下に！

五　選擧協定方針

(一)、我が黨は九月の選擧に於て、他の諸政黨に對して、次の如き態度をとる。

(二)、政友會民政黨はブルジヨアジーの黨であり、今や絕對的勢力と抱合をとげて反動の支持となつてゐる。ひとしくブルヂアジーの黨たる實業同志會は、現在に於ては絕對的勢力との若干の對立を示してゐるが、近き將來に於て上記勢力と完全に同化するであらう。故に我が黨は以上の諸黨に對しては、徹底的排擊を以て臨むものである。

(三)革新黨、社會民衆黨、日本農民黨は小ブルヂヨアジーの諸黨である。革新黨(特にその左翼)は尙未だ意識化せざる民主主義黨であり、現段階に於ては無力且つ欺瞞的ではあるが、しかも尙政治的自由のために奮鬪する。その限りに於て我黨はこれを支持し、これと部分的に協力することによつてその本質を大衆にバクロせねばならぬ。

反之、社民、日農の二黨は、夫々小市民、農民の地盤の上に立ち、その極度の意識化の故に小ブル反動的本質を代表してゐる。彼等はその自由主義的粉飾の下に、少なからざる勞働者及び小農民を抱え、無產階級陣營內に於けるブルヂヨアジーの手先となつてゐる。我黨は彼等を徹底的に毆擊することによつてその旗下の勞働者、農民小市民を我黨の旗の下に奪還せねばならぬ。

但し彼等が生エヌキの勞働者、貧農を立候補した時は、これをかゝる者として支持し、黨とその候補者とを對立せしめ、よつて以て彼等の本質をヨリ銳くバクロし得る場合があるであらう。

以上の三黨は、その小ブルたるの本質の故に、將來必然

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に合流すべきものであるが、我黨は、反動的小ブルヂョアジーの諸勢力を分散且つ無力ならしめる爲めに、彼等の間に於ける當面の對立を利用し、兩者の結合を阻害すべきである。

（ハ）、日本勞農黨はプロレタリアートの自然成長性に追從する黨である。故に彼等は若干の小農をも包容してゐるが、到底政治的自由のために戰ふ能力はない。併しながら今や大衆の意識の急速なる成長は、彼等をして之を阻止し能はぬ程度にまで來てゐるから、我黨は進んで之を支持、若しくは之と協力し、一方社民、日農黨に當ると共に、彼等の旗の下にある勞農大衆を我黨の旗の下に迎へねばならない。

（ニ）、如上の原則は場合々々に應じて適宜に應用されなければならぬ。但し我が黨は、是等の原則を應用するための最も有利な狀勢を作り出すために、萬難を排して到る處に我が黨の候補を立つべきである。

（黨員外の者を誓約せしめて、是を公認候補者とすることも許さるべきことであらう）

六 暴露方針

一、我々は既に府縣會議員選擧の意義及び政策の部に於て決定した如く、今次の選擧戰に於て

イ、地方自治體に對する中央の專制支配

ロ、地方自治體に於けるブルジョア及大地主の專制横暴

ハ、政治的に經濟的に壓制と窮迫の淵に沈淪しつゝある民衆の具體的不平不滿——然も

ニ、政友會、民政黨、實業同志會等のブルジョア諸黨は絕對的專制勢力と抱合をとげ、之と一體となつて反動的支配の根源となるに至つたこと。

ホ、革新黨左翼は民主主義的要求を掲げてゐるが、到底民衆の要求を戰ひ拔く力のないこと、

ヘ、社會民衆黨、日本農民黨は無產階級陣營内に於ける絕對的金融資本的勢力の手先であつて民衆の欺瞞的な味方を標榜しつゝ實は彼等の政策を支持してゐること。

ト、日本勞農黨は組合主義を脫却することが出來ず、到底全民衆の政治的自由の獲得の爲めに戰ふ能力のないこと

を暴露しなければならぬ。

二、然らば我々は之を如何に暴露すべきか、

イ、敵の候補者と我黨の候補者、敵黨と我黨、專制的支配階級と全被抑壓民衆、之等の對立を黨と黨との對立に集中せしめて、暴露しなければならぬ。

即ち敵黨の候補者の個人的醜狀をも大いに暴露すべきであるが、それは單に個人的醜行の暴露に終らず、彼をかの黨この黨の代表として暴露しなければならぬ。又專制的支配と民衆の之に對する不平不滿を暴露し、然かもブルジョア諸政黨及エセ無產政黨が、この專制的支配に對し何をなし、何をなさんとしてゐるかを暴露し、彼等が、完全に專制勢力と抱合し或は無意識的にその支配を强めつゝあることを暴露しなければならぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

かくてこそ、我黨のみが唯一の反對黨であり、眞實の民衆の友であり、その代表者としての我等の候補者を他の候補者に對立してハッキリと浮び出させることが出來るのである。

(イ)、我々の暴露は單なる暴露に終らず、バクロによつて誘發し促進される民衆の不滿憤激を、我々のスローガンとシッカリ結びつけて、その歸趨すべき所をハッキリと指示し、彼等を直ちに鬪爭に動員するが如きバクロでなければならぬ。

(ロ)、暴露は地方民衆の具體生活關係――民衆の現實の不平の暴露から出發しなければならぬ。――議會の暴露、中央國家と地方自治體との關係等直ちに民衆の理解し得ざるバクロを以て初める可きではない。

(ニ)、暴露は、時、場所、對照によつて異ならねばならぬ。卽ち民衆の内心に欝勃として持つて居りながら、それをハッリと指すことを知らない所の不平不滿を、農民には農民の言葉で、勞働者には勞働者の言葉で「諸君の不平はかうであらう。諸君はかういふ事を要求してゐるであらう。だからかういふ風に鬪へばいゝのだ」といふことをハッキリと指し示してやらねばならない。

又、同じ地方自治體に對する中央專制の支配をバクロするにしても、都市に於ける勞働者及小市民に對しては主として中央專制、議會のバクロの中心を向ける可きであるが、農民に對しては、地方自治體が如何に名ばかりの自治しか持つてゐないかといふ事のバクロによつて之をなすべきである。

(ホ)、暴露は一時に多くを語らうとせず、執拗に繰返さなければならぬ。

(ヘ)、暴露は鬪爭の發展、民衆の意識の進展に從つて、一歩一歩計畫的により高き段階のバクロに發展せしめられねばならぬ。

八　立候補者數及割當

青森	四	岩手	六	宮城	九	秋田	九
山形	一	福島	二	群馬	一	新潟	六
福井	一	長野	三	靜岡	四	愛知	三
三重	一一	滋賀	一	京都	一〇	大阪	八
兵庫	七	奈良	一一	和歌山	一	鳥取	一
岡山	一二	廣島	一	山口	一	徳島	三
香川	一〇	愛媛	四	福岡	七	熊本	一
宮崎	一	鹿兒島	一				

日本勞農黨
――七八名立候補――

不幸にして吾々は、まだ日勞黨の具體的對策として決定されたものを聞くことが出來ない。たゞ七月十五日發行同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

黨機關紙に發表されたものにより、七月十日開くべき筈であつた對策委員全國協議會を、同黨指導の下に開催された全國勞農大會を機として、同大會と同日七月二日に繰り上げて開催され、左の事項が可決されてゐることを知る。

一　選擧に對するスローガンの件（本部原案）

イ、知事の公選
ロ、知事原案執行權の撤廢
ハ、惡府縣令の改廢
ニ、惡税の撤廢
ホ、勸業費の有益利用
ヘ、實業補習教育の擴充と自由化

尚原案に各地の事情を加味したスローガンを掲げること

二　府縣會選擧費用支出方法の件

原則として支部の負擔とし黨員の醵出に依ること

三　府縣會選擧運動方法

イ、應援辯士、選擧對策委員會割當派遣の辯士に對して不服を言はざること
ロ、ポスター、原則として各地で作製すること
ハ、具體的運動方法、選擧に經驗ある荒谷、須永、吉田等の人々から經驗談を述べ、それを參考とすること
ニ、候補者會議、八月二十日前後全國の選擧事務長會議を開くこと

しかして、立候補者豫定は合計七八名にして、各割當は左の如し

宮城	三	秋田	四	山形	六	福島	四
茨城	八	栃木	四	群馬	六	新潟	四
大阪	九	兵庫	一七	和歌山	三	鳥取	四
香川	二	愛媛	二	長崎	二		

社會民主黨

――立候補六四名――

社會民主黨に於ては、對策全國協議會を七月十日から三日間芝公園協調會館に於て開催した。先づ第一に對選擧戰の根本方針並に選擧運動についての本部案を承認し、議員候補者並に選擧地盤の詮衡を行ひ

一、支部所在地に於ては、原則として一選擧區一名以上

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の立候補すること

二、候補者公認は支部推薦に基き、中央執行委員會之を決定すること

及び立候補者數並に選擧區等を逐次決定した。

府縣會選擧戰に對する一般地方政綱前文

普通選擧による初めての府縣會議員選擧は今や目睫の間に迫りつゝある。而も此の選擧は我等勤勞階級が政戰に參與する云はば初陣の首途たると同時に來たるべき衆議院議員總選擧の前衞戰として、其の勝敗の依つて懸かる重大の轉機である。我等は、此の選擧戰に際して我等がとるべき一般的地方政策を決定するに當り、先づその骨子たる我黨の根本精神につき一言する所あらんとする。

抑々も我黨の主張は、デモクラシーの徹底による經濟生活の社會化にある。民衆の自主的精神に基く社會生活の合理化にある。即ち期する所は新社會秩序の基礎的建設であると同時に民衆一般の合意と承認とを約束して之が實現を期する所に、我が社會民衆黨の立場がある。

從つて又我黨の態度はあくまで漸進的であり、現實的である縱に歷史的關係を以てし横に地理的關係を以てする日本の現實を正視して、空想に流れず觀念に墮せず、明確に目標を把握して徐ろに大衆と共に歩まんとするの態度は、我黨の一日も離るべからざる根本的の立場である。かゝる立場にある以上は我黨の理想を實現するが爲めには、健全なる民衆の政治的自覺を先決要件とする。自覺の上に立つ自治の訓練を先決要件とする。民衆政治の眞の發達の要諦は蓋し完全なる自治の確立を外にして無い。然るに今や我國の政治は中央議會といはず地方議會といはず、擧げて既成政黨の毒牙に喰まれ、自治體は徒らに地方ブルジョアの蹂躙に委せられつゝある。從つて地方農村に於ける耕作階級の生活、及び小都會に於ける小商人其の他の生活は都市勞働者の生活同樣或はそれ以上に更に疲弊し困憊し到底尋常一樣の手段を以てしいは之を匡救する能はざる狀態にある。乃ち今日に於ける最緊要事は、第一に先づ地方自治體を既成政黨の手より奪取して、民衆自身に依り地方自治の根本を確立することである。第二は、府縣町村の財政税制をして、勤勞階級本位の大改革を加へしめ以て蹂躙せられたる生活の權利を正當に奪還せしることである。第三は行政組織といはず、教育制度といはず、都市農村計畫といはず、凡てに通じて行はるゝ封建的官僚的劃一的、中央的集權弊風を排し、民衆的、社會的、自治的、分權的制度に之か置き換へる事である。斯の如くして初めて、全民衆による新社會の建設はその第一歩を踏み出すであらう。

以上は我黨政策の根本精神である。若し夫れ各地方に於ける特殊の問題に關しては、此の見地に基いてそれ〳〵の嚴正なる批判を加へ以て根本的の解決策を見出すと同時に此の絕好の機會に於て一切既成政黨の欺瞞手段を暴露し、全民衆の正しき自覺を促し、最初の淸き一票悉く我黨に糾合するの覺悟を以て奮闘努力せらるべきである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

標語

◇これまでの議員は金權の番頭！

◇これからの議員は民衆の公僕(しもべ)！

◇最初の一票は民衆の生命！

◇勤勞者の一票は勤勞者の代表へ！

府縣會選擧戰に對する一般地方政綱

（一）地方自治制

1、地方官の民選

2、地方普選の徹底

a、年齡の低下

b、居住制限の短縮

c、婦選の確認

d、保證金の徹廢

3、地方議會の改造

4、知事原案執行權の廢止

5、町村地域の廢合整理

6、封建的府縣地域の廢合整理

7、小學校教員巡査其他薄給府縣市町村吏傭人等の待遇改善

8、衛生組合消防組合其他隣保的施設の民衆化

9、不在投票權の確認

10、農會の耕作階級本位化

（二）地方財政經濟

1、地方財政稅制の勤勞階級本位化

a、家屋稅免稅點の設定

b、戶數割の有產階級負擔

c、勤勞階級負擔の府縣營業稅及雜種稅の廢止

2、警察費の國庫負擔

3、農村產業組合都市信用及購買組合の勤勞階級化

4、肥料具及種子の公營

5、公營銀行の創設及公設質屋の增營

6、府縣市町村稅納期の改正

7、農業保險制の設定

8、電燈瓦斯水道料金の値下げ

9、煙草及び鹽の元賣捌の公營

（三）都市計畫及農村計畫

1、勤勞階級本位の都市計畫農村計畫並びに綜合計畫の實

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

行

2、住宅改築の徹底

a、土地公有化の促進

b、家賃の引下げ

c、勤勞階級本位公營住宅の增設

3、電力の公營農村電化の促進

4、交通機關の公營及運賃の値下げ

5、勞働者住宅地域の改善

6、上下水道施設の改善

(四)教育

1、義務教育の全額公費制の徹底

2、中等教育公費制の實行

3、勞働學校及農村學校の公費支辨

4、職業補習教育機關の完成

5、簡易圖書館の增役

(五)社會施設

1、醫藥救療機關の民衆化

a、無料診察所の公營普及

b、健康保險制度の改正及適用範圍の擴大

2、社會事業に對する小學校舍の解放

3、職業紹介所の勞働組合管理

4、葬儀並びに助產の無料施設

5、工場法の嚴重適用

選擧戰狀

一、他の無產政黨に對する關係については、支部はその都度必ず本部と協定をなすべし

二、本部及び各支部に選擧情報部を設置すること

應援方法

一、ポスターを作成すること

二、一般地方の政策のビラを作成すること

三、遊說隊を組織し、應援辯士を派遣すること

選擧費用

一、選擧費用は各支部に於て負擔すること

二、資金は黨員寄附、一般寄附、事業益金を以て之を充つること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

但し、重大なる寄附及び支出は選擧基金規定により本部に報告すること

地方特殊政策

1、海員ホームの公營
2、糞尿汲取の公營
3、縣費補助政策の改正
4、公會堂の建設
5、臨湖防地區域の縮少
6、淡水魚類增殖施設の確立
7、港灣行政機關の廢合統一
8、港灣衛生設備の完成
9、無料病院船の公營
10、船員保險法の制定
11、無料職業紹介所の增設
12、無料宿泊所の增設並民衆化
13、公設市場の增設並民衆化
14、無料託兒所設置並增設
15、工船内工場に於ける工場法の適用
16、漁業勞働者保護法の制定

立補者數及び立候補地

青森縣青森市	一	同上北郡	一	同三戸郡	一
岩手縣盛岡市	一	同上閉伊郡	一	宮城縣仙臺市	一
同柴田郡	一	同遠田郡	一	秋田縣秋田市	一
同山本郡	一	福島縣福島市	一	同信夫郡	一
栃木縣足利郡	一	群馬縣高崎市	一	同多野郡	一
同新田郡	一	富山縣中新川郡	一	福井縣大野郡	一
長野縣北佐久郡	一	同諏訪郡	一	同上伊那郡	一
同北安曇郡	一	同上高井郡	一	同下水内郡	一
靜岡縣靜岡市	一	同駿東郡	一	同庵原郡	一
愛知縣海部郡	一	同知多郡	一	三重縣津市	一
同桑名郡	一	滋賀縣大津市	一	同名賀郡	一
同蒲生郡	一	京都府京都市	二	大阪府大阪市	八
兵庫縣神戸市	三	同尼ヶ崎市	一	同西ノ宮市	一
同武庫郡	一	同川郡	一	和歌山縣和歌山	一
同有田郡	一	廣島縣廣島市	一	同安佐郡	一
同御調郡	一	香川縣綾歌郡	一	愛媛縣松山市	一
高知縣高知市	一	同土佐郡	一	福岡縣若松市	一
同小倉市	一	同門司市	一	同戸畑市	一

尙、民衆黨は左の地方政黨を友誼地方政黨として數えてゐる

一、勞農民衆黨　名古屋市

二、社會民政黨　八幡市
三、佐世保民衆黨　佐世保市
四、獨立民衆黨　呉市
五、熊本社會民主黨　熊本市

日本農民黨

——立候補百五名——

日本農民黨では、六月二十八日赤坂見附下の同黨本部に於て、府縣議會員選擧對策に關する中央委員會を開き、いち早く右の選擧戰の對策を決定した。

政策

一、地方自治の經濟化
イ、自治體の產業組合化
ロ、專賣品賣さばき人の指定を地方自治體に獨占
ハ、農作物災害應急資金の積立
二、自轉車稅その他無產階級的雜種稅の一切の撤廢
三、財產收入稅及びしやし稅等の有產者的租稅の高率累進賦課
四、所得稅並に營業收益稅の都市獨占の解放
五、豫金部資金、保險會社運用資金並に勸業銀行、普通銀行の長期資金の地方還元及び農村金融の組合化
六、肥料、電力及び醫療機關の國營或は縣營による社會化
七、地方分權制度の確立
八、都市偏重政策の撤廢
九、徹底的取締による獨占事業の民衆本位化
十、地方敎育の民衆本位化
十一、無產階級取締府縣令の改廢

運動方法

一、選擧用映畫を作制して農民に對し自己の政治的地位を自覺せしむること
二、ポスター、ビラ等の印刷物は本部と聯絡を待つて作製利用すること

次に、各府縣に於て當選確實と見込あるものとして左の割當にて合計一〇五名の立候補をなすこと

群馬	五	栃木	三	茨城	四	福島	四
宮城	二	青森	四	岩手	二	新潟	七
山形	三	秋田	二	山梨	六	長野	三
岐阜	四	愛知	四	静岡	二	三重	四
福井	一	石川	三	富山	三	大阪	二
京都	二	滋賀	一	奈良	二	和歌山	一
兵庫	三	岡山	五	鳥取	一	山口	一
德島	一	香川	五	愛媛	一	高知	二
福岡	六	長崎	一	大分	二	熊本	一
宮崎	一	鹿兒島	一				

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ブハーリン

資本主義の安定と無産階級運動

岡田宗司氏譯、希望閣、定價一、二〇

これは、昨年末、コミンターン第七回擴大執行委員會における、ブハーリンの世界情勢に關する報告である。

これだけよりしても、この書がいかに重大なる意義をもつかは、既に明かであらう。世界の一つたる日本の我々は無産階級運動において、何よりも國際情勢に對する充分なる考察を必要とするからである。これなくしては日本の無産階級運動を考へえないからである。現下の世界狀勢に關するコミンターンの報告——それだけで、既に我々はこの書を讀むべきである。

しかし、この書は、さうした一般的意義以上に、より大なる重要さをもつ。

最近の世界情勢における最も重大な問題はいはゆる「安定」のそれである。しかして、この問題は、既に兩三年來コミンターンにおいて討議されつゝあつたものではあるが、しかも、コミンターンのうちにおいてすら、かのトロツキー、ジノヴエフ等の安定を否定せんとする極左的見解があり、充分なる解決を得なかつた。ブハーリンは、この書において、これらトロツキー、ジノヴエフ等の見解を完全に克服し、「安定」の問題を決定的に解決し去つたのである。實にこれによつて世界の現勢が眞實に明かにされたのである。

元來、この「安定」の事實は、かの一九二一年ごろの世界における「××的醱酵」の時期と相對立するものである。無産階級運動の戰略、戰術も、兩者のおのおのにおいて著しく異らざるをえない。

我等は、「××的醱酵」の時代の諸特性を書き、そこにおける戰術を確立せるものとしては、レーニンの第二回コミンターン大會における報告をもつ。これが必讀のものたるは勿論である。と同時に、このブハーリンの報告はまた、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それと共に我等の是非とも讀まざる可からざるものである。しかも、我が國においてこの書を讀むことは、なかんづく、焦眉の必要であるかに、見える。

我が國の無產階級運動において、この「安定」を否定する論者（「マルクス主義」「政治批判」）の存在すること、しかして「安定」を認める我々との間に激しく論爭されつゝあることは、讀者の熟知するところであらう。この時において、「安定」の事實を强調しこれが戰術的意義を明かにし、「安定」を認めざる論者がいかに重大なる誤謬を犯しつゝあるかを、窮極的に闡明せる、ブハーリンの論文は、何を措いても、まづ讀まるべきであらう。

さらに、こゝでは、現下我等にとつてこれもまた直接の問題たる支那國民革命運動の問題が說かれ、大英帝國の沒落、サウエート、ロシヤの進展等のあらゆる重要の問題が觸れられてある。

いま、本書の主たる內容を示さう。

第一章、資本主義安定の諸問題。第二章、現在の資本主義恐慌の特徵と市場の問題。第三章、勢力均衡の變化と世界政策の基調。第四章、階級勢力關係の變化と國內政策の基調、第五章、資本主義的合理化の方法。第六章、現在における二三の根本問題。第七章、資本の攻勢と勞働者階級內における勢力の移動。第八章、現在におけるコミンテルンの主要任務。第九章、黨とその勞働組合內における活動。第十章、活動の總決算——誤謬と任務。第十一章、レーニン主義的原則の確立の爲の鬪爭と指導の問題。

また、ブハーリンがこゝで取れる「方法」もまた、我々の現階級考察の指針として、充分なる注意を拂はるべきものである。

この書は、最高の戰術の問題を取扱つたものとして、決して誰れが讀んでも直ぐわかるといつたやうなものではない。だがしかし、變挺な小六ケしい言葉や、まはりくどい表現をもつて讀者を苦しめることは、斷じてない。無產階級運動における前衞たるものは、是非とも熟讀すべきだ。また、組合その他で、直ちに了解できない場合には、これを教科書として研究會を開いて、讀むべきである。

岡田氏の譯文は、正確、かつ極めて讀みいゝ。充分信用していゝ。

（M、N）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯後記

△「マルクス主義」五月號は、若林尭氏の『「大衆」は何をなさんとするか！』なる一文を載せてゐる。これは、「大衆」四月號にわたしの筆を執つた、「大衆」の自巳批判を批評したものださうである。しかし、熟と讀んで見たところ、それは、昨秋、北條一雄氏その他の云ひ草を、一字一劃をもおろそかにせず、馬鹿丁寧に寫したものにすぎない。申上げますが、これは、わたしの既にお答へしたところです！　鸚鵡みたいに、數へこまれたことを、無我無中で繰返してゐるのぢや、議論になりませんな。わたしは、不幸にして諸君のやうに、縮刷版、廉價版ばかりを出版してゐるほどの余裕を持合せない。そこでこゝであつさり若林氏への應答をして置く。（成瀬）

△和田君の批評に、實はお答へしたいと思ひますが、和田君は、和田君自身の意見をちよつとも述べられない。で私は和田君の意見を聞いた上で、はつきりお答へしませう。（澤野）

△八月號は、この何十年振りとかいふ暑さにもめげす、誌友諸君の御寄稿と、同人の大馬力とによつて、取捨撰擇に苦しむ程多くの原稿が集りました。で止むなく次號にまはさねばならなくなつたものが、必數あつたことを御寄稿下さつた諸君にお詫びいたさねばなりません。

△それから、「大衆」は今度發賣の方を一切、南宋書院にまかすることにいたしました。從つて誌代の拂込みその他取引き上のことは南宋書院あてに、編輯のことについてはこれまで通り大衆社にお願ひいたします。

△酷暑の候、讀者諸君の御健康を祈ります。大衆同人は一同大元氣なることを申添えて置きます。（政市）

價定

○壹部參拾錢（送料壹錢）
○半年壹圓七拾錢（稅共）
○一ケ年參圓參拾錢（稅共）

料告廣

○一等八拾圓
○二等五拾圓
○三等參拾圓
（但し、半頁はお斷り）

昭和二年八月十三日印刷
昭和二年八月十五日發行

編輯發行兼印刷人　黑田壽男
東京市芝區濱松町一ノ一五
發行所　大衆社
（振替口座東京一六二三八番）

東京市麴町區九段中山ビル
發賣所　南宋書院
電話九段二五七〇・一三七八
振替東京七五三二八番

大賣捌
東京　東京堂　北隆館
大東館　東海堂

近刊の社會主義書類

藤原惟人譯
露國共產黨の文藝政策

ウォロフスキー著 能勢實造譯
マルクス主義的作家論

デボーリン著 井上滿譯
フランス唯物論史

ユーリネッツ著 綠川純譯
マルクス主義と精神分析

ブハーリン著 綠川純譯
社會主義の建設

エアリング著 淺田清三譯
ソヴィエット・ロシヤの教育

東京九段 中山ビル
南宋書院
振替口座 東京四五三二八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産者自由大學

社會主義基礎

ブルジョア教育の一大脅威

わが「無産者自由大學」講座が去る四月新聞紙上に公表されるや、忽ち數萬の會員が出來、既に第三回の配本を終り、益々新加入者の增大して行くこの事實は、明かにわが無産大衆の智的伸展を物語るものであると同時に、それは實に巧猾なブルジョア教育に對する一大脅威である。

內容の充實と會費の安いこと

この大講座は、プロレタリアの必ず學ばねばならぬ社會科學と、自然科學の一大綜合で、誰にも解り易く、全然無産階級的な立場から書かれ、しかも一ケ月五十錢で四六版二百頁以上といふ安さである　名實完備の講座として、世に普く知られて來た所以である。

會員の追加募集

締切後毎日數十人の加入切望者があるに鑑み　好機を逸しられた諸君のために、會員の追加募集を開始した。速かに申込あれ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

智識の綜合的大講座

	講座科目	科外講座
1	天文・地文	古代日本の奴隷制度
2	生物、人類	進化論の歴史
3	生理、心理	人口問題
4	物理、化學	日本の資本主義と帝國主義
5	世界歷史	物質觀の變遷
6	日本歷史	日本社會運動史
7	社會學	農民と勞働者
8	經濟學	勞農ロシヤの日常生活
9	政治學	インタナショナル
10	宗教、哲學、倫理、藝術	婦人の政治的要求
11	無產者運動	勞農ロシヤの教育
12	世界の現狀	支那問題

講師

堺利彦氏　白柳秀湖氏
山本宣治氏　川内唯彦氏
安田德太郎氏　藏原惟人氏
伊藤靖氏　佐野學氏
上田茂樹氏　田所輝明氏
猪俣津南雄氏　稻村隆一氏
西雅雄氏　近藤榮藏氏
大山郁夫氏　長谷川如是閑氏
青野季吉氏　大森義太郎氏
山川均氏　平林初之輔氏
荒畑寒村氏　山川菊榮氏
櫛田民藏氏

實物見本提供＝內容見本は無代進呈

內容が實際どんなものであるか。實物について知りたい人々のために左の既刊講座を一冊（附錄共）七十錢で提供いたします。振替か爲替で六十錢拂込（郵劵なら六十六錢）と、希望書名を書いて頂けば直ちに送本します。

第一講座　天文・地文　堺利彦　附錄　勞農ロシヤの日常生活　近藤榮藏

第二講座　生物・人類　山本宣治　附錄　古代日本の奴隷制度　白柳秀湖

第十一講座　無產者運動　山川均　附錄　インターナショナル　田所輝明

發行所　東京九段中阪下中山ビル　振替口座東京七五三一八番　南宋書院

社會主義書類近刊豫告

アクセルロッド著
永田廣志譯
ブルジョア社會學の批判

チュメネフ著
永田廣志譯
史的唯物論の理論

プレハーノフ著
井上満譯
社會主義と政治闘爭

ストレイト著
荒畑寒村譯
國際間の闘爭と資本間の協調

レーニン著
北浦千太郎譯
辯證法の具體的適用

ハガキで豫約しておいて頂けば出版出來次第お知らせします

東京九段
中山ビル
南宋書院
振替口座
東京七五三二八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

理學士 山本宣治著

戀愛揚棄

四六版 定價壹圓五十錢
三四四頁 送料八錢

產兒調節運動の第一線に立つて、全國各地にその福音を宣傳してゐた著者が、多年に亘る性愛觀を結晶せしめたものが本書である。戀愛を揚棄した時、其處に必ず起つて來る產兒調節の問題に對して、著者は極めて深い暗示を與へてゐる。これは產兒調節に名を籍りて、狗肉を賣るものとは異り、寧ろ戀愛揚棄に名を籍りて、この問題に對する官憲の頑迷さを遺憾なく諷刺したものであり、且又婦人雜誌向のイカサマ性愛觀を見事に曝露したものである。

內容

優生學と結婚。現代式戀愛觀の色々。心中とクロスワード。或晝の話。處女性の女性自決。性學と無產政黨。產兒調節法問答。產兒制限と無產階級。產兒調節は天理にそむくか。ラジオと產兒調節。英國の產兒調節運動。歐米に於ける調節。結論。その以後墮胎の徹底的撲滅策。

東京中山九段ビル
南宋書院
振替口座東京七五三二八

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ロゾウスキー著　吉田信二譯

プロレタリアート
前衛と勞働組合

定價七十錢　送料六錢　四六版一五〇頁

國際プロレタリア叢書第一編

八月一日發賣

わが國の左翼勞働組合は五月の評議會大會を期として、混合型を脱却して新なる道へ進んだ。勞働組合の任務は何であるか？　これこそ刻下の急務である。この問題に就いて、既に抽象的には議論せられ、また種々の出版物もある。しかしながら、組合内に於ける前衛の活動に就いて、詳細に、且つ具體的に論じたものは本書の外にはまだこれを見ない。わが國無産階級運動は、この點に關して本書より學ぶ處甚だ多きと信ずる。

近刊

第二編　コミンテルン小史　コミンテルン編

第三編　智識階級と社會主義　クラ・ツエトキン著

新刊

ブハーリン著　解放運動と農民の地位　定價二十錢　送料二錢

發行所　東京麴町區隼町二四　極東社　振替東京二五一七八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

科學的社會主義の基礎

ザスク著　上田茂樹譯

無產階級運動が尖銳化して、都會に農村に日夜白熱戰の演じられてゐる折柄、我々は先づ科學的社會主義の理論を全體的に把握せねばならぬ。本書は通俗に墮せず、しかも平易に、社會主義哲學即ち歷史的唯物論から說き起し、その社會學、その經濟學說、政治鬪爭過程、變革過程等、凡そ科學的社會主義を理解するに必須な基礎知識を細叙して遺憾なく、正にプロレタリアの座右銘である。

（定價一圓・四六版二二〇頁・送料八錢）

目次

第一章　科學的社會主義の方法
第二章　唯物論的世界觀（唯物主義の哲學）
第三章　唯物史觀
第四章　社會主義の歷史的必然性
第五章　價値學說
第六章　客觀說は勞働價値說
第七章　餘剩價値及利潤の學說
第八章　科學的社會主義の批判

東京九段　中山ビル　南宋書院發行　振替口座東京七五三二八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

The Taishu. (The Mass)
—— Monthly ——
Published by Taishu-sha.
No. 15. 1 cho-me. Hamamatsu-cho. Shibaku. Tokyo. Japan.

昭和二年八月十日印刷納本　昭和二年八月十五日發行　（每月一回一日發行）

マルクス・エンゲルス傳

リヤザノフ著

青野季吉・石澤新二譯

マルクス及びエンゲルスに關する數多の評傳中、本書は正に第一位を占むるべき、この偉大なる二人の先覺者の再現である。これは單にマルクスとエンゲルスの別個な傳記でなく、科學的社會主義の建設に協力したこの二人の全貌を描き、その全思想を叙述し、しかも彼等の生きた時代の流れとの關聯を細叙して、我々をして宛ら當時のプロレタリアート解放運動の渦中にあらしむるの慨がある。我々はマルクスの著作を研究するに當つて、その書が生れねばならなかつたところの歷史的段階を知らねばならぬ。本書はこの要求にピツタリ添ふものである。

（四六版三〇〇頁、定價一圓五十錢、送料十二錢）

南宋書院發行

東京九段中山ビル
振替口座
東京七五三二八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN